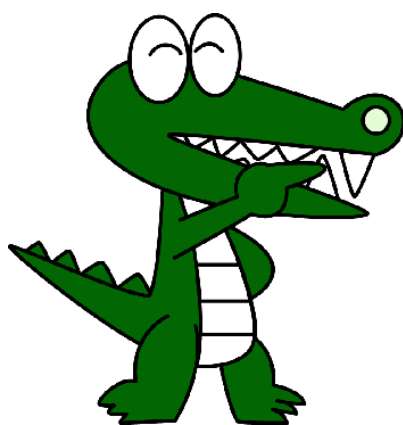


令和2年度(2020年度)

「インターネットの利用などに関するアンケート」

調査報告書



豊中市

令和2年度(2020年度)「インターネットの利用などに関するアンケート」調査報告書

目次

I. 調査概要	… 1
II. 調査結果	
1. 「とよなかっ子ダイヤル」について	… 4
2. インターネットの利用時間について	… 8
3-1. 自分専用のインターネット端末について(複数回答の累計)	… 11
3-2. 自分専用のインターネット端末数について(自分専用端末の種類数)	… 15
4. インターネットの利用時間帯について	… 18
5. 帰宅後、一番長くインターネット接続する端末について	… 21
6-1. インターネットの利用目的について(複数回答の累計)	… 24
6-2. インターネットの利用目的数について	… 27
7. インターネット利用の家庭内でのルールの有無について	… 30
8-1. 利用している SNS について(複数回答の累計)	… 33
8-2. 利用している SNS の種類数について	… 36
9-1. 今後利用してみたい SNS について(複数回答の累計)	… 39
9-2. 今後利用してみたい SNS の種類数について	… 42
10-1. SNS でつながっている人について(複数回答の累計)	… 45
10-2. SNS でつながっている人の類型数について	… 48
11. インターネット使用時の操作ミスによるヒヤット経験の有無について	… 51
12. インターネット上での嫌な経験の有無について	… 54
13-1. インターネット上での嫌な経験の具体について(複数回答の累計)	… 57
13-2. インターネット上での嫌な経験の種類数について	… 60
14. インターネット上でのケンカやトラブルの有無・頻度について	… 63
15. LINE 相談利用の意思の有無について	… 66
16. LINE 相談利用の希望曜日について	… 70
17. まとめ	… 74
III. 調査票	
資料1 「インターネットの利用などに関するアンケート」(小学生用)	… 78
資料2 「インターネットの利用などに関するアンケート」(中学生用)	… 80

「インターネットの利用などに関するアンケート」調査結果

I. 調査概要

1. 調査の目的

豊中市では、平成 27 年度(2015 年度)から子ども総合相談窓口を設置し、子ども自身が相談しやすい相談体制を整備してきましたが、このたび、小・中学生のインターネットの利用状況やインターネット上での嫌な体験の実態を把握し、顕在化しているいじめの実態と合わせていじめ事案の総合的な解決を図るための基礎資料とするため、また、子どもがより相談しやすい手法検討など、今後の相談窓口運営の参考とするため実施したものです。

2. 調査の対象者

豊中市立小学校の5年生及び6年生の全児童及び豊中市立中学校に通学する全生徒。対象人数は次表(令和 2 年 5 月 1 日現在)のとおり。

		合計(人)
小学生	5年生	3,689
	6年生	3,728
	小計	7,417
中学生	1年生	3,168
	2年生	3,150
	3年生	3,191
	小計	9,509
総計		16,926

3. 調査方法と回収状況

小学生調査

調査対象	市立小学校に通学する 5・6 年生(7,417 人)
調査方法	学校を通じて配布・回収
調査期間	令和 2 年(2020 年)9 月 7 日～9 月 11 日
回収状況	回収数 5,045 件 / 回収率 68%

中学生調査

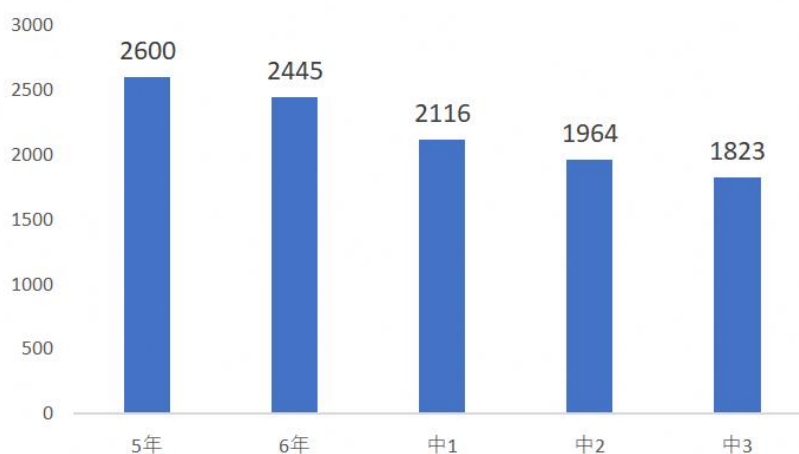
調査対象	市立中学校に通学する全生徒(9,509 人)
調査方法	学校を通じて配布・回収
調査期間	令和 2 年(2020 年)9 月 7 日～9 月 11 日
回収状況	回収数 5,903 件 / 回収率 62%

調査全体

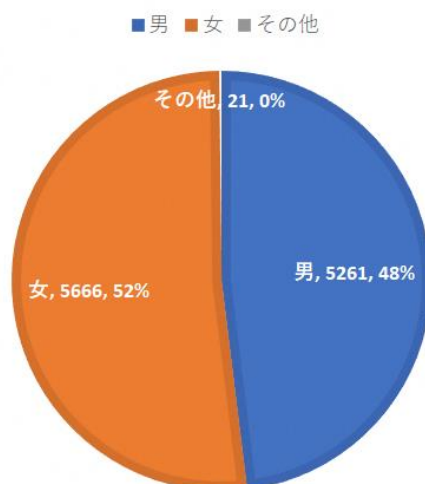
回収状況	回収数 10,948 件 回収率 65%
------	----------------------

回収数の内訳

学年	人数	%
5年	2600	23.7
6年	2445	22.3
中1	2116	19.3
中2	1964	17.9
中3	1823	16.7
合計	10948	100



性別	人数	%
男	5261	48.1
女	5666	51.8
その他	21	0.2
合計	10948	100



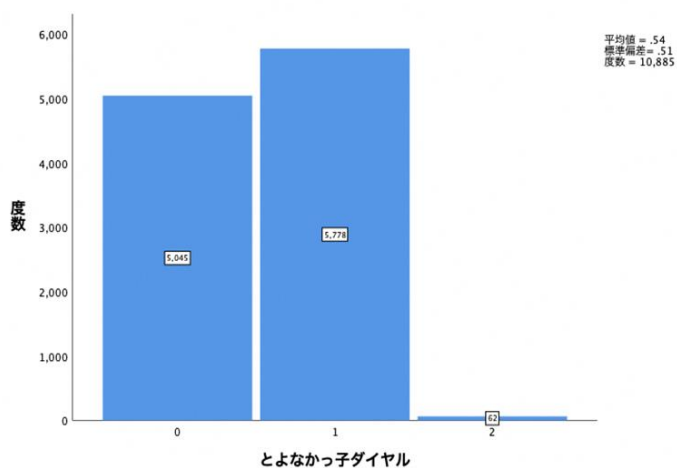
考察 0

- 本調査の分析を行うための基礎データとして、回答者の特性を把握するために「学年」と「性別」が入力されているデータのみを有効な回答として採用した。
- 整理した基礎データに基づき、調査項目に関する小学校 5 年生から中学校 3 年生までの回答者全体の傾向を把握すると共に、学年別及び性別の特性を考察するために、学年別、性別、学校種別(小学校・中学校)に各データを分類し、クロス集計を行った。
- また、それぞれの特性を視覚的に把握・分析するために、各項目について度数分布表(ヒストグラム)を作成した。
- なお、各項目の分析に際しては、有効回答のみを対象とし、それ以外は欠損値として処理した。
- 複数回答項目については、累積データを別途作成し分析を行い、その結果を併せて提示している。
- 各質問項目の有効回答数は合計欄に記載している。

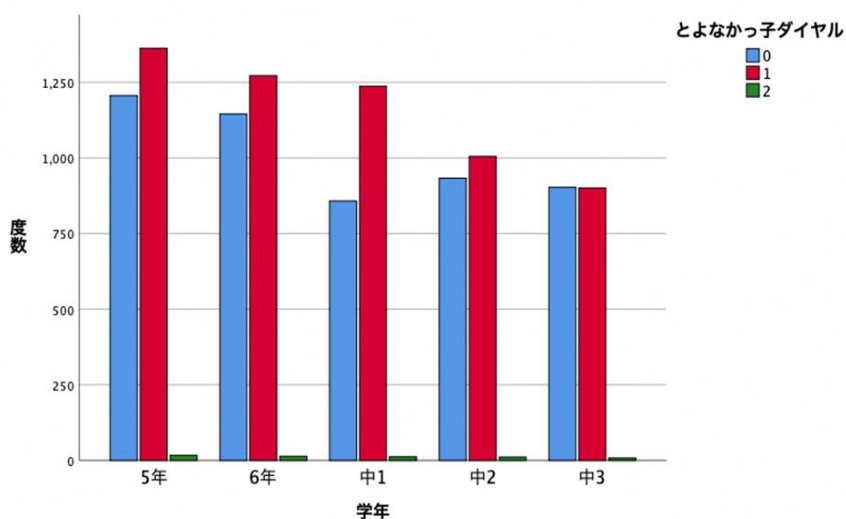
II 調査結果

1. 「とよなかつ子ダイヤル」について

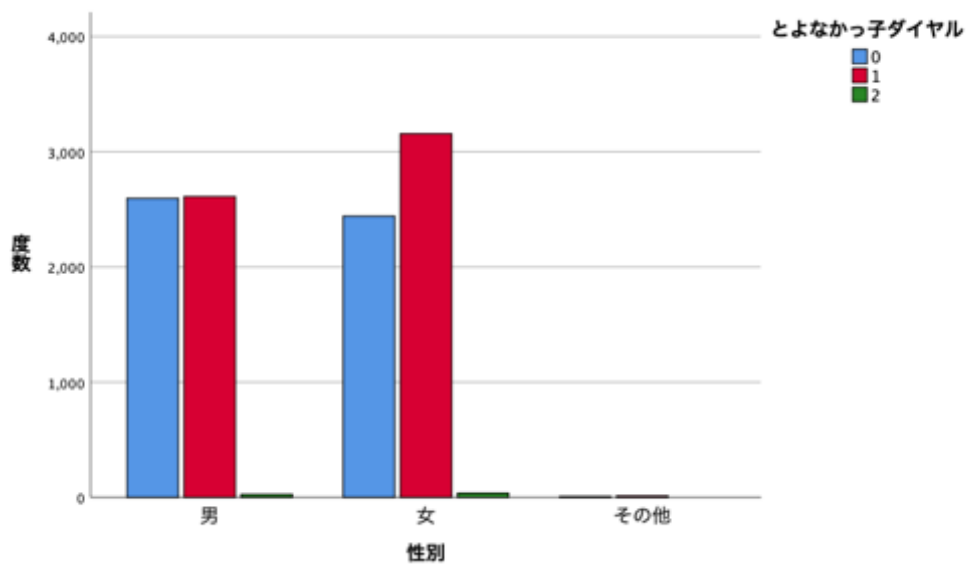
とよなかつ子ダイヤル	人数	%
0 知らない	5045	46.3
1 知っているが利用したことがない	5778	53.1
2 知っており利用したことがある	62	0.6
合計	10885	100



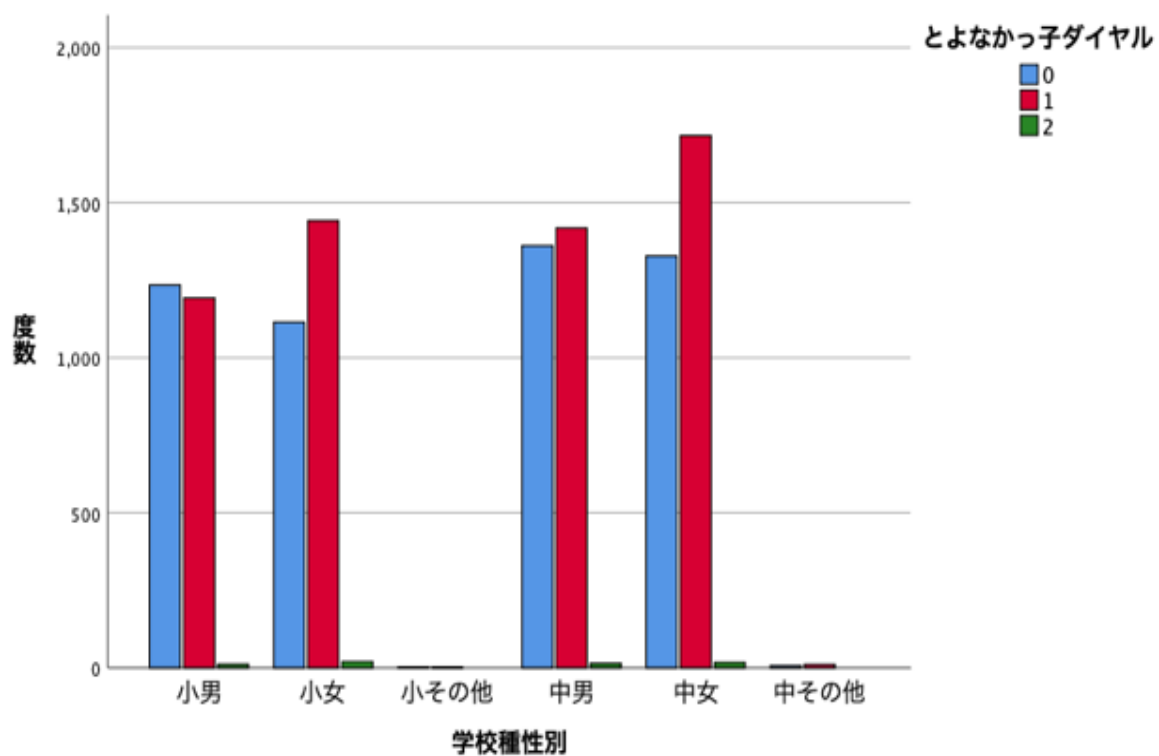
学年	0	1	2	合計
5年	1206	1363	17	2586
	46.60%	52.70%	0.70%	100.00%
6年	1145	1272	14	2431
	47.10%	52.30%	0.60%	100.00%
中1	858	1237	12	2107
	40.70%	58.70%	0.60%	100.00%
中2	933	1005	11	1949
	47.90%	51.60%	0.60%	100.00%
中3	903	901	8	1812
	49.80%	49.70%	0.40%	100.00%
合計	5045	5778	62	10885
	46.30%	53.10%	0.60%	100.00%



性別	0	1	2	合計
男	2595	2610	25	5230
	49.60%	49.90%	0.50%	100.00%
女	2441	3156	37	5634
	43.30%	56.00%	0.70%	100.00%
その他	9	12	0	21
	42.90%	57.10%	0.00%	100.00%
合計	5045	5778	62	10885
	46.30%	53.10%	0.60%	100.00%



とよなかつ子ダイヤル	0	1	2	合計
小男	1234	1192	11	2437
	50.60%	48.90%	0.50%	100.00%
小女	1114	1441	20	2575
	43.30%	56.00%	0.80%	100.00%
小その他	3	2	0	5
	60.00%	40.00%	0.00%	100.00%
中男	1361	1418	14	2793
	48.70%	50.80%	0.50%	100.00%
中女	1327	1715	17	3059
	43.40%	56.10%	0.60%	100.00%
中その他	6	10	0	16
	37.50%	62.50%	0.00%	100.00%
合計	5045	5778	62	10885
	46.30%	53.10%	0.60%	100.00%

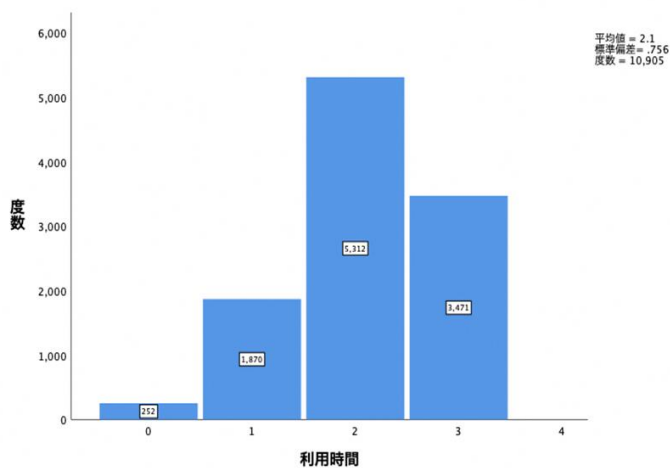


考察 1

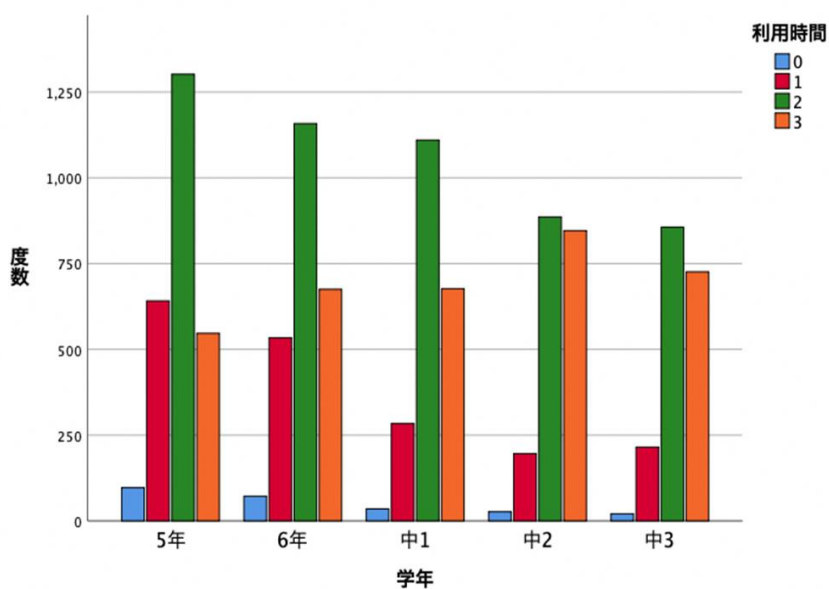
- 「とよなかつ子ダイヤル」の利用経験は 1 ポイント未満で、小5で最も割合が高くなっており、中3で最も低くなっていることから、年齢が上がるほど電話での相談に抵抗がある可能性があり、電話以外の相談方法の工夫も必要だと考えられる。
- 「とよなかつ子ダイヤル」を認知していない児童生徒は 46.3 ポイントで、半数近くに及んでいる。相談したいときに適切に利用できるよう、各学校や家庭を通じ認知を高めるための広報周知を工夫することが求められる。
- 「とよなかつ子ダイヤル」を認知している児童生徒は 50 ポイントを越えてはいるものの、実際の利用者数は、0.6 ポイントに留まっている。「とよなかつ子ダイヤル」の利用メニューや利用目的等、より具体的な利用価値を子どもたちの視点で伝えることが望まれる。
- 性別でのクロス集計によると、「とよなかつ子ダイヤル」の利用経験と、認知度合いにおいては、有意差があり、男子よりも女子の割合が高くなっている。「とよなかつ子ダイヤル」の認知についても、女子の割合が高くなっている。

2. インターネットの利用時間について

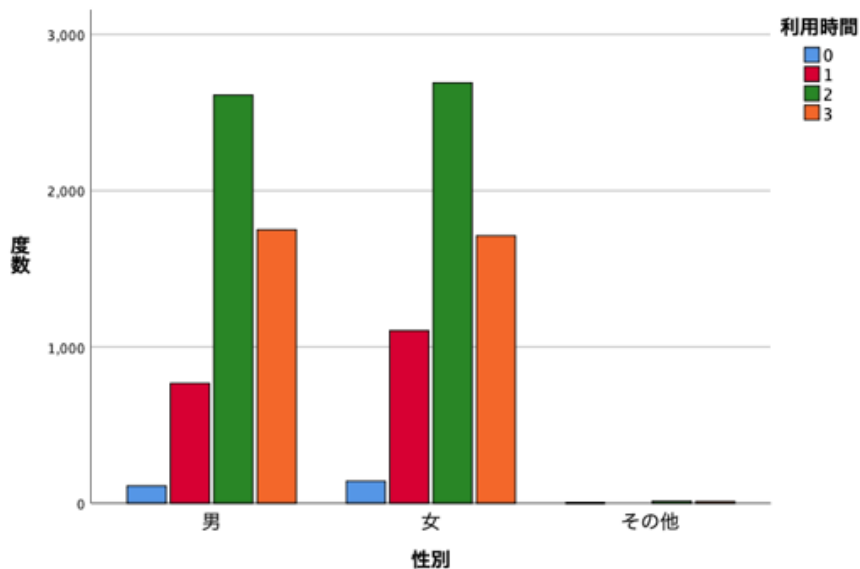
インターネットの利用時間	度数	%
0 全くしない	252	2.3
1 1時間より少ない	1870	17.1
2 1時間以上3時間より少ない	5312	48.7
3 3時間以上	3471	31.8
合計	10905	100



学年	0	1	2	3	合計
5年	97	641	1302	547	2587
	3.70%	24.80%	50.30%	21.10%	100.00%
6年	72	534	1158	675	2439
	3.00%	21.90%	47.50%	27.70%	100.00%
中1	35	284	1110	677	2106
	1.70%	13.50%	52.70%	32.10%	100.00%
中2	27	196	886	846	1955
	1.40%	10.00%	45.30%	43.30%	100.00%
中3	21	215	856	726	1818
	1.20%	11.80%	47.10%	39.90%	100.00%
合計	252	1870	5312	3471	10905
	2.30%	17.10%	48.70%	31.80%	100.00%



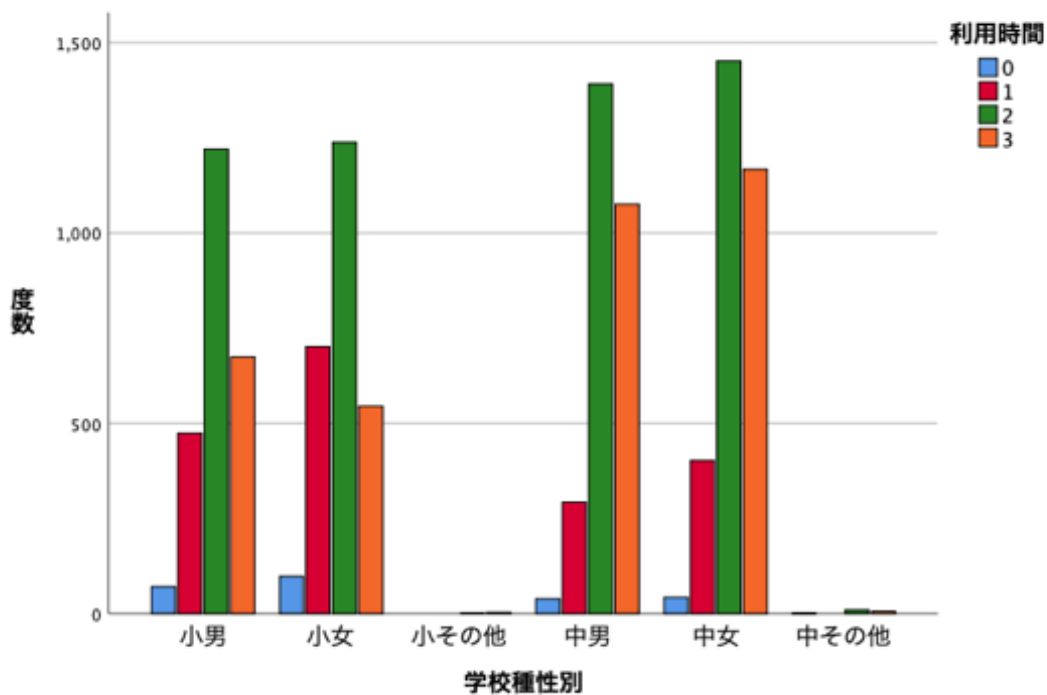
性別	0	1	2	3	合計
男	110 2.10%	767 14.60%	2611 49.80%	1750 33.40%	5238 100.00%
女	141 2.50%	1103 19.50%	2690 47.60%	1712 30.30%	5646 100.00%
その他	1 4.80%	0 0.00%	11 52.40%	9 42.90%	21 100.00%
合計	252 2.30%	1870 17.10%	5312 48.70%	3471 31.80%	10905 100.00%



考察 2

- インターネットの利用時間は、[1～3 時間]が最も多くなっている。しかし、中学校の男子、及び、女子においては[3 時間以上]利用している生徒の割合はそれぞれ 38 ポイントを超えているという実態が明らかとなった。
- 学年が上がるにつれ[全くしない]と[1～3 時間]の割合は減少しており、[3 時間以上]の割合は中 2 まで高くなっているが、中 3 になると減少する。中 3 での減少は受験勉強との関係もあると思われる。
- 校種別・性別で分析してみると、3 時間以上のネット利用は、小学校男子が女子よりも、中学校女子が男子よりも有意に多くなっている。性別及び年齢によるネットの利用目的の相違がネット利用時間に影響を及ぼしている可能性があることが示唆されている。

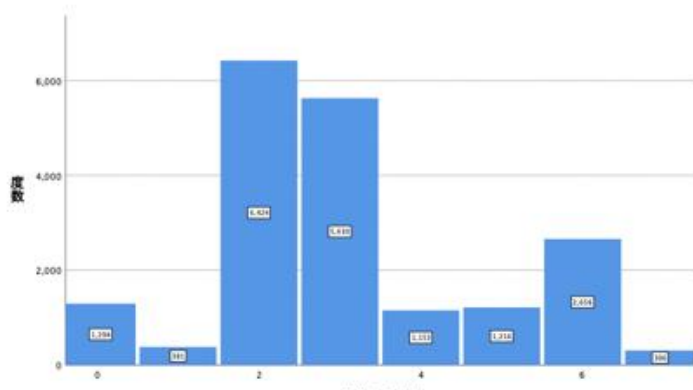
インターネット利用時間	0	1	2	3	合計
小男	71	474	1220	674	2439
	2.90%	19.40%	50.00%	27.60%	100.00%
小女	98	701	1238	545	2582
	3.80%	27.10%	47.90%	21.10%	100.00%
小その他	0	0	2	3	5
	0.00%	0.00%	40.00%	60.00%	100.00%
中男	39	293	1391	1076	2799
	1.40%	10.50%	49.70%	38.40%	100.00%
中女	43	402	1452	1167	3064
	1.40%	13.10%	47.40%	38.10%	100.00%
中その他	1	0	9	6	16
	6.30%	0.00%	56.30%	37.50%	100.00%
合計	252	1870	5312	3471	10905
	2.30%	17.10%	48.70%	31.80%	100.00%



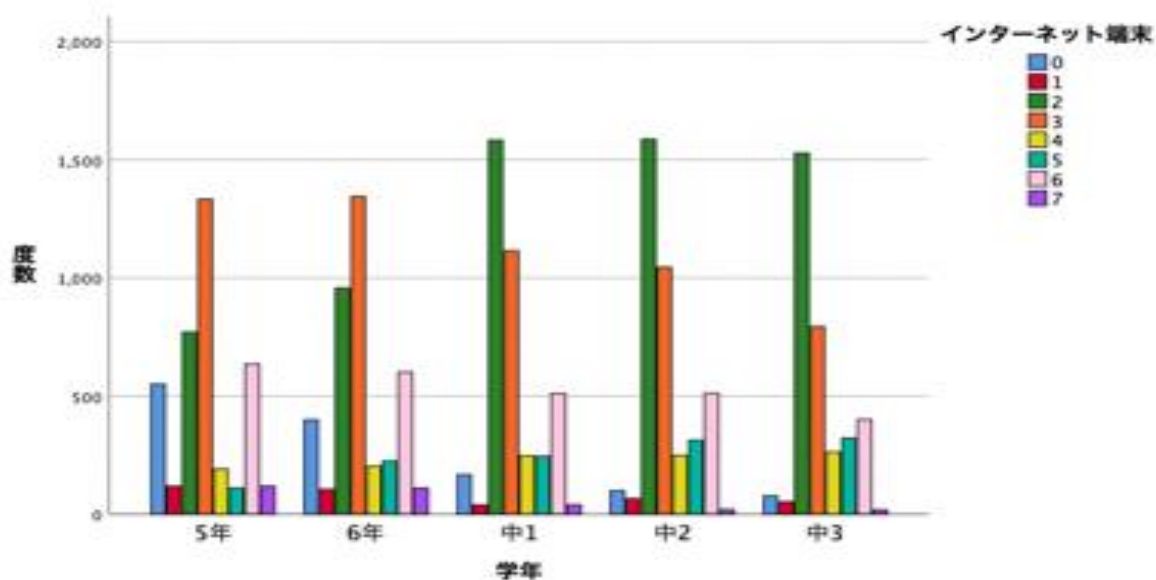
3-1. 自分専用のインターネット端末について(複数回答の累計)

自分専用端末	度数	%
0 持っていない	1294	6.8
1 ガラケー	381	2.0
2 スマホ	6424	33.7
3 ゲーム機	5630	29.5
4 パソコン	1153	6.0
5 音楽プレイヤー	1216	6.4
6 タブレット	2658	13.9
7 その他	306	1.6
合計	19062	100.0

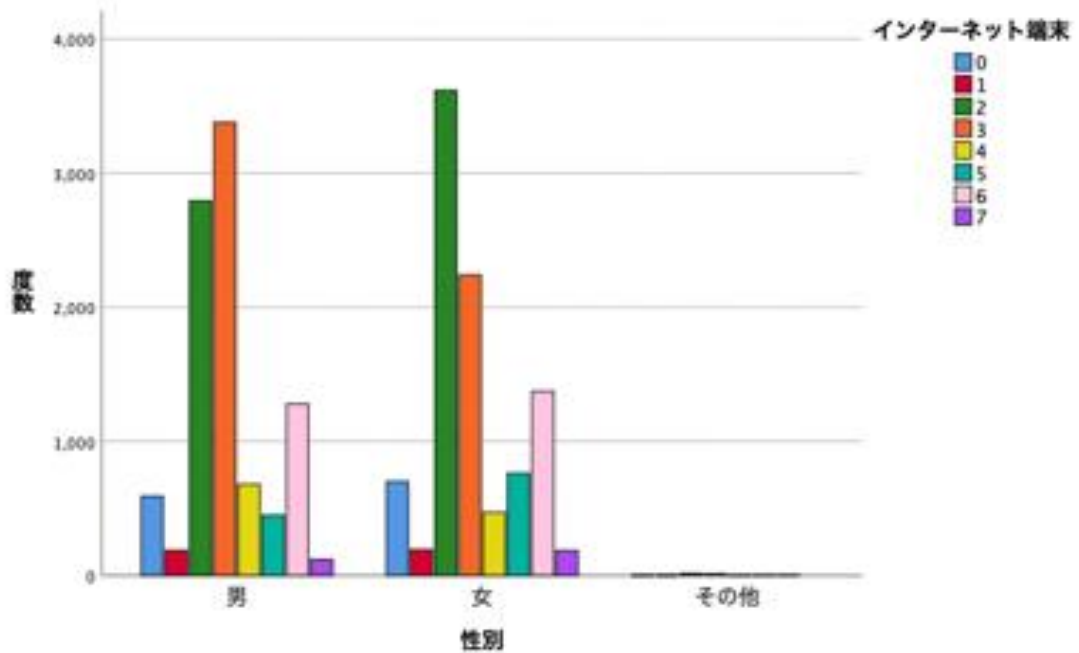
n=10701



自分専用端末	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
5年	550	119	770	1333	191	110	635	118	3826
	14.40%	3.10%	20.10%	34.80%	5.00%	2.90%	16.60%	3.10%	100.00%
6年	399	105	957	1345	203	225	601	110	3945
	10.10%	2.70%	24.30%	34.10%	5.10%	5.70%	15.20%	2.80%	100.00%
中1	167	39	1582	1115	247	246	510	40	3946
	4.20%	1.00%	40.10%	28.30%	6.30%	6.20%	12.90%	1.00%	100.00%
中2	100	65	1587	1044	249	313	512	20	3890
	2.60%	1.70%	40.80%	26.80%	6.40%	8.00%	13.20%	0.50%	100.00%
中3	78	53	1528	793	263	322	400	18	3455
	2.30%	1.50%	44.20%	23.00%	7.60%	9.30%	11.60%	0.50%	100.00%
合計	1294	381	6424	5630	1153	1216	2658	306	19062
	6.80%	2.00%	33.70%	29.50%	6.00%	6.40%	13.90%	1.60%	100.00%



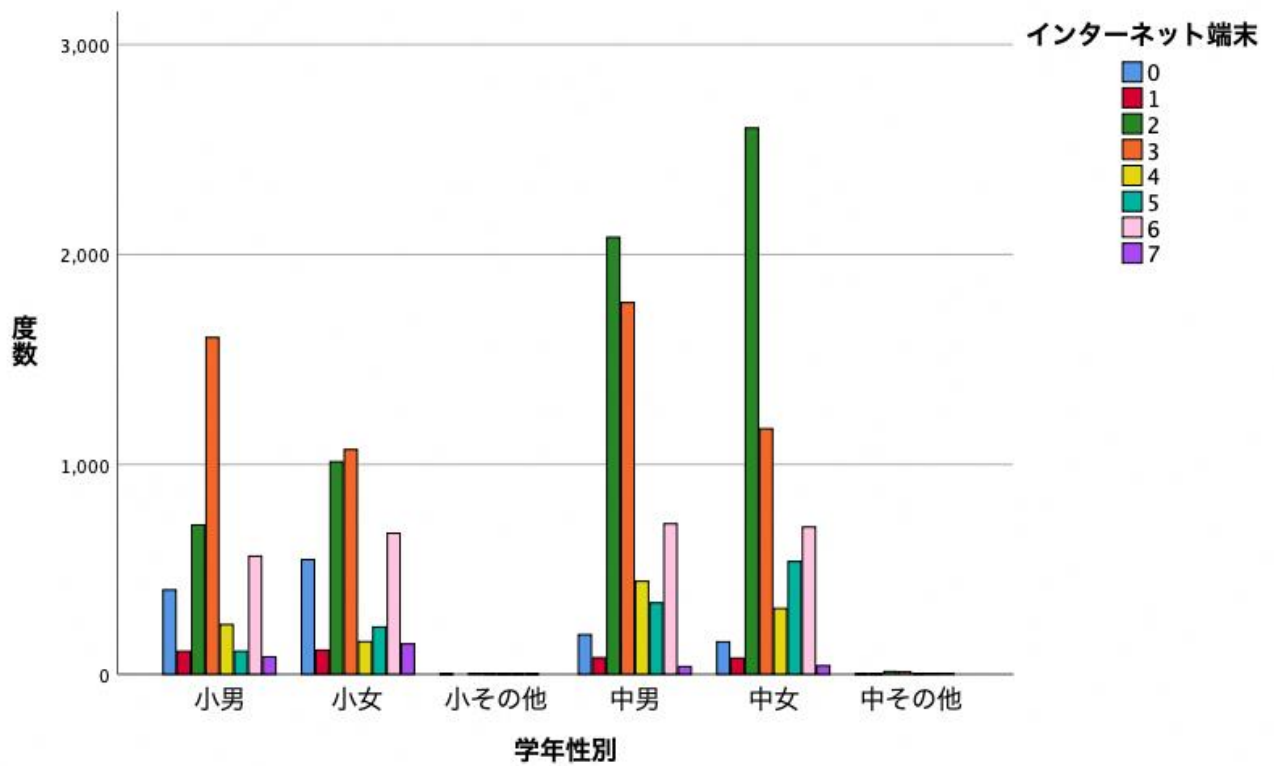
自分専用端末	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
男	591	188	2793	3376	680	449	1280	120	9477
	6.20%	2.00%	29.50%	35.60%	7.20%	4.70%	13.50%	1.30%	100.00%
女	701	192	3615	2241	470	763	1373	186	9541
	7.30%	2.00%	37.90%	23.50%	4.90%	8.00%	14.40%	1.90%	100.00%
その他	2	1	16	13	3	4	5	0	44
	4.50%	2.30%	36.40%	29.50%	6.80%	9.10%	11.40%	0.00%	100.00%
合計	1294	381	6424	5630	1153	1216	2658	306	19062
	6.80%	2.00%	33.70%	29.50%	6.00%	6.40%	13.90%	1.60%	100.00%



考察 3

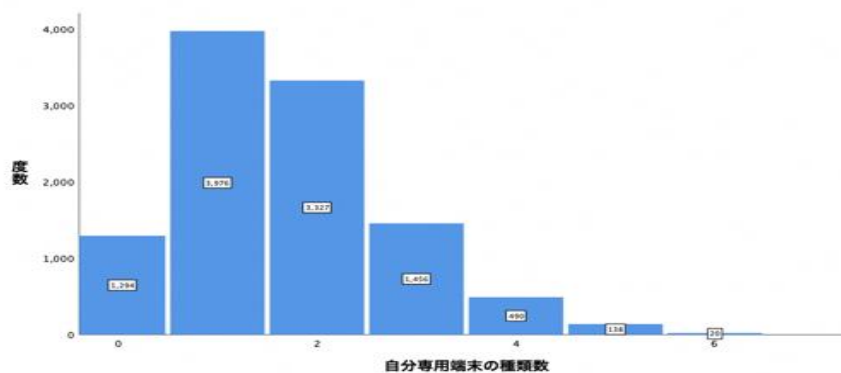
- 自分専用の端末について、全体で見ると、[スマホ][ゲーム機][タブレット]の順で多くなっているが、小学生では[ゲーム機]が最も多くなっている。
- 中学生になると[スマホ]が急激に多くなっている。[タブレット]は学年が上がるにつれて、少なくなっている。
- 小学生は[ゲーム機]を中心にインターネットにつながっているが、中学入学を機に[スマホ]を手にするようになり、[スマホ]を通してインターネットでつながる機会が増加すると考えられる。このことが、インターネットの利用時間が増加(考察 2:中学生 3 時間以上が増加)していることにも起因していると考えられる。
- 校種別・性別でデータ分析を行うと、小学校男子においてゲーム機が、中学校女子においてスマホが突出して高くなっている。このことから、ゲーム依存的な傾向が小学生男子に、スマホ依存的な傾向が中学校女子に生じている可能性が示唆されている。そのため、ネット依存を予防するための系統的な教育プログラムや教育機会を、小学校レベルから積極的に導入することが望まれる。
- [持っていない]は中 1 が 4.2 ポイント、2・3 年生は 2 ポイント台(2.6 ポイント、2.3 ポイント)となり、小学生と比較すると 10 ポイントほど減少しており、中学生は何らかの自分専用端末を所持していることがわかる。
- 小中学生が所持している端末は、スマホとゲーム機が中心で、学年が上がるにつれ、パソコンとタブレットが一定比率を占めるようになっている。勉強等にネットを利用する等、ネットの使用目的が所有端末の種類を決定づけてはいるものの、多機能化しているスマホの存在が極めて大きくなっている。
- 性別で見ると男女で違いがみられ、男子は[ゲーム機]が、女子は[スマホ]が最も多くなっている。この違いは、ゲームプレイを中心とした男子と、SNS 利用を中心とした女子とのネット利用目的の相違として表面化しているものと考えられる。
- 小学校男子・女子、中学校男子・女子の分析結果から、男子の方が女子よりも[音楽プレイヤー]の比率が高く、一方、女子の方が男子より[パソコン]の比率が有意に高くなっている。このことから、SNS をはじめとした情報検索を中心としたネット利用が女子においてより活発に行われていることが窺える。

自分専用端末	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
小男	402	109	711	1605	237	109	563	83	3819
	10.50%	2.90%	18.60%	42.00%	6.20%	2.90%	14.70%	2.20%	100.00%
小女	546	115	1013	1071	156	225	672	145	3943
	13.80%	2.90%	25.70%	27.20%	4.00%	5.70%	17.00%	3.70%	100.00%
小その他	1	0	3	2	1	1	1	0	9
	11.10%	0.00%	33.30%	22.20%	11.10%	11.10%	11.10%	0.00%	100.00%
中男	189	79	2082	1771	443	340	717	37	5658
	3.30%	1.40%	36.80%	31.30%	7.80%	6.00%	12.70%	0.70%	100.00%
中女	155	77	2602	1170	314	538	701	41	5598
	2.80%	1.40%	46.50%	20.90%	5.60%	9.60%	12.50%	0.70%	100.00%
中その他	1	1	13	11	2	3	4	0	35
	2.90%	2.90%	37.10%	31.40%	5.70%	8.60%	11.40%	0.00%	100.00%
合計	1294	381	6424	5630	1153	1216	2658	306	19062
	6.80%	2.00%	33.70%	29.50%	6.00%	6.40%	13.90%	1.60%	100.00%

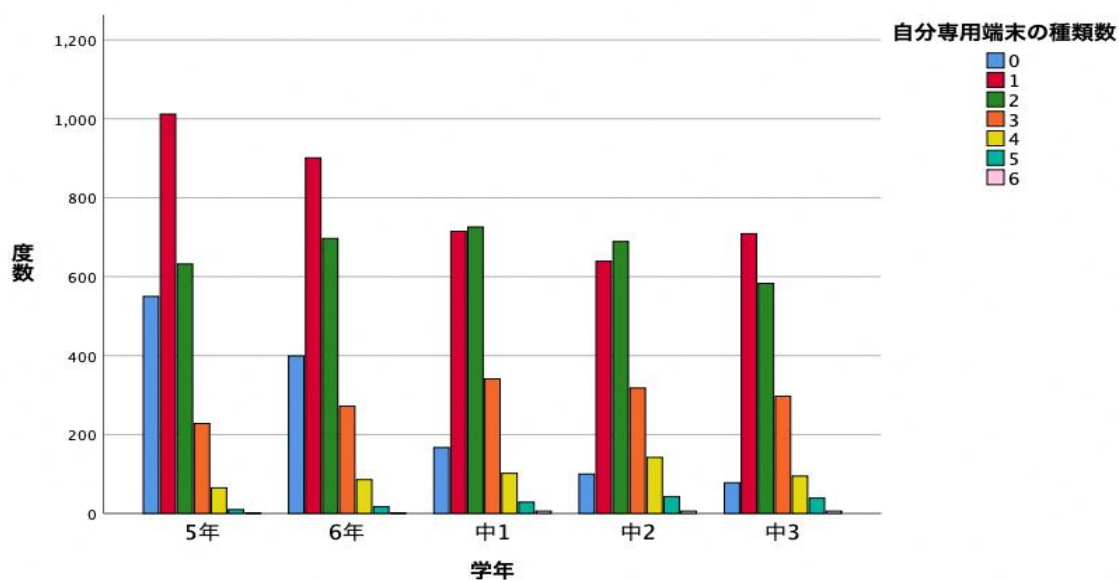


3-2. 自分専用のインターネット端末数について(自分専用端末の種類数)

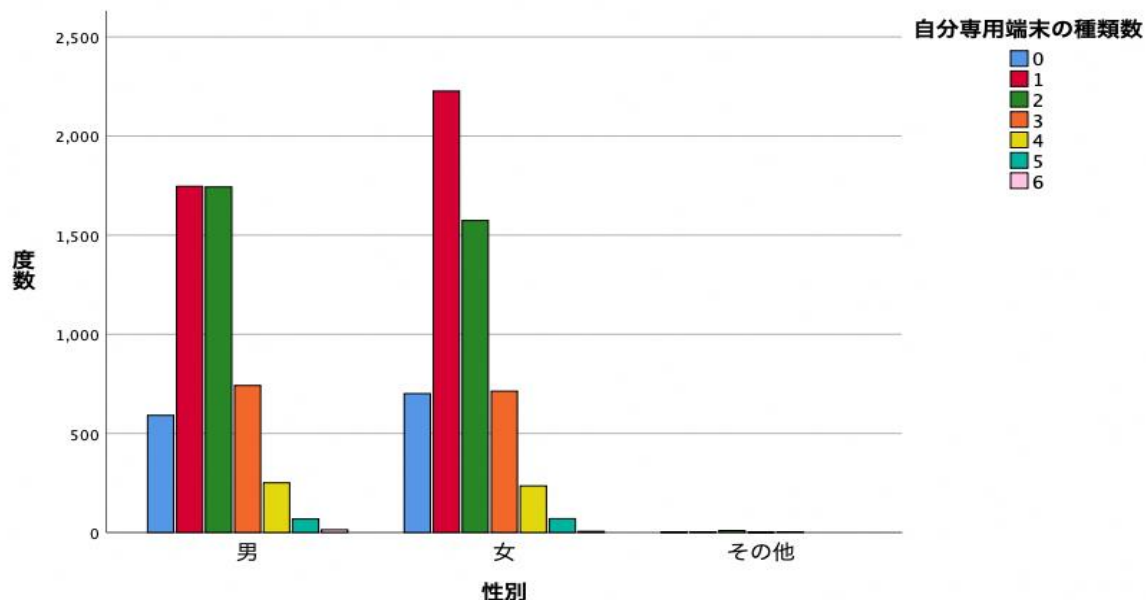
自分専用端末の種類数	度数	%
0 ない	1294	12.1
1 種類	3976	37.2
2 種類	3327	31.1
3 種類	1456	13.6
4 種類	490	4.6
5 種類	138	1.3
6 種類	20	0.2
合計	10701	100.0



自分専用端末の種類数	0	1	2	3	4	5	6	合計
5年	550	1012	632	228	65	10	1	2498
	22.00%	40.50%	25.30%	9.10%	2.60%	0.40%	0.00%	100.00%
6年	399	901	697	272	86	17	1	2373
	16.80%	38.00%	29.40%	11.50%	3.60%	0.70%	0.00%	100.00%
中1	167	715	726	341	102	29	6	2086
	8.00%	34.30%	34.80%	16.30%	4.90%	1.40%	0.30%	100.00%
中2	100	639	689	318	142	43	6	1937
	5.20%	33.00%	35.60%	16.40%	7.30%	2.20%	0.30%	100.00%
中3	78	709	583	297	95	39	6	1807
	4.30%	39.20%	32.30%	16.40%	5.30%	2.20%	0.30%	100.00%
合計	1294	3976	3327	1456	490	138	20	10701
	12.10%	37.20%	31.10%	13.60%	4.60%	1.30%	0.20%	100.00%



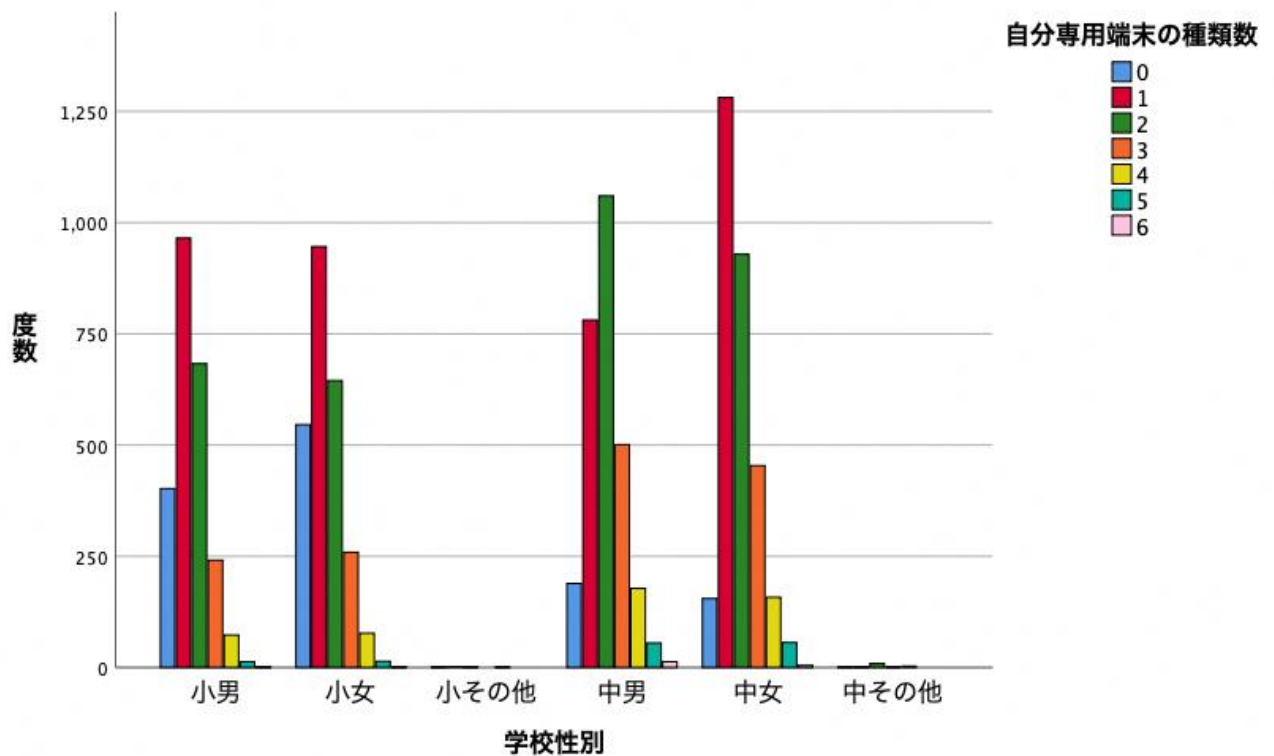
自分専用端末の種類数	0	1	2	3	4	5	6	合計
男	591	1746	1743	742	251	68	14	5155
	11.50%	33.90%	33.80%	14.40%	4.90%	1.30%	0.30%	100.00%
女	701	2227	1574	713	235	70	6	5526
	12.70%	40.30%	28.50%	12.90%	4.30%	1.30%	0.10%	100.00%
その他	2	3	10	1	4	0	0	20
	10.00%	15.00%	50.00%	5.00%	20.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	1294	3976	3327	1456	490	138	20	10701
	12.10%	37.20%	31.10%	13.60%	4.60%	1.30%	0.20%	100.00%



考察 4

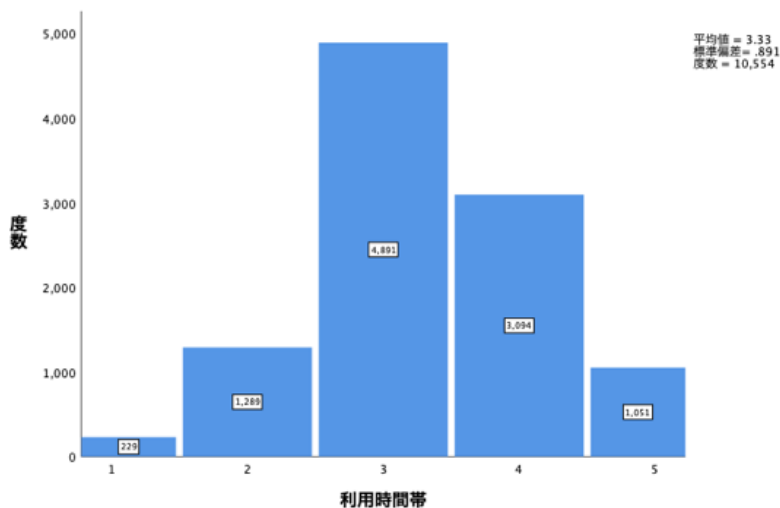
- 自分専用端末を何種類持っているかについては、全体としては[1種類]が最も多いが、学年別で見ると、中1、中2では[2種類]持っている場合が最も多くなっている。一方、自分専用端末は[なし]と答えた児童生徒は全体の1割となっているが、小5では22ポイント、小6では16.8ポイント、中3では4.3ポイントが[なし]と答え、小学生と中学生では所持率に大きな違いがあることがわかる。
- 性別で見ると、男子では[1種類][2種類]が多くっており、女子では[1種類]が最も多くなっている。女子の方が自分専用端末は[なし]と答えている割合が多くなっている。
- 学校種別・性別で分析すると、小中学校ともに[タブレット]の所有比率が10ポイントを超えており、ギガネットスクールや新型コロナ感染拡大によるオンライン授業の影響も現れていると考えられる。
- [パソコン]の所有については、小中学生の間で有意差が認められ、中学校での所持率が高くなっている。キーボード入力等のリテラシー教育との関連性が窺える。

自分専用端末の種類数	0	1	2	3	4	5	6	合計
小男	402	965	683	241	73	13	1	2378
	16.90%	40.60%	28.70%	10.10%	3.10%	0.50%	0.00%	100.00%
小女	546	946	645	259	77	14	1	2488
	21.90%	38.00%	25.90%	10.40%	3.10%	0.60%	0.00%	100.00%
小その他	1	2	1	0	1	0	0	5
	20.00%	40.00%	20.00%	0.00%	20.00%	0.00%	0.00%	100.00%
中男	189	781	1060	501	178	55	13	2777
	6.80%	28.10%	38.20%	18.00%	6.40%	2.00%	0.50%	100.00%
中女	155	1281	929	454	158	56	5	3038
	5.10%	42.20%	30.60%	14.90%	5.20%	1.80%	0.20%	100.00%
中その他	1	1	9	1	3	0	0	15
	6.70%	6.70%	60.00%	6.70%	20.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	1294	3976	3327	1456	490	138	20	10701
	12.10%	37.20%	31.10%	13.60%	4.60%	1.30%	0.20%	100.00%

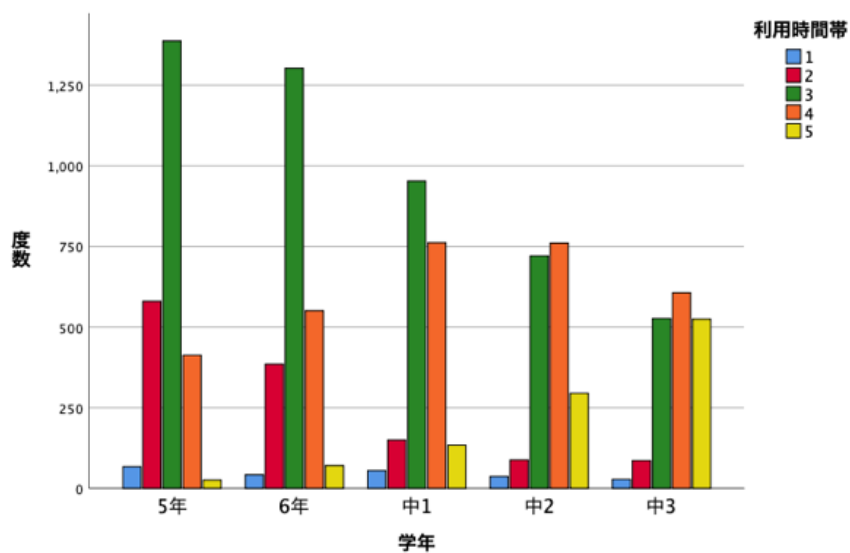


4. インターネットの利用時間帯について

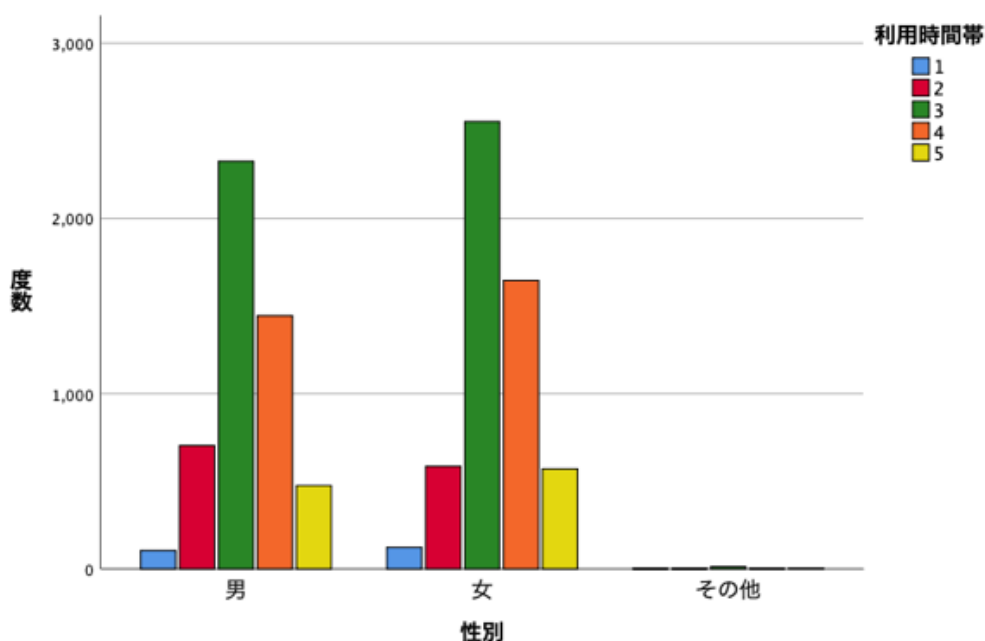
利用時間帯	度数	%
1 朝	229	2.2
2 昼から17時まで	1289	12.2
3 17時から20時まで	4891	46.3
4 20時から22時まで	3094	29.3
5 22時以降	1051	10
合計	10554	100



学年	1	2	3	4	5	合計
5年	67	580	1387	413	26	2473
	2.70%	23.50%	56.10%	16.70%	1.10%	100.00%
6年	42	385	1303	551	71	2352
	1.80%	16.40%	55.40%	23.40%	3.00%	100.00%
中1	55	150	953	762	134	2054
	2.70%	7.30%	46.40%	37.10%	6.50%	100.00%
中2	37	88	721	761	295	1902
	1.90%	4.60%	37.90%	40.00%	15.50%	100.00%
中3	28	86	527	607	525	1773
	1.60%	4.90%	29.70%	34.20%	29.60%	100.00%
合計	229	1289	4891	3094	1051	10554
	2.20%	12.20%	46.30%	29.30%	10.00%	100.00%



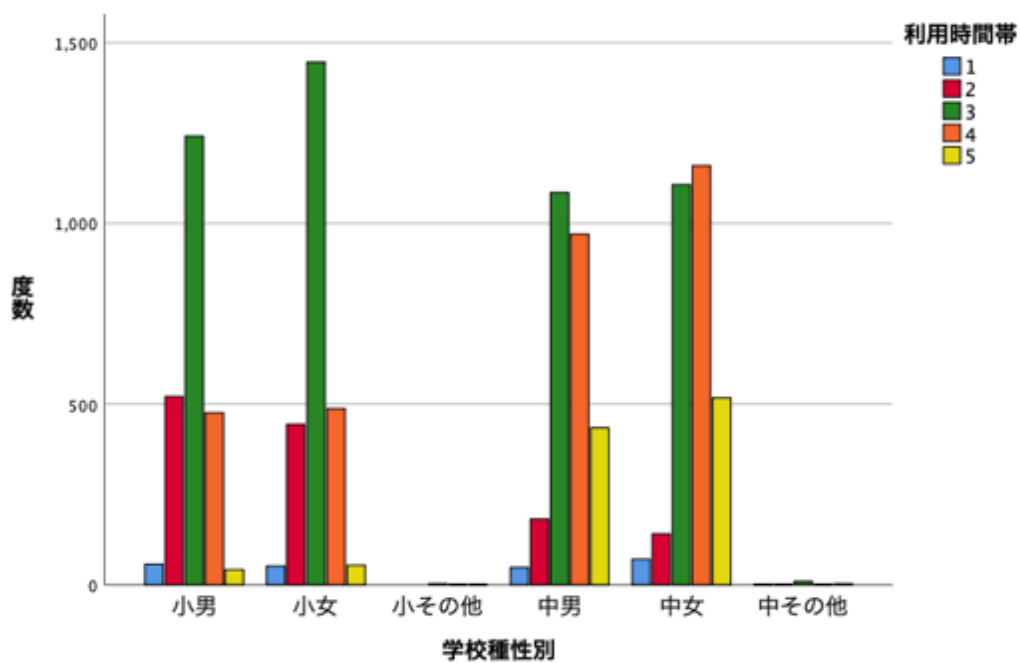
性別	1	2	3	4	5	合計
男	105	703	2326	1446	476	5056
	2.10%	13.90%	46.00%	28.60%	9.40%	100.00%
女	123	585	2553	1646	571	5478
	2.20%	10.70%	46.60%	30.00%	10.40%	100.00%
その他	1	1	12	2	4	20
	5.00%	5.00%	60.00%	10.00%	20.00%	100.00%
合計	229	1289	4891	3094	1051	10554
	2.20%	12.20%	46.30%	29.30%	10.00%	100.00%



考察 5

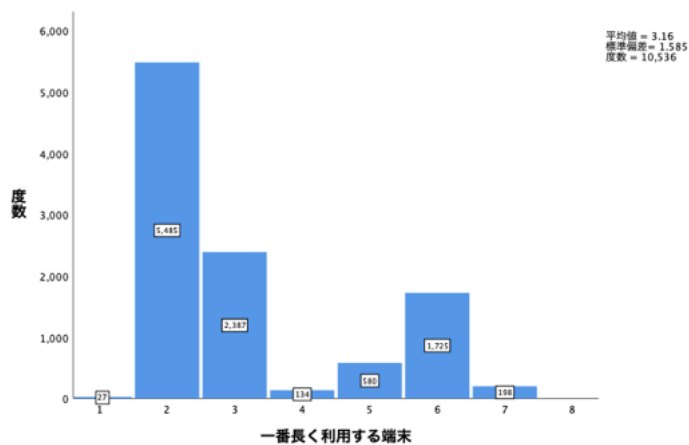
- インターネットの利用時間帯は全体では[17～20 時]が最も多くなっている。
- 学年別でみると、中 2、中 3 では[20～22 時]が最も多く、中 3 では[22 時以降]も 3 割ほどとなり高い割合となっている。
- 校種別の分析によると、小学生と中学生では、インターネット利用に関わる生活パターンに大きな相違が生じている。すなわち、20 時以降、22 時以降を中心とした夜型・深夜パターンが中 2、中 3 では 50 ポイントを超える等、顕著となっている。特にその傾向は、中学校女子に強く現れている。
- なお、女子が男子に比べ夜型傾向が高くなることは、学校種別・性別の分析において、小学校においても現れていることが確認できる。

利用時間帯	1	2	3	4	5	合計
小男	57	521	1241	476	42	2337
	2.40%	22.30%	53.10%	20.40%	1.80%	100.00%
小女	52	444	1446	487	54	2483
	2.10%	17.90%	58.20%	19.60%	2.20%	100.00%
小その他	0	0	3	1	1	5
	0.00%	0.00%	60.00%	20.00%	20.00%	100.00%
中男	48	182	1085	970	434	2719
	1.80%	6.70%	39.90%	35.70%	16.00%	100.00%
中女	71	141	1107	1159	517	2995
	2.40%	4.70%	37.00%	38.70%	17.30%	100.00%
中その他	1	1	9	1	3	15
	6.70%	6.70%	60.00%	6.70%	20.00%	100.00%
合計	229	1289	4891	3094	1051	10554
	2.20%	12.20%	46.30%	29.30%	10.00%	100.00%

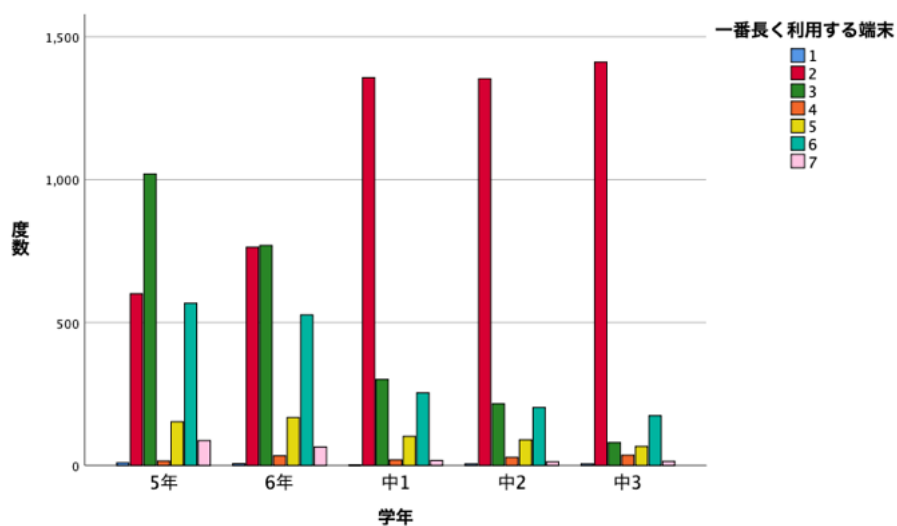


5. 帰宅後、一番長くインターネット接続する端末について

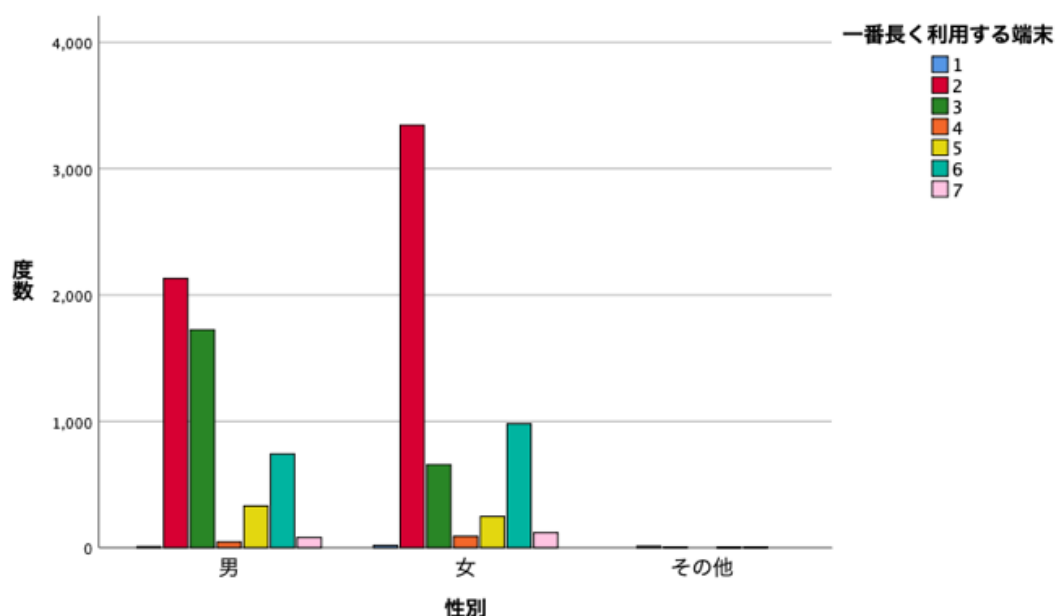
帰宅後一番長く利用する端末	度数	%
1 ガラケー	27	0.3
2 スマホ	5485	52.1
3 ゲーム機	2387	22.7
4 音楽プレイヤー	134	1.3
5 パソコン	580	5.5
6 タブレット	1725	16.4
7 その他	198	1.9
合計	10536	100



学年	1	2	3	4	5	6	7	合計
5年	10	601	1020	16	153	567	87	2454
	0.40%	24.50%	41.60%	0.70%	6.20%	23.10%	3.50%	100.00%
6年	6	763	770	34	168	527	65	2333
	0.30%	32.70%	33.00%	1.50%	7.20%	22.60%	2.80%	100.00%
中1	1	1357	301	20	102	254	18	2053
	0.00%	66.10%	14.70%	1.00%	5.00%	12.40%	0.90%	100.00%
中2	5	1353	216	28	90	203	13	1908
	0.30%	70.90%	11.30%	1.50%	4.70%	10.60%	0.70%	100.00%
中3	5	1411	80	36	67	174	15	1788
	0.30%	78.90%	4.50%	2.00%	3.70%	9.70%	0.80%	100.00%
合計	27	5485	2387	134	580	1725	198	10536
	0.30%	52.10%	22.70%	1.30%	5.50%	16.40%	1.90%	100.00%



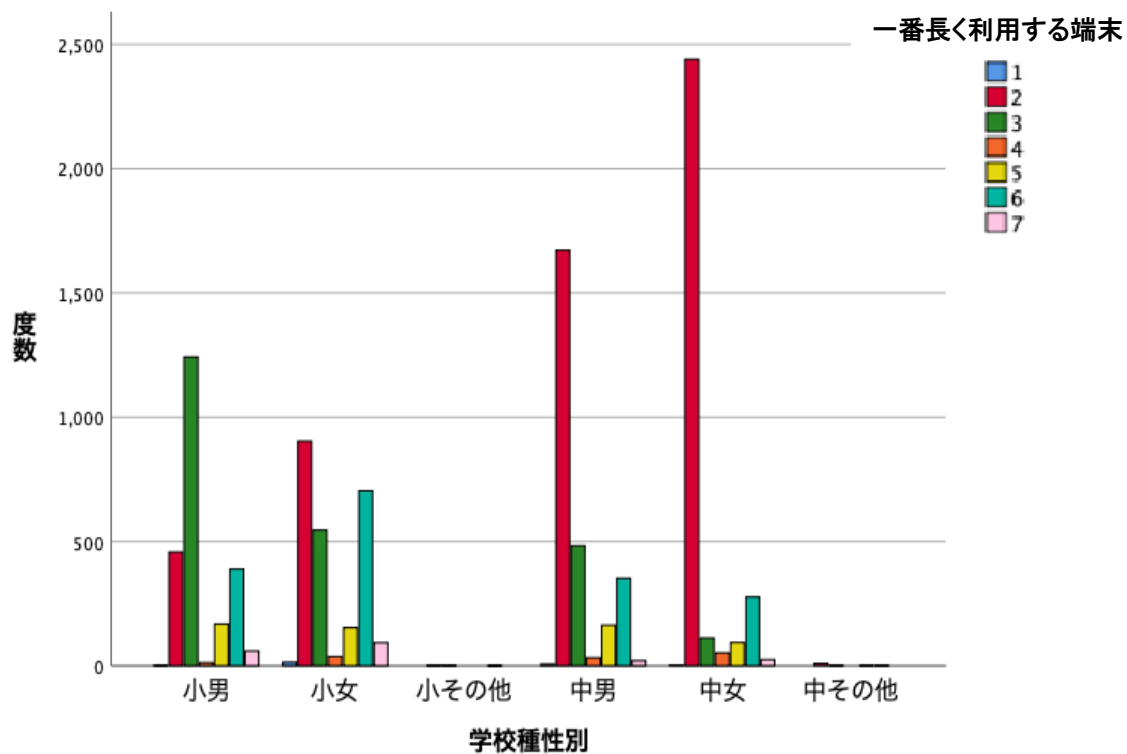
性別	1	2	3	4	5	6	7	合計
男	9	2130	1725	45	331	741	80	5061
	0.20%	42.10%	34.10%	0.90%	6.50%	14.60%	1.60%	100.00%
女	18	3344	658	89	247	981	118	5455
	0.30%	61.30%	12.10%	1.60%	4.50%	18.00%	2.20%	100.00%
その他	0	11	4	0	2	3	0	20
	0.00%	55.00%	20.00%	0.00%	10.00%	15.00%	0.00%	100.00%
合計	27	5485	2387	134	580	1725	198	10536
	0.30%	52.10%	22.70%	1.30%	5.50%	16.40%	1.90%	100.00%



考察 6

- 一番長くインターネット接続する端末は、[スマホ]が 52.1 ポイントと最も多くなっており、続いて[ゲーム機][タブレット]の順で多くなっている。
- しかし、学校種別に分析すると、小学生では[ゲーム機]が、中学生では[スマホ]が最も高くなっている。
- 学校種別・性別で分析すると、男女の有意差が顕著に現れている。すなわち、小学校、中学校においても、[スマホ]の利用時間は女子が有意に高くなっている。
- 一方、小学校男子では[ゲーム機]が、また、中学校男子でも[ゲーム機]が女子よりも有意に高くなっている。性別による相違が顕著になっている事例として捉えることができる。
- [音楽プレイヤー]は 6.4 ポイントが持っているものの一番長くインターネットに接続する端末としては 1.3 ポイントのみとなっている。これは、音楽をダウンロードする時のみ [音楽プレイヤー]をネット接続するという利用方法を裏付けた結果が示されている。

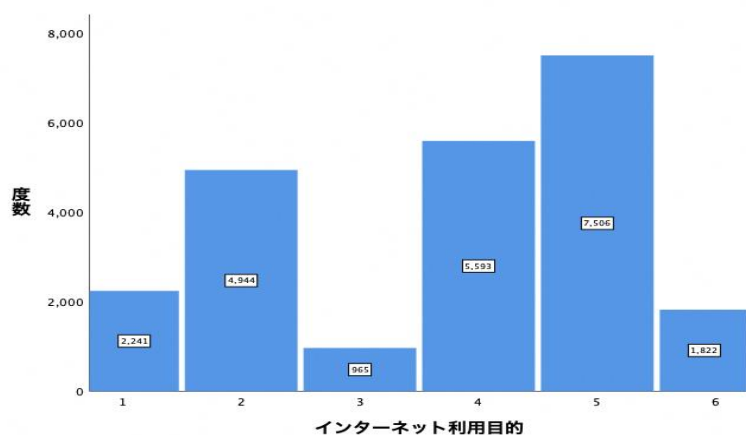
一番長く利用する端末	1	2	3	4	5	6	7	合計
小男	2	458	1242	13	168	389	59	2331
	0.10%	19.60%	53.30%	0.60%	7.20%	16.70%	2.50%	100.00%
小女	14	904	546	37	153	704	93	2451
	0.60%	36.90%	22.30%	1.50%	6.20%	28.70%	3.80%	100.00%
小その他	0	2	2	0	0	1	0	5
	0.00%	40.00%	40.00%	0.00%	0.00%	20.00%	0.00%	100.00%
中男	7	1672	483	32	163	352	21	2730
	0.30%	61.20%	17.70%	1.20%	6.00%	12.90%	0.80%	100.00%
中女	4	2440	112	52	94	277	25	3004
	0.10%	81.20%	3.70%	1.70%	3.10%	9.20%	0.80%	100.00%
中その他	0	9	2	0	2	2	0	15
	0.00%	60.00%	13.30%	0.00%	13.30%	13.30%	0.00%	100.00%
合計	27	5485	2387	134	580	1725	198	10536
	0.30%	52.10%	22.70%	1.30%	5.50%	16.40%	1.90%	100.00%



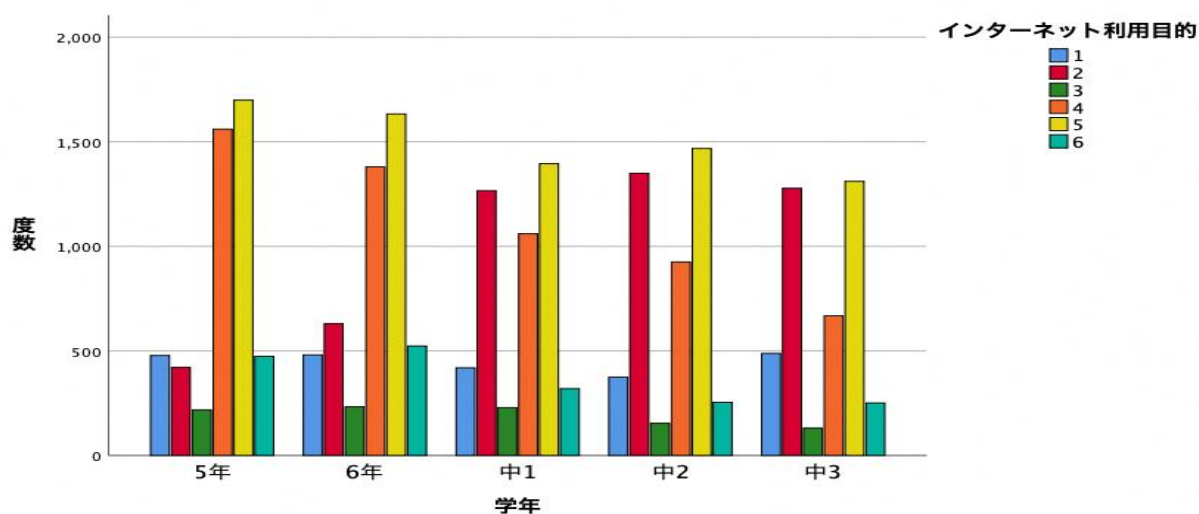
6-1. インターネットの利用目的について(複数回答の累計)

インターネット利用目的	度数	%
1. 勉強	2241	9.7
2. SNS (LINEやInstagramなど)	4944	21.4
3. メール	965	4.2
4. ゲーム	5593	24.2
5. YouTube等動画視聴	7506	32.5
6. その他の情報検索	1822	7.9
合計	23071	100

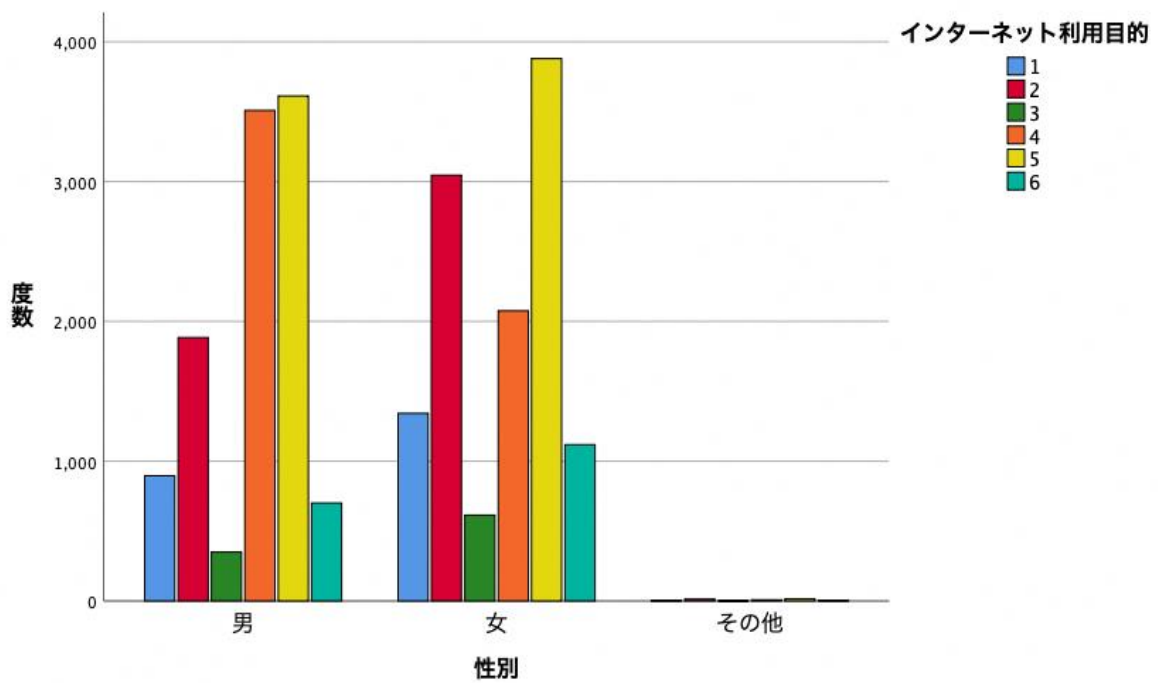
n=10050



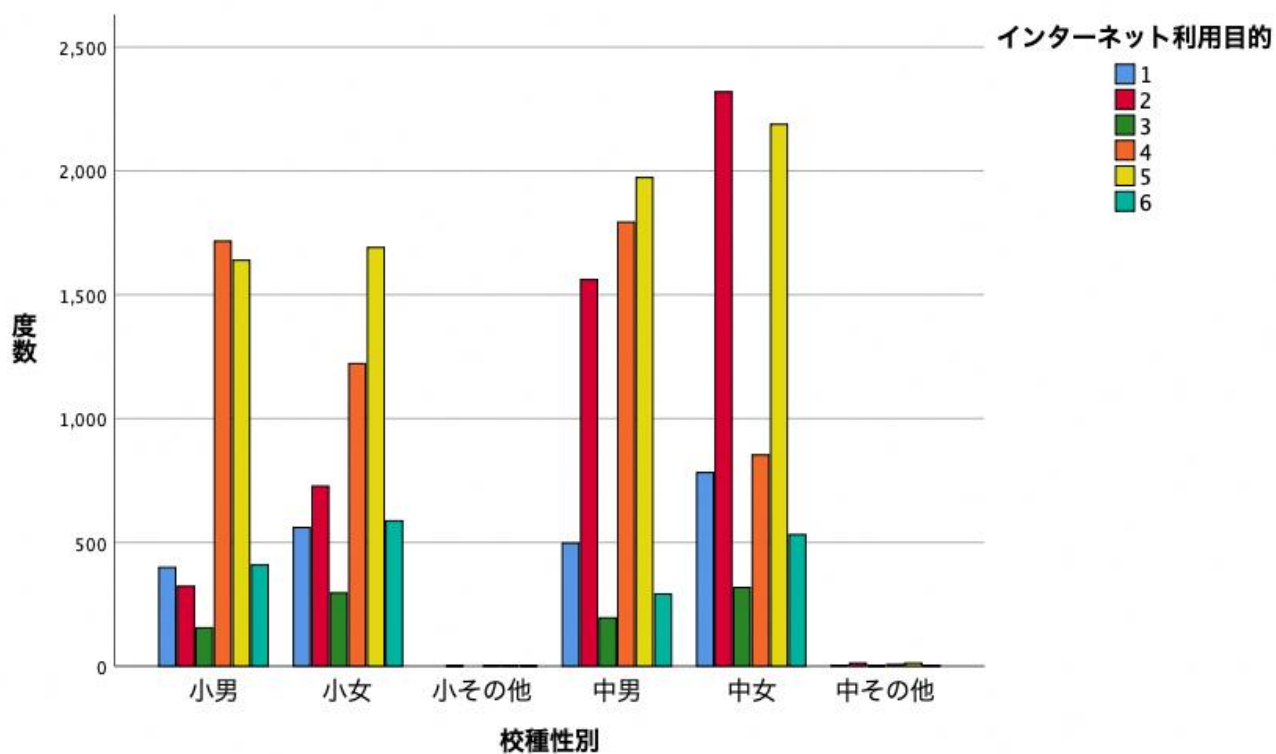
学年	1	2	3	4	5	6	合計
5年	478	421	218	1560	1699	474	4850
	9.90%	8.70%	4.50%	32.20%	35.00%	9.80%	100.00%
6年	481	630	233	1380	1633	523	4880
	9.90%	12.90%	4.80%	28.30%	33.50%	10.70%	100.00%
中1	419	1266	229	1060	1395	320	4689
	8.90%	27.00%	4.90%	22.60%	29.80%	6.80%	100.00%
中2	375	1349	154	925	1468	254	4525
	8.30%	29.80%	3.40%	20.40%	32.40%	5.60%	100.00%
中3	488	1278	131	668	1311	251	4127
	11.80%	31.00%	3.20%	16.20%	31.80%	6.10%	100.00%
合計	2241	4944	965	5593	7506	1822	23071
	9.70%	21.40%	4.20%	24.20%	32.50%	7.90%	100.00%



性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	896	1884	350	3509	3612	701	10952
	8.20%	17.20%	3.20%	32.00%	33.00%	6.40%	100.00%
女	1342	3046	614	2075	3879	1118	12074
	11.10%	25.20%	5.10%	17.20%	32.10%	9.30%	100.00%
その他	3	14	1	9	15	3	45
	6.70%	31.10%	2.20%	20.00%	33.30%	6.70%	100.00%
合計	2241	4944	965	5593	7506	1822	23071
	9.70%	21.40%	4.20%	24.20%	32.50%	7.90%	100.00%

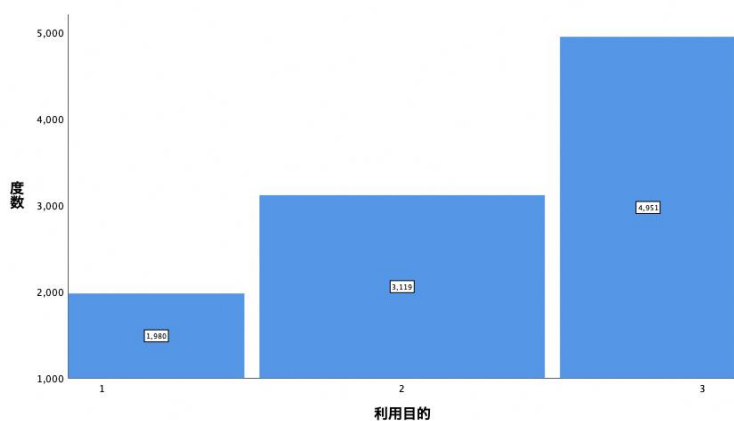


利用目的	1	2	3	4	5	6	合計
小男	399	323	155	1716	1639	409	4641
	8.60%	7.00%	3.30%	37.00%	35.30%	8.80%	100.00%
小女	560	727	296	1222	1691	587	5083
	11.00%	14.30%	5.80%	24.00%	33.30%	11.50%	100.00%
小その他	0	1	0	2	2	1	6
	0.00%	16.70%	0.00%	33.30%	33.30%	16.70%	100.00%
中男	497	1561	195	1793	1973	292	6311
	7.90%	24.70%	3.10%	28.40%	31.30%	4.60%	100.00%
中女	782	2319	318	853	2188	531	6991
	11.20%	33.20%	4.50%	12.20%	31.30%	7.60%	100.00%
中その他	3	13	1	7	13	2	39
	7.70%	33.30%	2.60%	17.90%	33.30%	5.10%	100.00%
合計	2241	4944	965	5593	7506	1822	23071
	9.70%	21.40%	4.20%	24.20%	32.50%	7.90%	100.00%

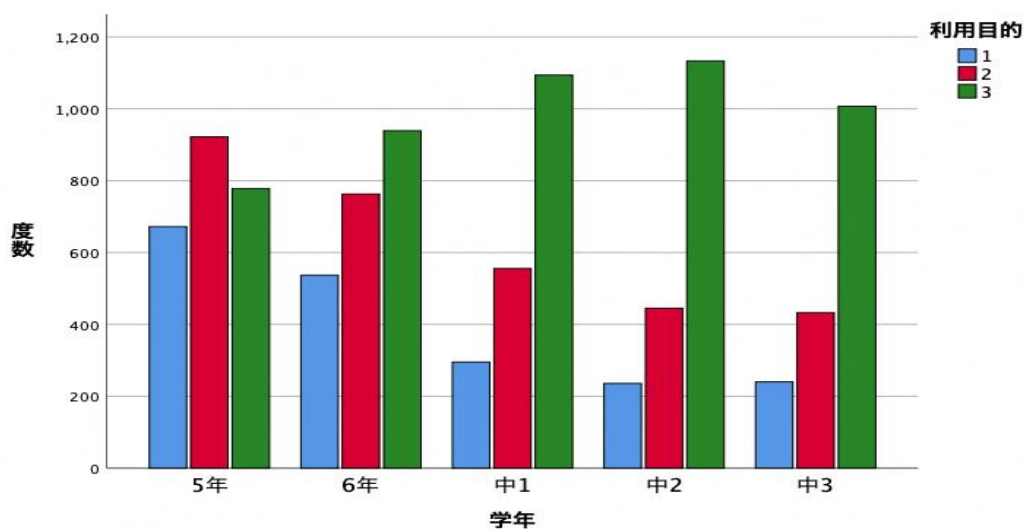


6-2. インターネットの利用目的数について

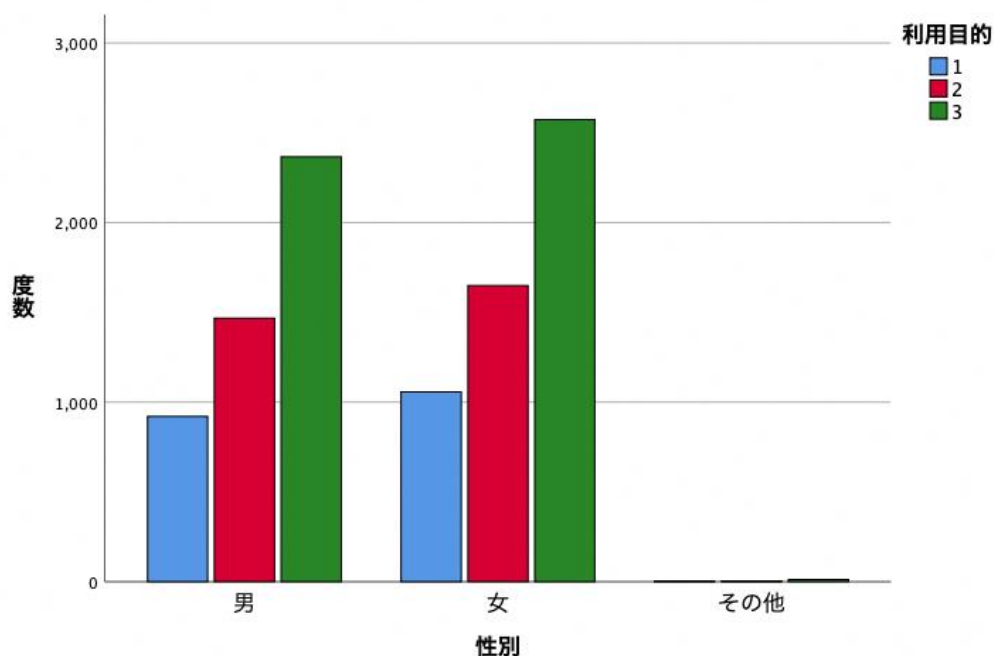
利用目的 (3つまで)	度数	%
1つ	1980	19.7
2つ	3119	31
3つ	4951	49.3
合計	10050	100



利用目的数	1	2	3	合計
5年	672	922	778	2372
	28.30%	38.90%	32.80%	100.00%
6年	537	763	939	2239
	24.00%	34.10%	41.90%	100.00%
中1	295	556	1094	1945
	15.20%	28.60%	56.20%	100.00%
中2	236	445	1133	1814
	13.00%	24.50%	62.50%	100.00%
中3	240	433	1007	1680
	14.30%	25.80%	59.90%	100.00%
合計	1980	3119	4951	10050
	19.70%	31.00%	49.30%	100.00%



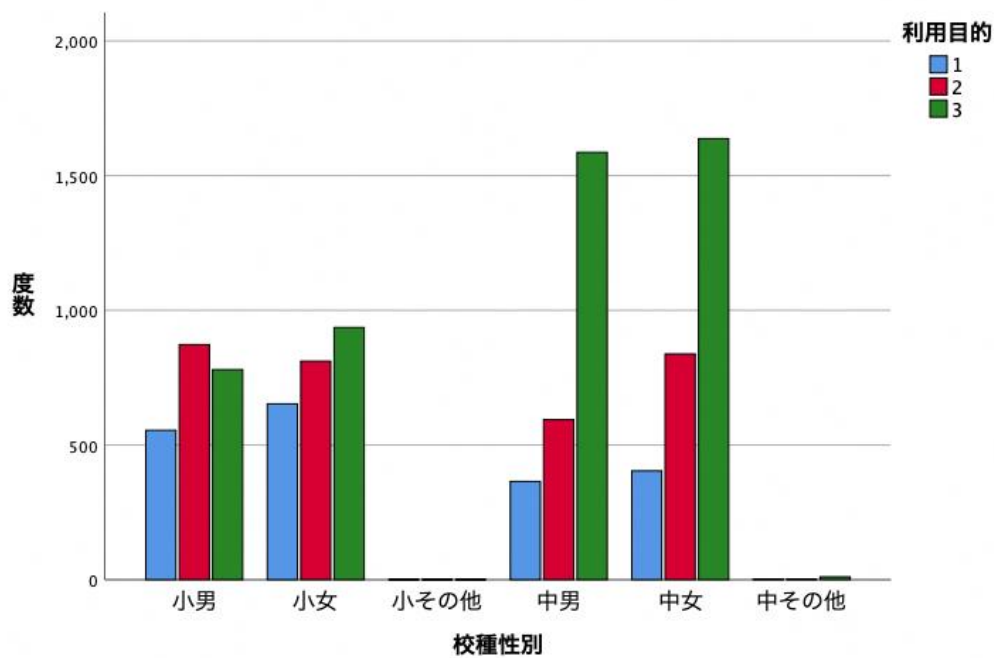
性別	1	2	3	合計
男	920	1467	2366	4753
	19.40%	30.90%	49.80%	100.00%
女	1057	1649	2573	5279
	20.00%	31.20%	48.70%	100.00%
その他	3	3	12	18
	16.70%	16.70%	66.70%	100.00%
合計	1980	3119	4951	10050
	19.70%	31.00%	49.30%	100.00%



考察 7

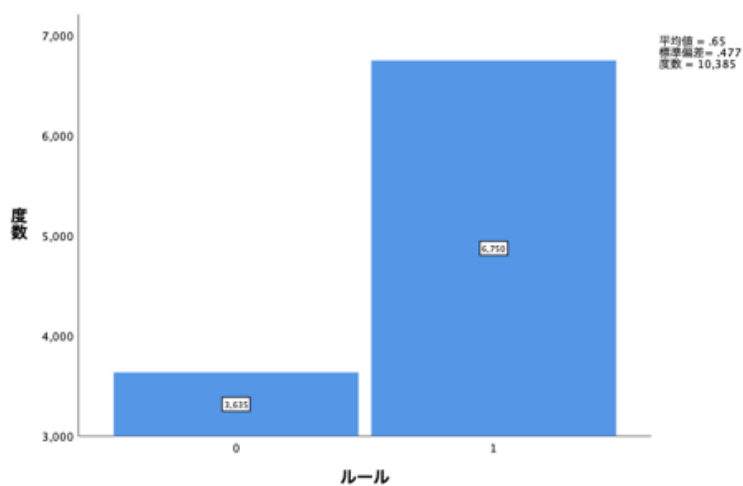
- インターネットの利用目的として、最も多いのは[YouTube等の動画視聴]であり、どの学年においても多くなっている。次いで[ゲーム]が多くなっている。[ゲーム]は学年が進むにつれ減少傾向にある。
- 学校種別にみると、最も多いのは[YouTube等の動画視聴]であるが、中学生で2番目に多いのは[SNS]となっており、小中学生間での違いが見られる。この結果が、所有している端末の種類にも影響を及ぼしていると考えられる。
- 学校種別・性別の分析結果から、小学校男子は[ゲーム]でのインターネット利用が[YouTube等の動画視聴]よりも有意に高く、中学校女子は[SNS]利用が有意に高くなっている。また、中学校男子では、[ゲーム]でのネット利用が[YouTube等の動画視聴]に匹敵する程度にまで高くなっている。
- このように、インターネットの利用目的は、児童生徒の発達段階と性別の特異性が顕著に現れているものと考えられる。

利用目的数	1	2	3	合計
小男	555 25.10%	873 39.50%	780 35.30%	2208 100.00%
小女	653 27.20%	811 33.80%	936 39.00%	2400 100.00%
小その他	1 33.30%	1 33.30%	1 33.30%	3 100.00%
中男	365 14.30%	594 23.30%	1586 62.30%	2545 100.00%
中女	404 14.00%	838 29.10%	1637 56.90%	2879 100.00%
中その他	2 13.30%	2 13.30%	11 73.30%	15 100.00%
合計	1980 19.70%	3119 31.00%	4951 49.30%	10050 100.00%

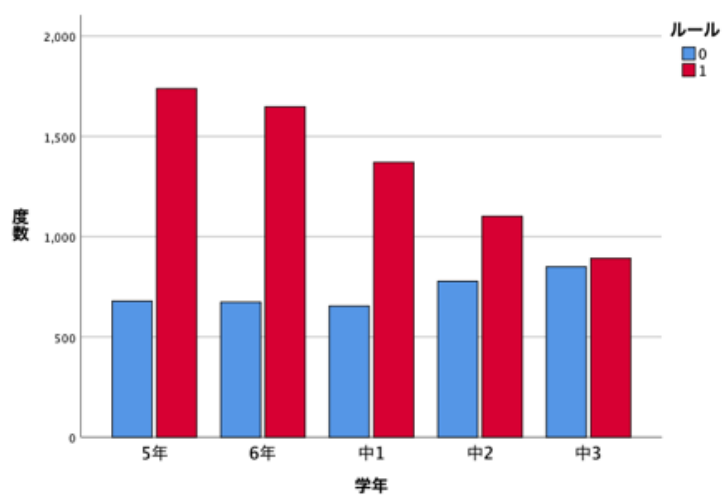


7. インターネット利用の家庭内でのルールの有無について

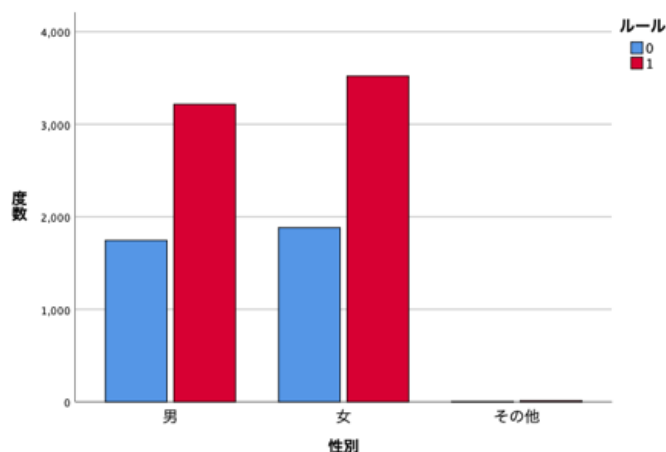
インターネット利用のルール		度数	%
0	決めていない	3635	35
1	1決めてある	6750	65
合計		10385	100



学年	0	1	合計
5年	679	1738	2417
	28.10%	71.90%	100.00%
6年	674	1648	2322
	29.00%	71.00%	100.00%
中1	654	1371	2025
	32.30%	67.70%	100.00%
中2	778	1101	1879
	41.40%	58.60%	100.00%
中3	850	892	1742
	48.80%	51.20%	100.00%
合計	3635	6750	10385
	35.00%	65.00%	100.00%



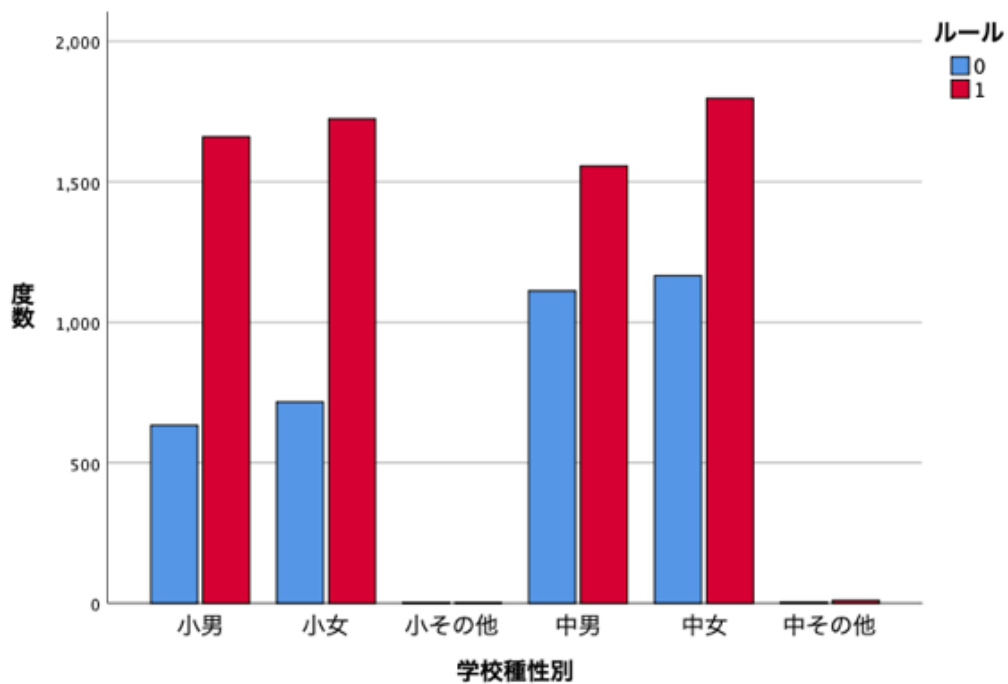
性別	0	1	合計
男	1746	3216	4962
	35.20%	64.80%	100.00%
女	1883	3521	5404
	34.80%	65.20%	100.00%
その他	6	13	19
	31.60%	68.40%	100.00%
合計	3635	6750	10385
	35.00%	65.00%	100.00%



考察 8

- インターネット利用の家庭内ルールの有無について、全体では 65 ポイントがルールを [決めている]と答えている。
- 小学生ではルールを [決めている]と回答した児童が 71 ポイントと高い値を示しているが、中学生では学年が進むにつれて低くなり、中 3 では 51.2 ポイントとなっている。
- 家庭環境等の要因をさらに追究する必要があるものの、学年が進むにつれ、児童生徒の自主性に委ねる傾向があることが窺える。
- 児童生徒が自らネット利用をマネジメント(統制・制御)することができるようにするために必要な家庭内ルールの在り方等に関する情報提供や、親教育等の機会を積極的に設ける等、保護者や児童生徒へのネット利用に関する啓発活動を積極的に展開することにより、ネットトラブルの未然防止やネット依存回避等の教育的効果が期待できる。
- なお、ルールの有無における性別による有意差は確認できなかった。すなわち、男女に関わらず、家庭内ではネット利用について一定のルール作りをしていることが窺える。

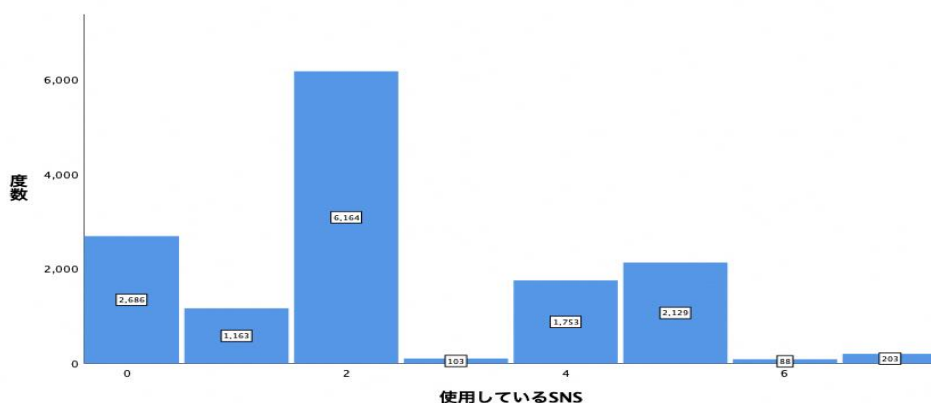
ルール	0	1	合計
小男	634	1660	2294
	27.60%	72.40%	100.00%
小女	717	1724	2441
	29.40%	70.60%	100.00%
小その他	2	2	4
	50.00%	50.00%	100.00%
中男	1112	1556	2668
	41.70%	58.30%	100.00%
中女	1166	1797	2963
	39.40%	60.60%	100.00%
中その他	4	11	15
	26.70%	73.30%	100.00%
合計	3635	6750	10385
	35.00%	65.00%	100.00%



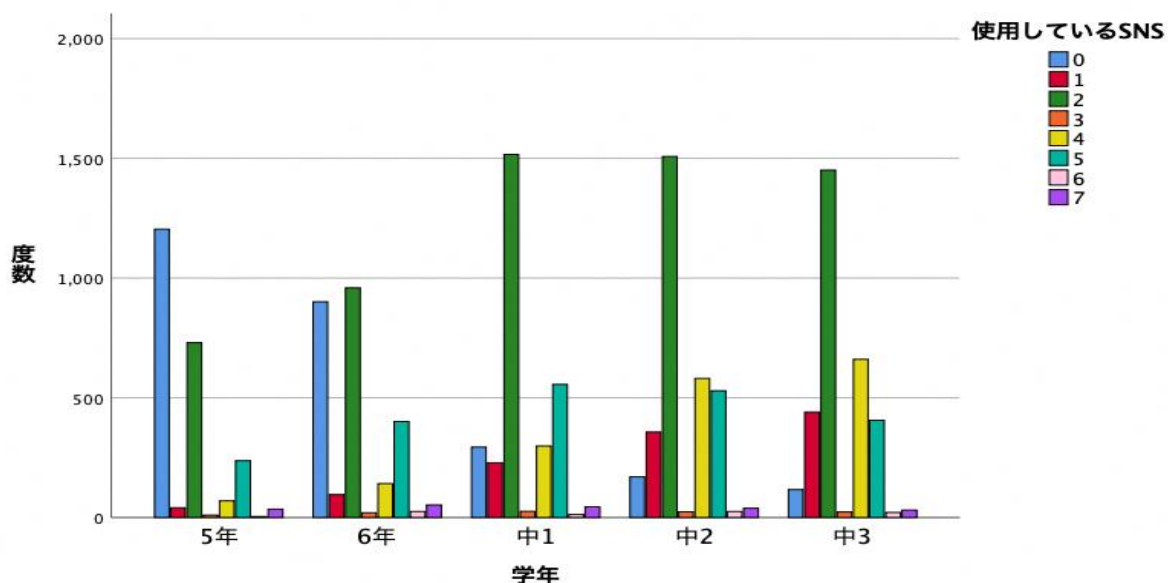
8-1. 使用している SNS について(複数回答の累計)

使用している SNS	度数	%
0. ない	2686	18.8
1. Twitter	1163	8.1
2. LINE	6164	43.1
3. Facebook	103	0.7
4. Instagram	1753	12.3
5. TikTok	2129	14.9
6. 掲示板	88	0.6
7. その他	203	1.4
合計	14289	100

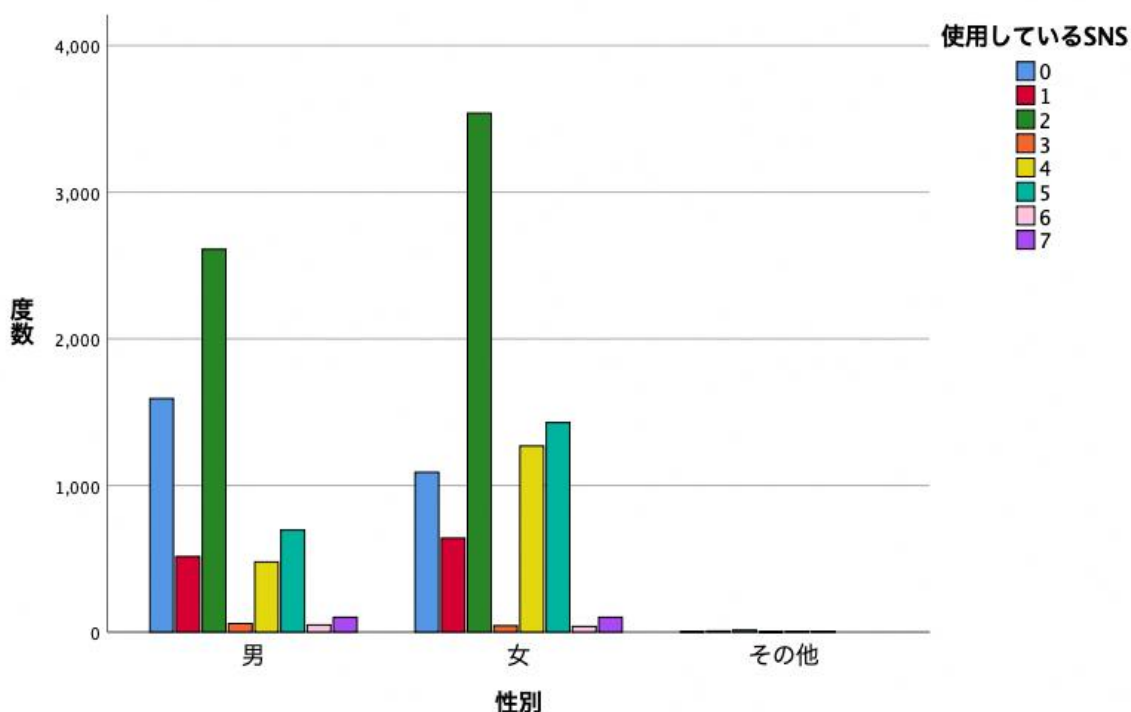
n = 9229



使用している SNS	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
5年	1204	41	730	10	70	237	4	35	2331
	51.70%	1.80%	31.30%	0.40%	3.00%	10.20%	0.20%	1.50%	100.00%
6年	901	96	959	20	142	401	25	53	2597
	34.70%	3.70%	36.90%	0.80%	5.50%	15.40%	1.00%	2.00%	100.00%
中1	294	229	1516	26	299	556	13	45	2978
	9.90%	7.70%	50.90%	0.90%	10.00%	18.70%	0.40%	1.50%	100.00%
中2	170	357	1508	24	581	529	25	39	3233
	5.30%	11.00%	46.60%	0.70%	18.00%	16.40%	0.80%	1.20%	100.00%
中3	117	440	1451	23	661	406	21	31	3150
	3.70%	14.00%	46.10%	0.70%	21.00%	12.90%	0.70%	1.00%	100.00%
合計	2686	1163	6164	103	1753	2129	88	203	14289
	18.80%	8.10%	43.10%	0.70%	12.30%	14.90%	0.60%	1.40%	100.00%



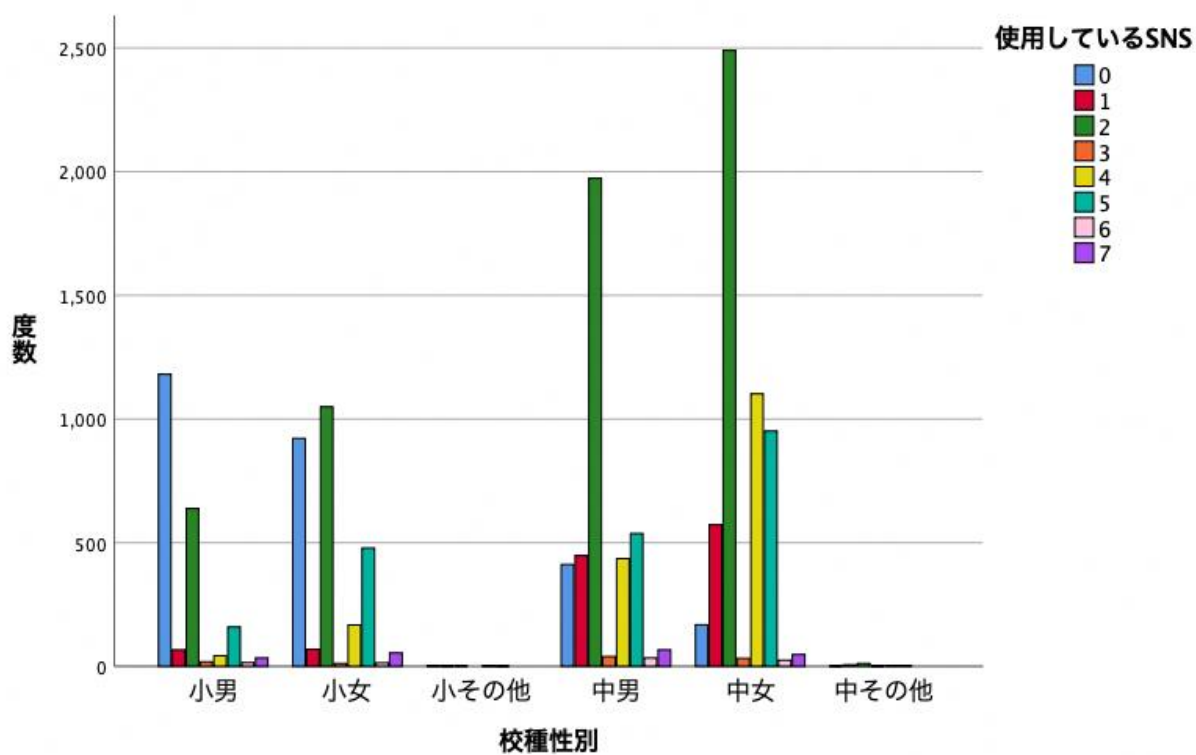
性別	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
男	1593	515	2611	58	479	696	49	101	6102
	26.10%	8.40%	42.80%	1.00%	7.80%	11.40%	0.80%	1.70%	100.00%
女	1090	641	3539	44	1269	1429	39	102	8153
	13.40%	7.90%	43.40%	0.50%	15.60%	17.50%	0.50%	1.30%	100.00%
その他	3	7	14	1	5	4	0	0	34
	8.80%	20.60%	41.20%	2.90%	14.70%	11.80%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	2686	1163	6164	103	1753	2129	88	203	14289
	18.80%	8.10%	43.10%	0.70%	12.30%	14.90%	0.60%	1.40%	100.00%



考察 9

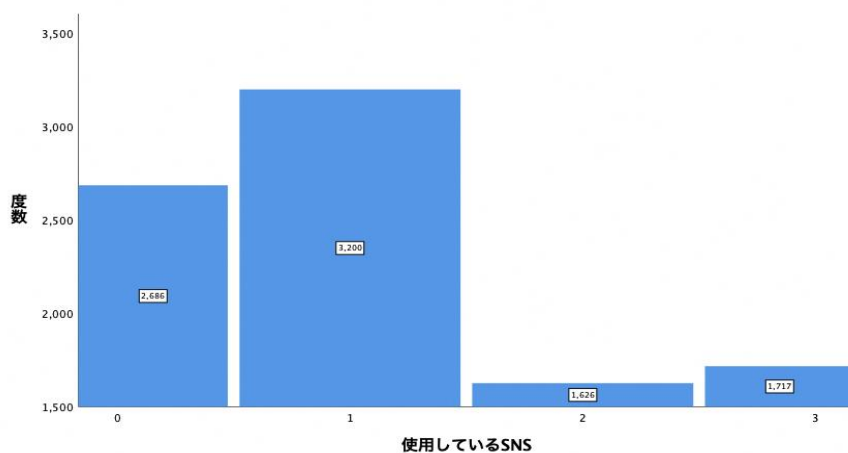
- 使用している SNS については、全体で最も多いのが[LINE](43.1 ポイント)、続いて [TikTok](14.9 ポイント)、[Instagram](12.3 ポイント)の順となっている。
- 特に、中学校における[LINE]の使用率は 46 ポイントから 50 ポイントと高い値を示している。また、小 6 においても[LINE]の使用率は 36.9 ポイントと、高い値を示している。
- 次いで使用率の高い[TikTok]は、小 6 において 15.4 ポイントを示す等、低年齢層においてもその人気ぶりが窺える。
- 小学校においては、SNS を使用していない率が有意に高くなっている。小学生が主として利用している SNS は[LINE]が中心であるが、小学校女子においては[TikTok]が突出して高い数値を示している。
- 学校種別・性別の分析から、中学校女子の[LINE][Instagram][TikTok]の使用率が有意に高くなっており、容易に外部のユーザーと繋がりやすい環境の中でインターネット利用をしていることが判明した。

使用しているSNS	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
小男	1181	67	638	18	43	159	15	34	2155
	54.80%	3.10%	29.60%	0.80%	2.00%	7.40%	0.70%	1.60%	100.00%
小女	922	69	1049	12	167	478	14	54	2765
	33.30%	2.50%	37.90%	0.40%	6.00%	17.30%	0.50%	2.00%	100.00%
小その他	2	1	2	0	2	1	0	0	8
	25.00%	12.50%	25.00%	0.00%	25.00%	12.50%	0.00%	0.00%	100.00%
中男	412	448	1973	40	436	537	34	67	3947
	10.40%	11.40%	50.00%	1.00%	11.00%	13.60%	0.90%	1.70%	100.00%
中女	168	572	2490	32	1102	951	25	48	5388
	3.10%	10.60%	46.20%	0.60%	20.50%	17.70%	0.50%	0.90%	100.00%
中その他	1	6	12	1	3	3	0	0	26
	3.80%	23.10%	46.20%	3.80%	11.50%	11.50%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	2686	1163	6164	103	1753	2129	88	203	14289
	18.80%	8.10%	43.10%	0.70%	12.30%	14.90%	0.60%	1.40%	100.00%

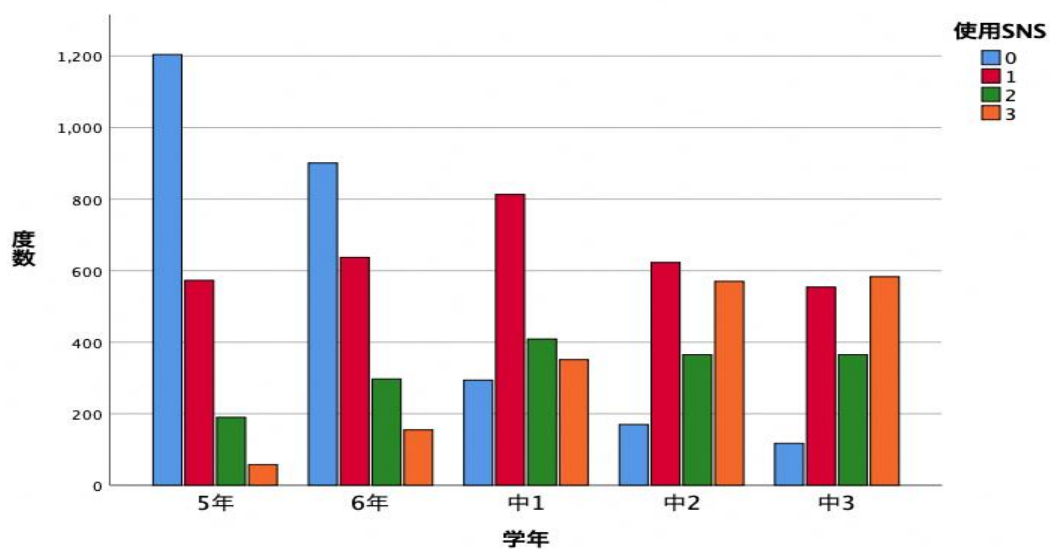


8-2. 使用している SNS の種類数について

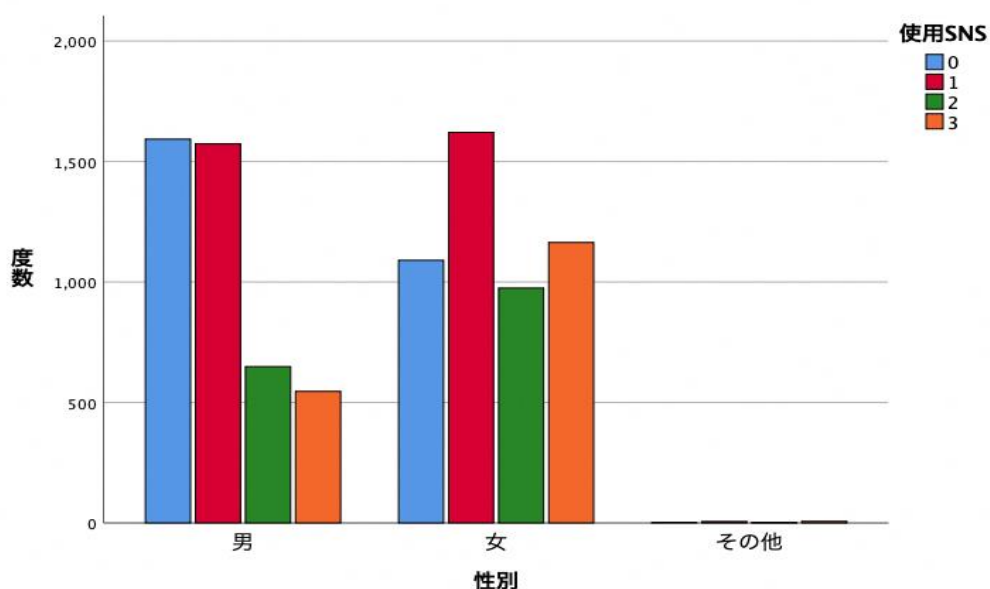
使用SNS (3つまで)	度数	%
ない	2686	29.1
1種類	3200	34.7
2種類	1626	17.6
3種類	1717	18.6
合計	9229	100



学年	0	1	2	3	合計
5年	1204	573	190	58	2025
	59.50%	28.30%	9.40%	2.90%	100.00%
6年	901	637	297	155	1990
	45.30%	32.00%	14.90%	7.80%	100.00%
中1	294	813	409	351	1867
	15.70%	43.50%	21.90%	18.80%	100.00%
中2	170	623	365	570	1728
	9.80%	36.10%	21.10%	33.00%	100.00%
中3	117	554	365	583	1619
	7.20%	34.20%	22.50%	36.00%	100.00%
合計	2686	3200	1626	1717	9229
	29.10%	34.70%	17.60%	18.60%	100.00%



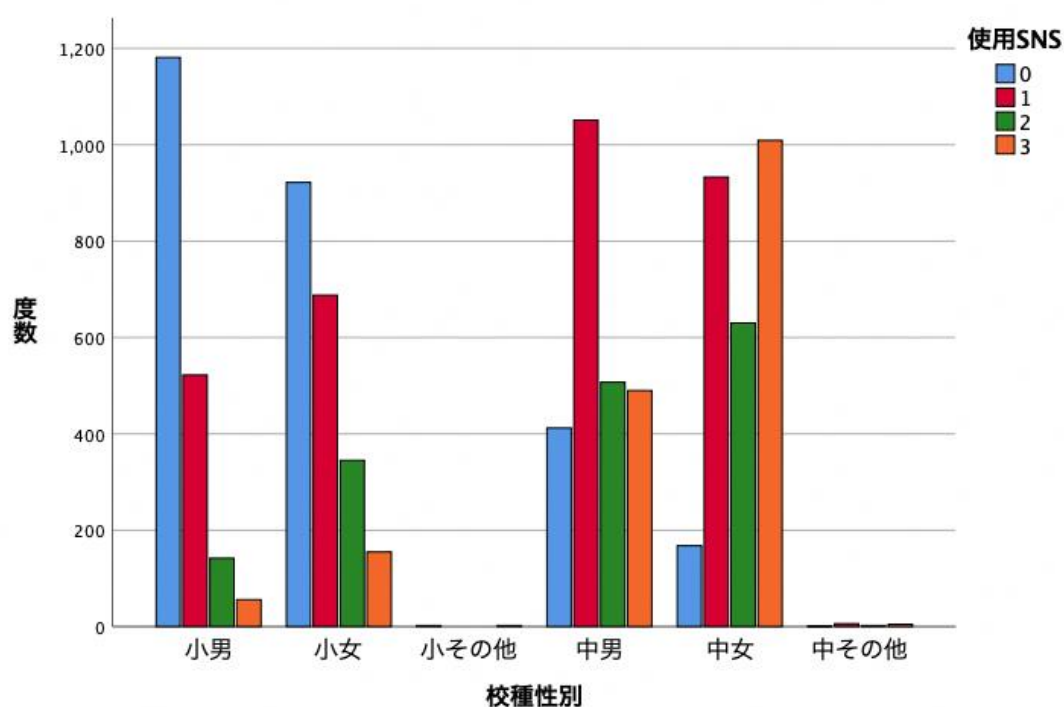
性別	0	1	2	3	合計
男	1593	1573	649	546	4361
	36.50%	36.10%	14.90%	12.50%	100.00%
女	1090	1621	975	1164	4850
	22.50%	33.40%	20.10%	24.00%	100.00%
その他	3	6	2	7	18
	16.70%	33.30%	11.10%	38.90%	100.00%
合計	2686	3200	1626	1717	9229
	29.10%	34.70%	17.60%	18.60%	100.00%



考察
10

- SNS の利用数については、小中学校間の差異と、中学校女子の SNS 利用数の多さ（多様さ）が顕著に現れている。
- 小学生においては、SNS を使用していない児童の比率が 59.5 ポイント、45.3 ポイントと高くなっているが、中学生においては、15.7 ポイントから 7.2 ポイントと有意に低くなっている。このことから、中学生においては、他者と繋がりやすい環境でインターネット利用をしていることが窺える。
- 学校種別・性別の分析結果から、中学校女子の SNS 利用数のうち、[2 種類]から[3 種類]の比率が有意に高いことが判明した。このことから、中学校女子の SNS 利用が多様化していることが分かった。すなわち、中学校女子が[LINE]や[TikTok]や[Instagram]等の複数の SNS を使いこなし、情報収集、情報共有や情報発信等を活発に行っている様子が窺える。

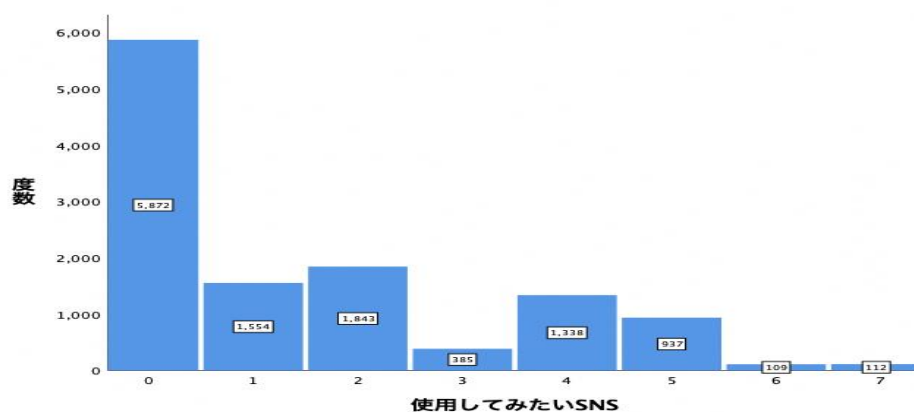
使用しているSNSの種類数	0	1	2	3	合計
小その他	2	0	0	2	4
	50.00%	0.00%	0.00%	50.00%	100.00%
小女	922	688	345	155	2110
	43.70%	32.60%	16.40%	7.30%	100.00%
小男	1181	522	142	56	1901
	62.10%	27.50%	7.50%	2.90%	100.00%
中その他	1	6	2	5	14
	7.10%	42.90%	14.30%	35.70%	100.00%
中女	168	933	630	1009	2740
	6.10%	34.10%	23.00%	36.80%	100.00%
中男	412	1051	507	490	2460
	16.70%	42.70%	20.60%	19.90%	100.00%
合計	2686	3200	1626	1717	9229
	29.10%	34.70%	17.60%	18.60%	100.00%



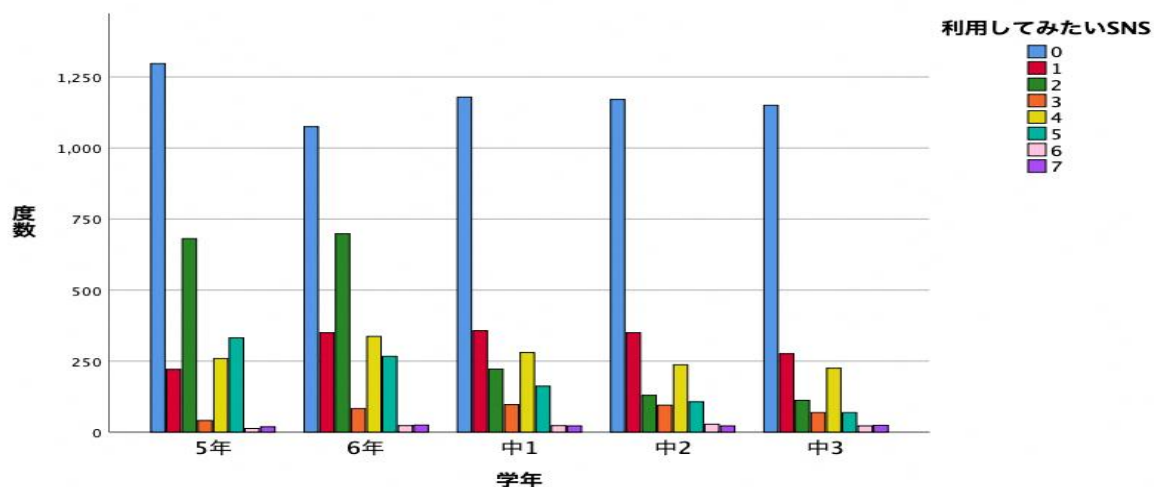
9-1. 今後利用してみたいSNSについて(複数回答の累計)

利用してみたいSNS	度数	%
0. ない	5872	48.3
1. Twitter	1554	12.8
2. LINE	1843	15.2
3. Facebook	385	3.2
4. Instagram	1338	11
5. TikTok	937	7.7
6. 掲示板	109	0.9
7. その他	112	0.9
合計	12150	100

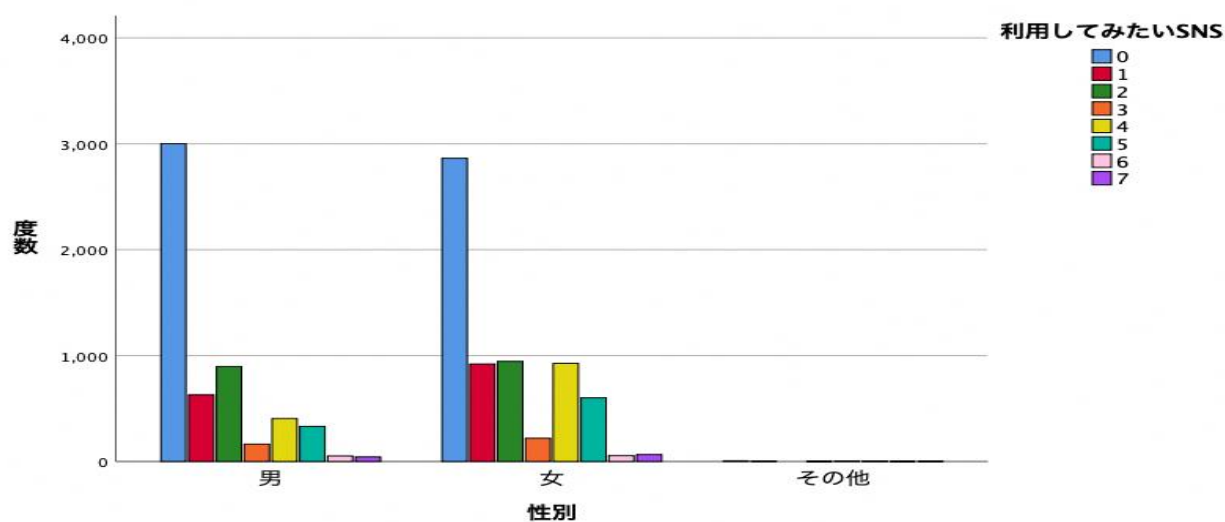
n=10076



学年	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
5年	1297	221	681	41	259	332	13	19	2863
	45.30%	7.70%	23.80%	1.40%	9.00%	11.60%	0.50%	0.70%	100.00%
6年	1075	350	698	83	337	267	23	25	2858
	37.60%	12.20%	24.40%	2.90%	11.80%	9.30%	0.80%	0.90%	100.00%
中1	1179	357	222	97	280	162	23	22	2342
	50.30%	15.20%	9.50%	4.10%	12.00%	6.90%	1.00%	0.90%	100.00%
中2	1171	350	130	95	237	107	28	22	2140
	54.70%	16.40%	6.10%	4.40%	11.10%	5.00%	1.30%	1.00%	100.00%
中3	1150	276	112	69	225	69	22	24	1947
	59.10%	14.20%	5.80%	3.50%	11.60%	3.50%	1.10%	1.20%	100.00%
合計	5872	1554	1843	385	1338	937	109	112	12150
	48.30%	12.80%	15.20%	3.20%	11.00%	7.70%	0.90%	0.90%	100.00%



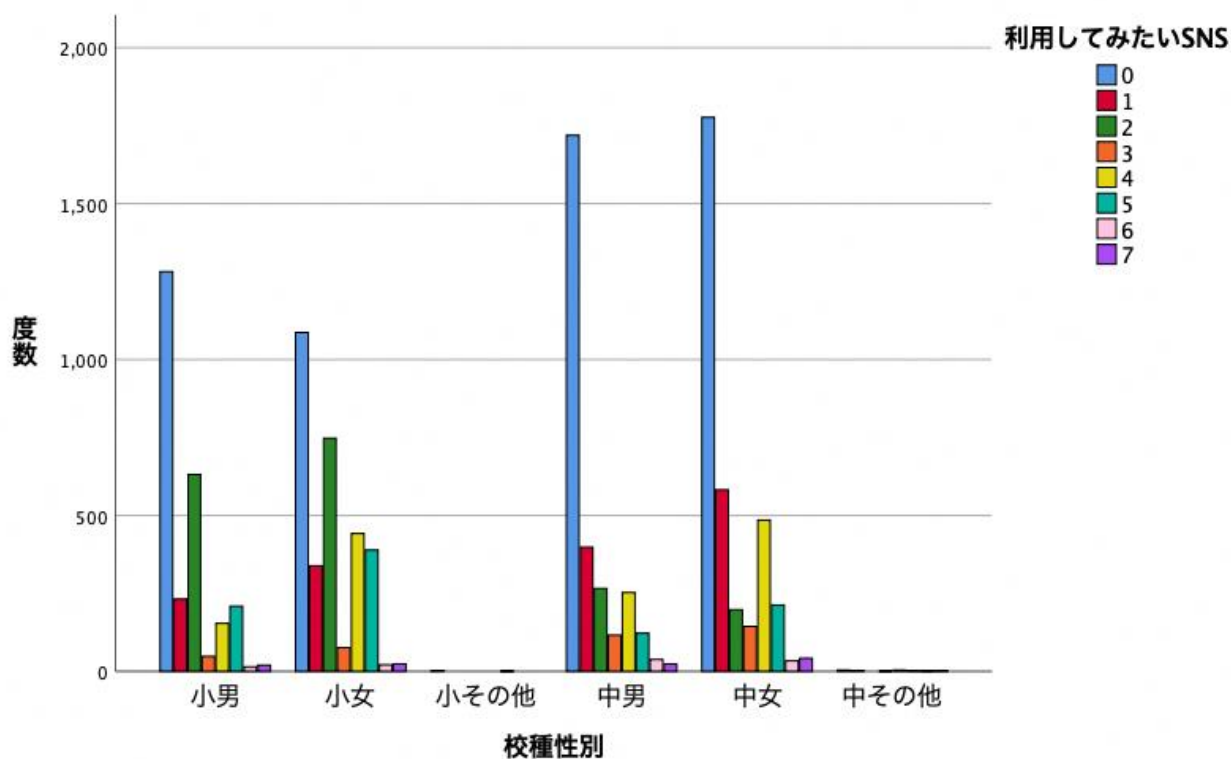
性別	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
男	3001	630	897	164	407	332	53	44	5528
	54.30%	11.40%	16.20%	3.00%	7.40%	6.00%	1.00%	0.80%	100.00%
女	2864	921	946	220	927	602	55	66	6601
	43.40%	14.00%	14.30%	3.30%	14.00%	9.10%	0.80%	1.00%	100.00%
その他	7	3	0	1	4	3	1	2	21
	33.30%	14.30%	0.00%	4.80%	19.00%	14.30%	4.80%	9.50%	100.00%
合計	5872	1554	1843	385	1338	937	109	112	12150
	48.30%	12.80%	15.20%	3.20%	11.00%	7.70%	0.90%	0.90%	100.00%



考察
11

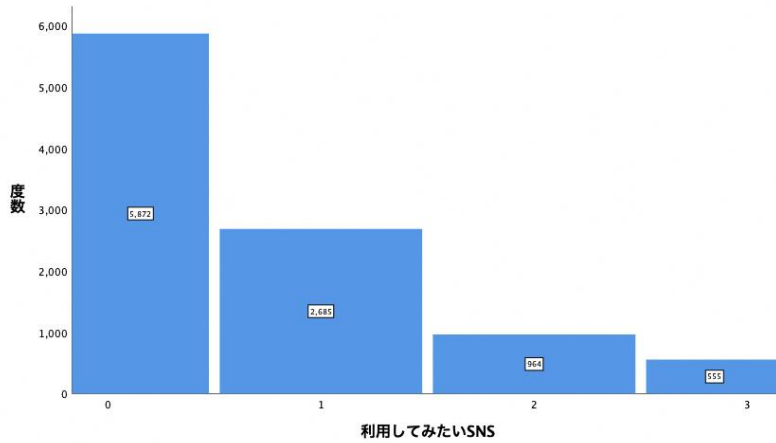
- 今後使用してみたい SNS については、新しい SNS が出現しない限り、現在使用している SNS で充足されている様子が窺える。特に、中学生段階では、50.3 ポイントから 59.1 ポイントまでの回答者が別の SNS に対する興味を示していないなど、その傾向が明確に現れている。
- 一方、小学生は[LINE][Twitter][Instagram]に対する関心が高くなっていることが分かった。まだ使ったことのない SNS に対する好奇心が示されているものと考えられる。
- 特に、小学生が[LINE]に対し 24 ポイント程度の高い関心を示し、他の SNS の 2 倍以上となっていることが判明した。
- 中学生は[Twitter]に対し 14.2 ポイントから 16.4 ポイントと高い関心を示していることが判明した。
- 学校種別・性別に分析すると、小学校女子が、[Twitter][LINE][Instagram][TikTok]に対する関心が 10 ポイント以上と高く、複数の SNS に対し興味を示していることが判明した。
- 小学校女子と中学校女子が[Instagram]に対し他の SNS よりも有意に高い興味を示していることが明らかとなった。「インスタ映え」に象徴される傾向が、女子に顕著に現れていると判断することができる。

利用してみたいSNS	0	1	2	3	4	5	6	7	合計
小男	1282	232	631	48	154	209	15	20	2591
	49.50%	9.00%	24.40%	1.90%	5.90%	8.10%	0.60%	0.80%	100.00%
小女	1087	339	748	76	442	389	21	24	3126
	34.80%	10.80%	23.90%	2.40%	14.10%	12.40%	0.70%	0.80%	100.00%
小その他	3	0	0	0	0	1	0	0	4
	75.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	0.00%	0.00%	100.00%
中男	1719	398	266	116	253	123	38	24	2937
	58.50%	13.60%	9.10%	3.90%	8.60%	4.20%	1.30%	0.80%	100.00%
中女	1777	582	198	144	485	213	34	42	3475
	51.10%	16.70%	5.70%	4.10%	14.00%	6.10%	1.00%	1.20%	100.00%
中その他	4	3	0	1	4	2	1	2	17
	23.50%	17.60%	0.00%	5.90%	23.50%	11.80%	5.90%	11.80%	100.00%
合計	5872	1554	1843	385	1338	937	109	112	12150
	48.30%	12.80%	15.20%	3.20%	11.00%	7.70%	0.90%	0.90%	100.00%

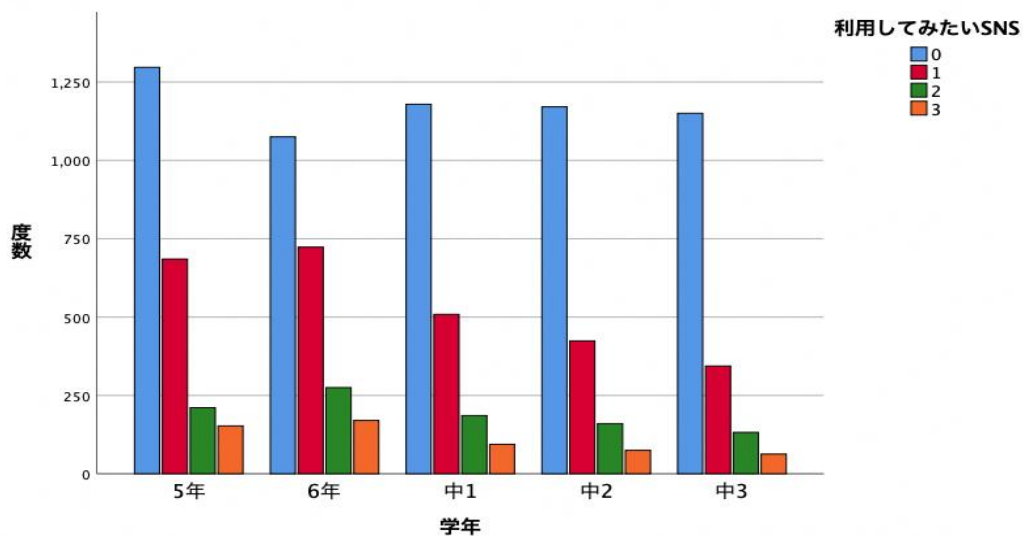


9-2. 今後利用してみたい SNS の種類数について

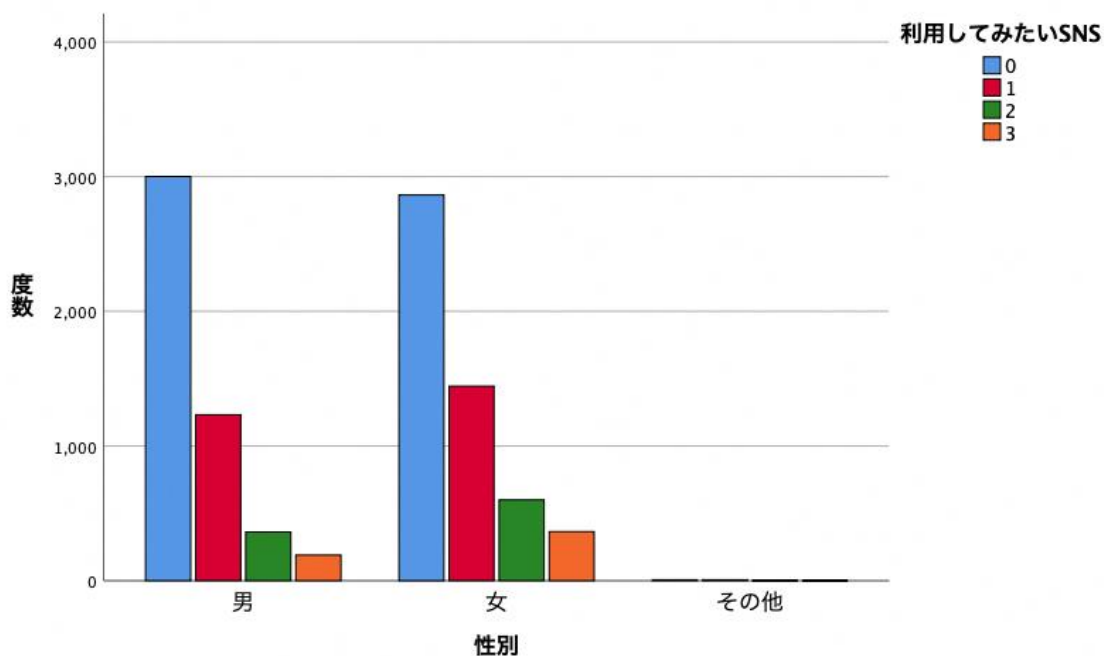
利用してみたい SNS (3つまで)	度数	%
0. ない	5872	58.3
1種類	2685	26.6
2種類	964	9.6
3種類	555	5.5
合計	10076	100



学年	0	1	2	3	合計
5年	1297	685	211	153	2346
	55.30%	29.20%	9.00%	6.50%	100.00%
6年	1075	723	275	170	2243
	47.90%	32.20%	12.30%	7.60%	100.00%
中1	1179	509	186	94	1968
	59.90%	25.90%	9.50%	4.80%	100.00%
中2	1171	424	160	75	1830
	64.00%	23.20%	8.70%	4.10%	100.00%
中3	1150	344	132	63	1689
	68.10%	20.40%	7.80%	3.70%	100.00%
合計	5872	2685	964	555	10076
	58.30%	26.60%	9.60%	5.50%	100.00%



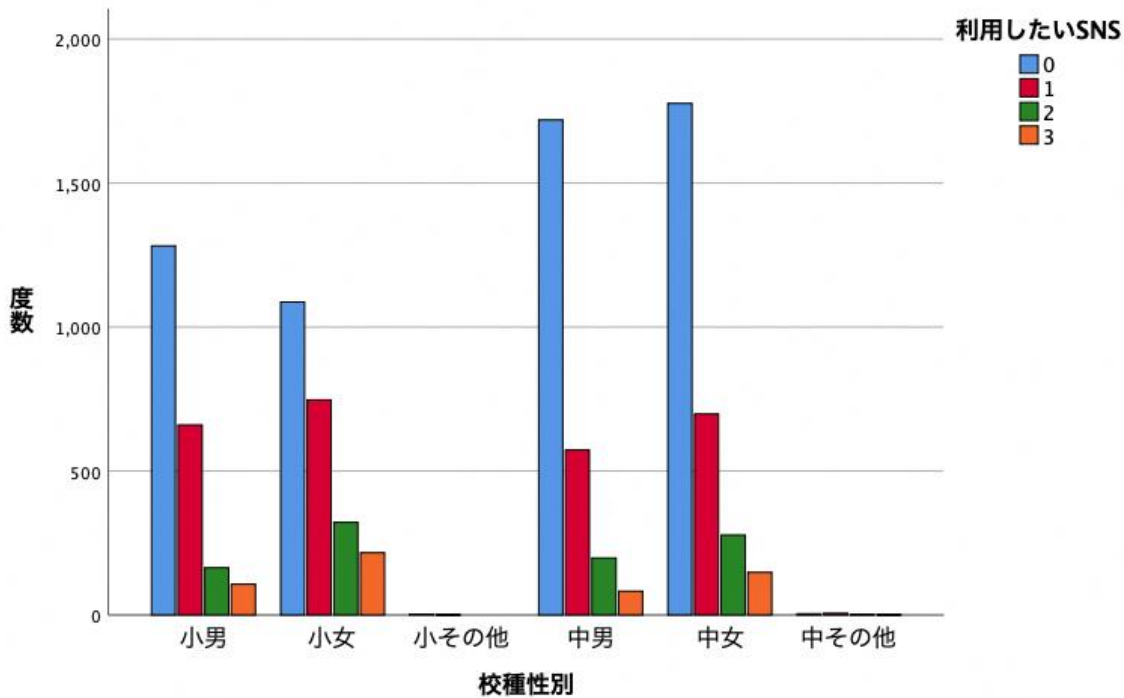
性別	0	1	2	3	合計
男	3001	1233	362	190	4786
	62.70%	25.80%	7.60%	4.00%	100.00%
女	2864	1445	600	364	5273
	54.30%	27.40%	11.40%	6.90%	100.00%
その他	7	7	2	1	17
	41.20%	41.20%	11.80%	5.90%	100.00%
合計	5872	2685	964	555	10076
	58.30%	26.60%	9.60%	5.50%	100.00%



考察
12

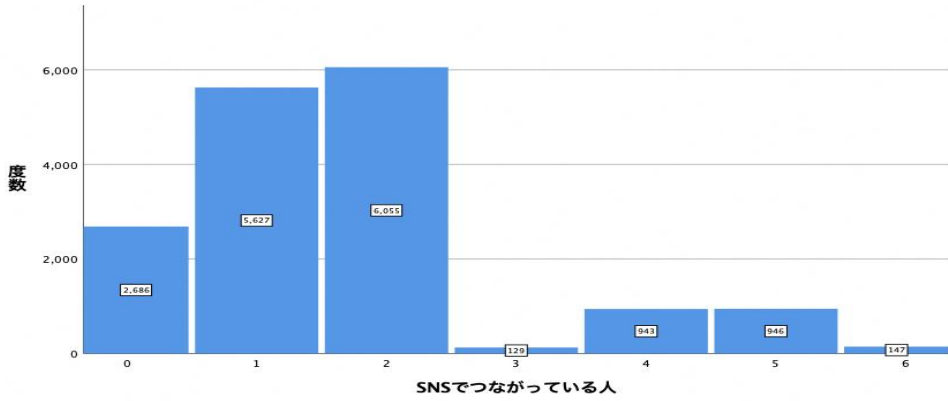
- 今後使用してみたい SNS の種類数は、[1 種類]から[2 種類]で 36.2 ポイントを占めている。
- 新たな SNS を利用することについて関心を示していない回答者の比率は 58.3 ポイントと、過半数を占めており、現在使用している SNS で一定レベル充足されている様子が窺える。
- 学校・種別・性別の分析では、小学生が複数の SNS に対する関心を示す比率が高くなっている。特に、小学校女子にその傾向が現れている。

利用してみたいSNSの種類数	0	1	2	3	合計
小男	1282	660	164	107	2213
	57.90%	29.80%	7.40%	4.80%	100.00%
小女	1087	747	322	216	2372
	45.80%	31.50%	13.60%	9.10%	100.00%
小その他	3	1	0	0	4
	75.00%	25.00%	0.00%	0.00%	100.00%
中男	1719	573	198	83	2573
	66.80%	22.30%	7.70%	3.20%	100.00%
中女	1777	698	278	148	2901
	61.30%	24.10%	9.60%	5.10%	100.00%
中その他	4	6	2	1	13
	30.80%	46.20%	15.40%	7.70%	100.00%
合計	5872	2685	964	555	10076
	58.30%	26.60%	9.60%	5.50%	100.00%

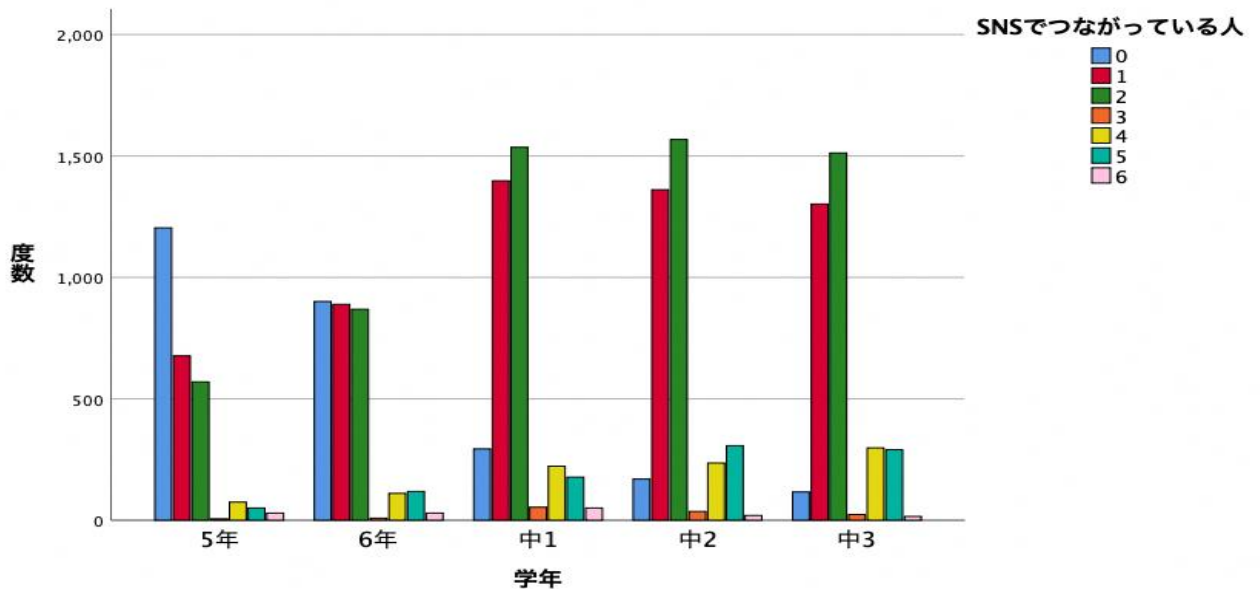


10-1. SNS でつながっている人について(複数回答の累計)

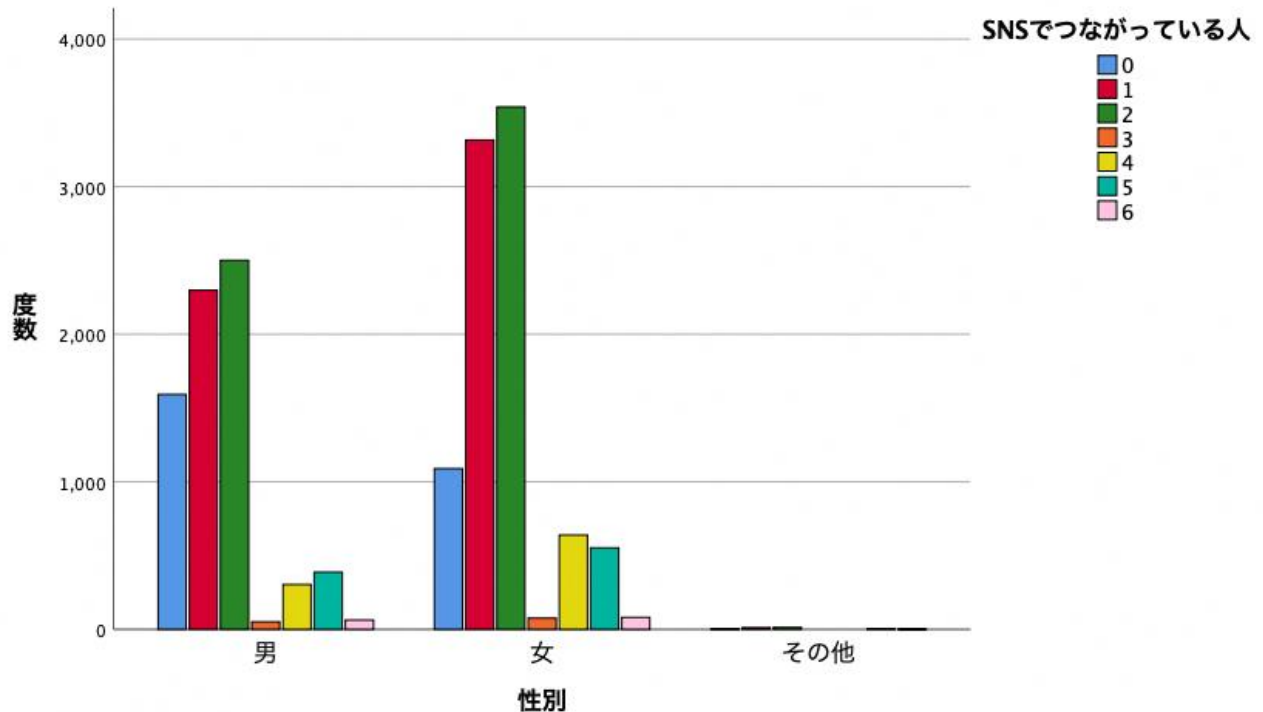
SNSでつながっている人	度数	%	
0. SNSは使っていない	2686	16.2	
1. 家族	5627	34	
2. 友だち	6055	36.6	
3. 学校の先生	129	0.8	
4. 習い事などの先生	943	5.7	
5. インターネットで知り合った人	946	5.7	
6. その他	147	0.9	
合計	16533	100	n=9435



SNSでつながっている人	0	1	2	3	4	5	6	合計
5年	1204	677	570	6	75	51	30	2613
	46.10%	25.90%	21.80%	0.20%	2.90%	2.00%	1.10%	100.00%
6年	901	889	869	9	111	119	30	2928
	30.80%	30.40%	29.70%	0.30%	3.80%	4.10%	1.00%	100.00%
中1	294	1398	1536	54	223	178	51	3734
	7.90%	37.40%	41.10%	1.40%	6.00%	4.80%	1.40%	100.00%
中2	170	1361	1568	36	236	307	20	3698
	4.60%	36.80%	42.40%	1.00%	6.40%	8.30%	0.50%	100.00%
中3	117	1302	1512	24	298	291	16	3560
	3.30%	36.60%	42.50%	0.70%	8.40%	8.20%	0.40%	100.00%
合計	2686	5627	6055	129	943	946	147	16533
	16.20%	34.00%	36.60%	0.80%	5.70%	5.70%	0.90%	100.00%



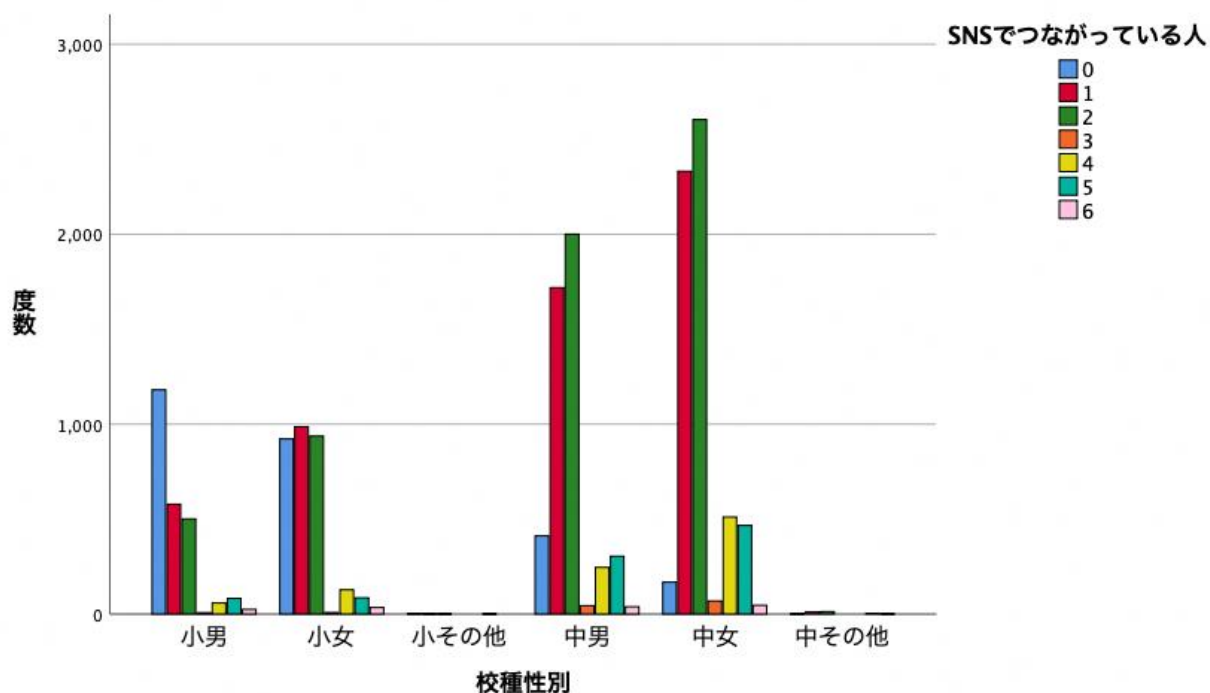
SNSでつながっている人	0	1	2	3	4	5	6	合計
男	1593	2298	2501	52	304	388	64	7200
	22.10%	31.90%	34.70%	0.70%	4.20%	5.40%	0.90%	100.00%
女	1090	3317	3540	77	639	553	82	9298
	11.70%	35.70%	38.10%	0.80%	6.90%	5.90%	0.90%	100.00%
その他	3	12	14	0	0	5	1	35
	8.60%	34.30%	40.00%	0.00%	0.00%	14.30%	2.90%	100.00%
合計	2686	5627	6055	129	943	946	147	16533
	16.20%	34.00%	36.60%	0.80%	5.70%	5.70%	0.90%	100.00%



考察
13

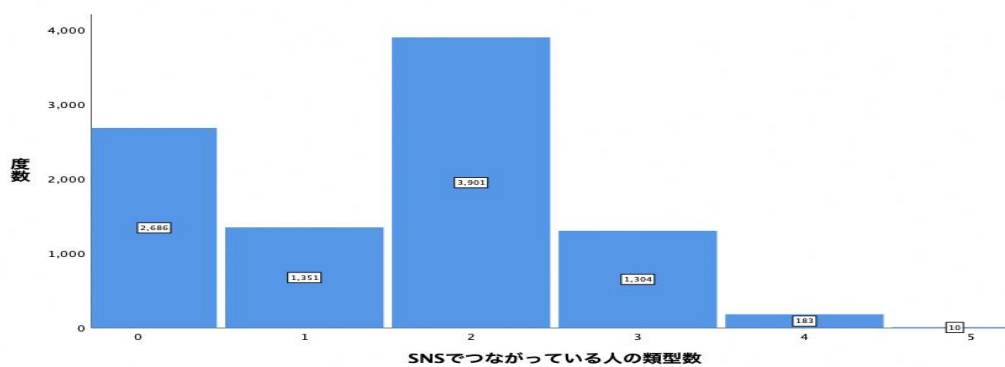
- SNS でつながっている人については、[友だち]と[家族]で 70.6 ポイントを占めている。
- 次に、[習い事の先生]や[インターネットで知り合った人]で、11.4 ポイントとなっている。
- また、学校の先生とつながっている児童生徒の比率は 0.8 ポイントとなっている。
- 学校種別・性別に分析をすると、中学校女子において[習い事の先生]や[インターネットで知り合った人]とつながっている比率が有意に高くなっていることが分かった。
- 小学校男子、中学校男子で[インターネットで知り合った人]とつながっている比率が一定レベルの高さを示しているが、男子のインターネット利用目的でゲームの比率が高いことから、オンラインゲーム等で知り合った人との繋がりが回答として現れているものと推察される。
- 小学校の性別比較から、小学校女子は、男子よりも活発に SNS を通じて人とつながっていることが判明した。

SNSでつながっている人	0	1	2	3	4	5	6	合計
小男	1181	579	501	7	58	83	25	2434
	48.50%	23.80%	20.60%	0.30%	2.40%	3.40%	1.00%	100.00%
小女	922	986	937	8	128	86	35	3102
	29.70%	31.80%	30.20%	0.30%	4.10%	2.80%	1.10%	100.00%
小その他	2	1	1	0	0	1	0	5
	40.00%	20.00%	20.00%	0.00%	0.00%	20.00%	0.00%	100.00%
中男	412	1719	2000	45	246	305	39	4766
	8.60%	36.10%	42.00%	0.90%	5.20%	6.40%	0.80%	100.00%
中女	168	2331	2603	69	511	467	47	6196
	2.70%	37.60%	42.00%	1.10%	8.20%	7.50%	0.80%	100.00%
中その他	1	11	13	0	0	4	1	30
	3.30%	36.70%	43.30%	0.00%	0.00%	13.30%	3.30%	100.00%
合計	2686	5627	6055	129	943	946	147	16533
	16.20%	34.00%	36.60%	0.80%	5.70%	5.70%	0.90%	100.00%

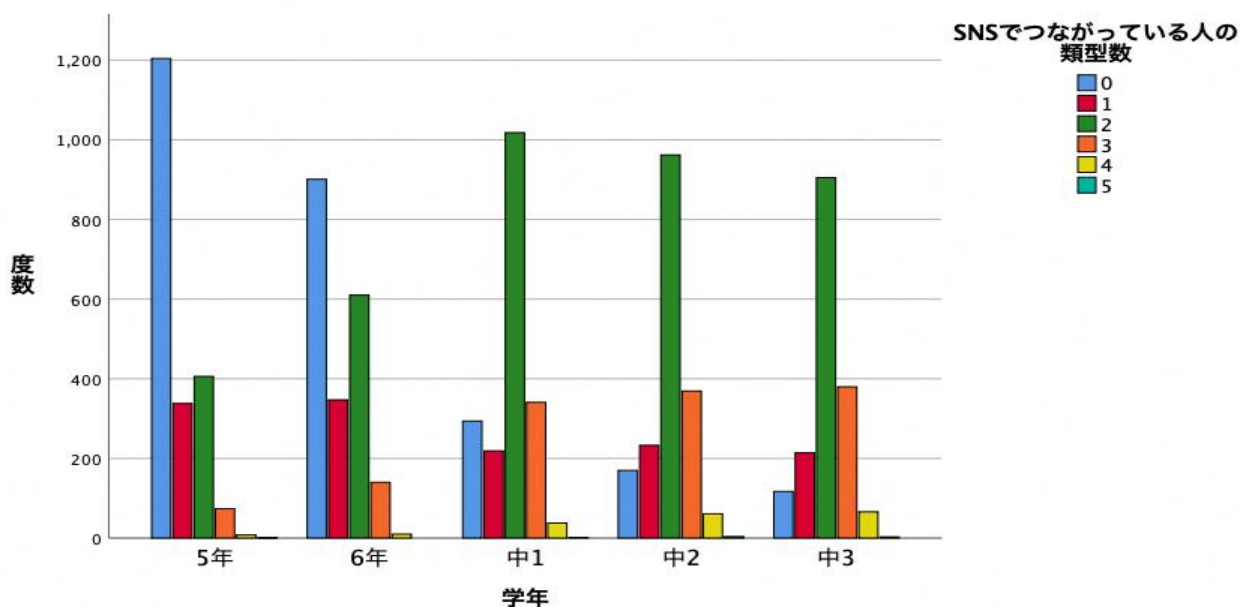


10-2. SNS でつながっている人の類型数について

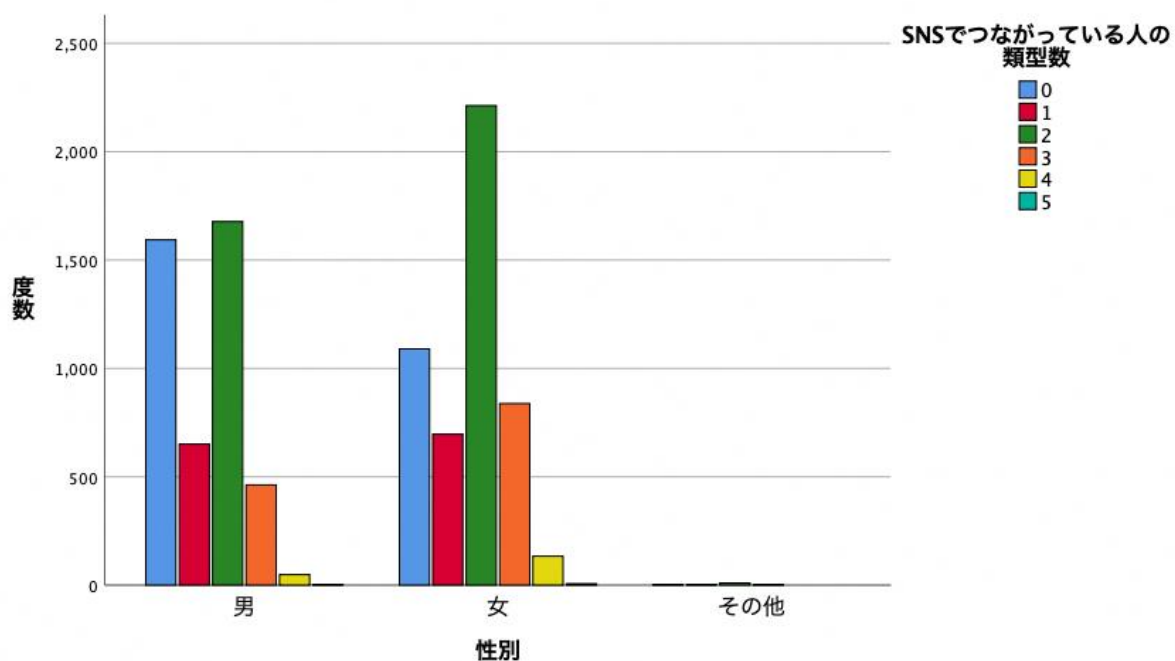
SNSでつながっている人（類型数）	度数	%
0. SNSは使っていない	2686	28.5
1	1351	14.3
2	3901	41.3
3	1304	13.8
4	183	1.9
5	10	0.1
合計	9435	100



学年	0	1	2	3	4	5	合計
5年	1204	338	406	74	8	1	2031
	59.30%	16.60%	20.00%	3.60%	0.40%	0.00%	100.00%
6年	901	347	610	140	10	0	2008
	44.90%	17.30%	30.40%	7.00%	0.50%	0.00%	100.00%
中1	294	219	1018	341	38	2	1912
	15.40%	11.50%	53.20%	17.80%	2.00%	0.10%	100.00%
中2	170	233	962	369	61	4	1799
	9.40%	13.00%	53.50%	20.50%	3.40%	0.20%	100.00%
中3	117	214	905	380	66	3	1685
	6.90%	12.70%	53.70%	22.60%	3.90%	0.20%	100.00%
合計	2686	1351	3901	1304	183	10	9435
	28.50%	14.30%	41.30%	13.80%	1.90%	0.10%	100.00%



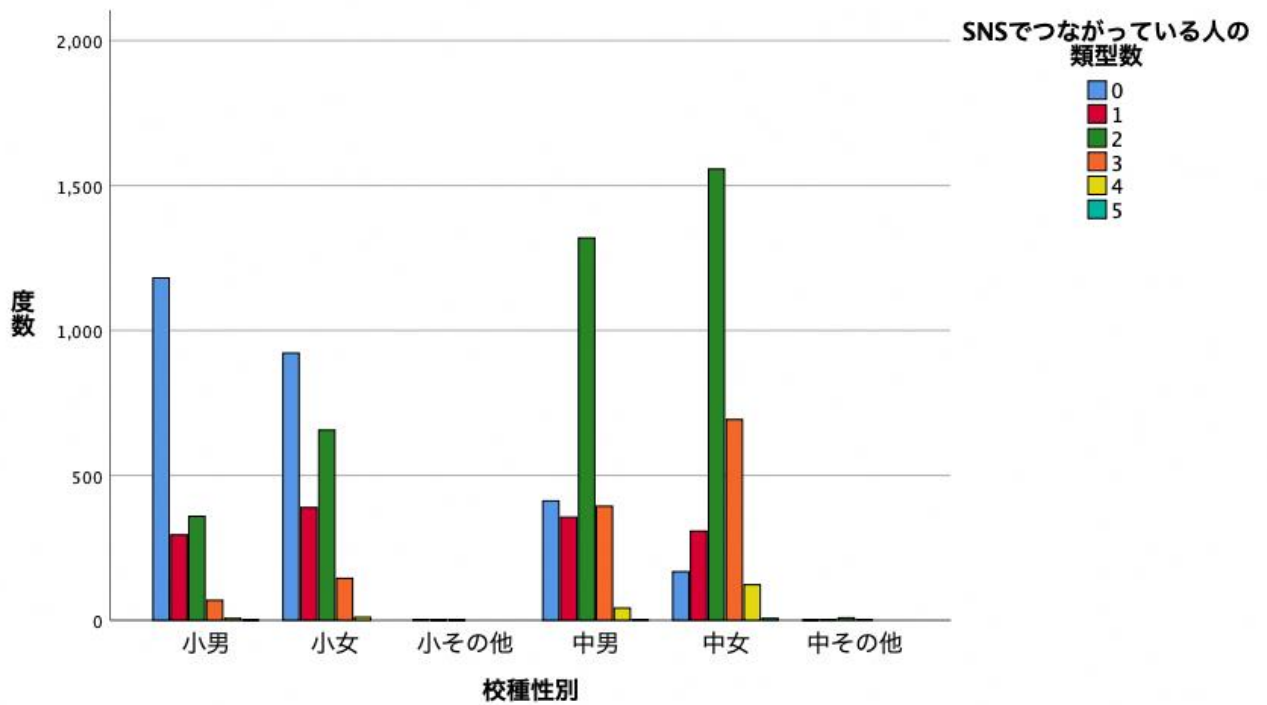
性別	0	1	2	3	4	5	合計
男	1593	651	1678	463	49	3	4437
	35.90%	14.70%	37.80%	10.40%	1.10%	0.10%	100.00%
女	1090	697	2213	838	134	7	4979
	21.90%	14.00%	44.40%	16.80%	2.70%	0.10%	100.00%
その他	3	3	10	3	0	0	19
	15.80%	15.80%	52.60%	15.80%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	2686	1351	3901	1304	183	10	9435
	28.50%	14.30%	41.30%	13.80%	1.90%	0.10%	100.00%



考察
14

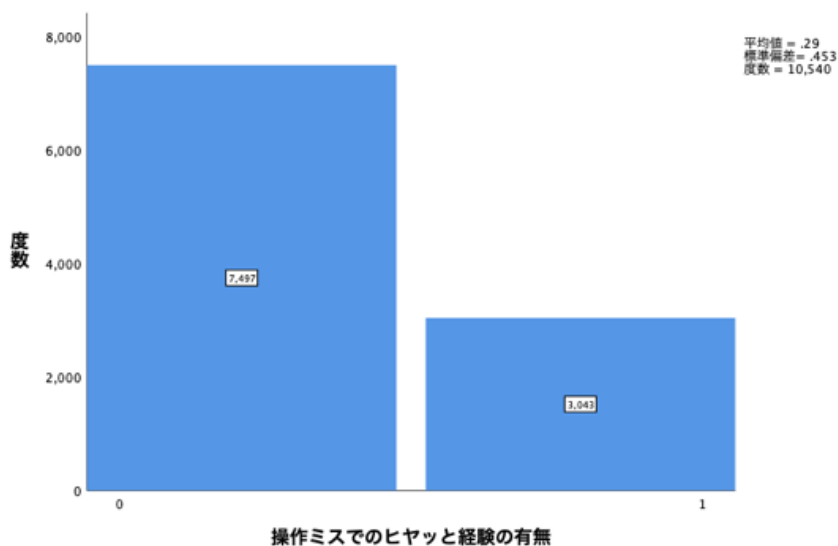
- SNS でつながっている人の類型数(種類)は、学年が上がるにつれ多様化、遠距離化(家族、友人から見ず知らずの他人へ)していることが判明した。
- SNS でつながっている人の類型数(種類)は、男子よりも女子の方が有意に多くなっていることが確認できた。特に中学校女子にはその傾向が顕著に表れていることが判明した。

SNSでつながっている人（類型数）	0	1	2	3	4	5	合計
小男	1181	295	359	69	7	1	1912
	61.80%	15.40%	18.80%	3.60%	0.40%	0.10%	100.00%
小女	922	389	656	145	11	0	2123
	43.40%	18.30%	30.90%	6.80%	0.50%	0.00%	100.00%
小その他	2	1	1	0	0	0	4
	50.00%	25.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
中男	412	356	1319	394	42	2	2525
	16.30%	14.10%	52.20%	15.60%	1.70%	0.10%	100.00%
中女	168	308	1557	693	123	7	2856
	5.90%	10.80%	54.50%	24.30%	4.30%	0.20%	100.00%
中その他	1	2	9	3	0	0	15
	6.70%	13.30%	60.00%	20.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	2686	1351	3901	1304	183	10	9435
	28.50%	14.30%	41.30%	13.80%	1.90%	0.10%	100.00%

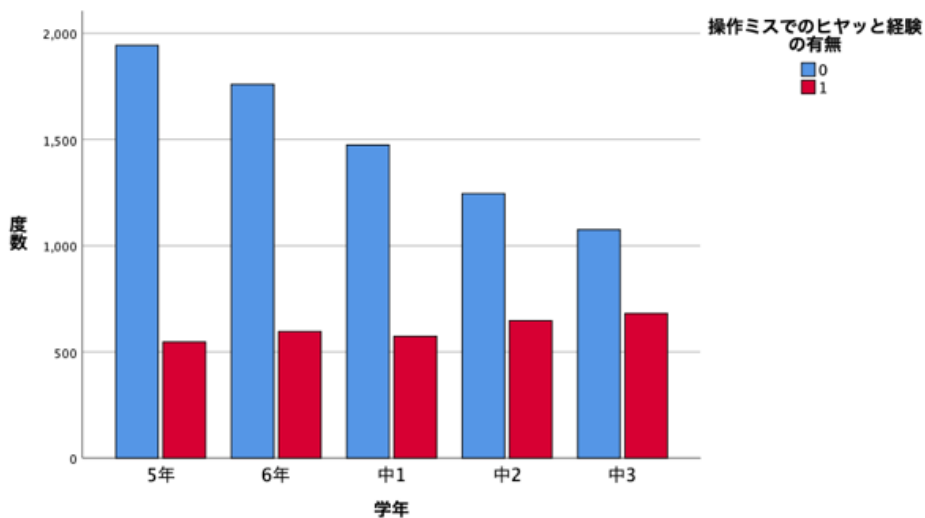


11. インターネット使用時の操作ミスによるヒヤットと経験の有無について

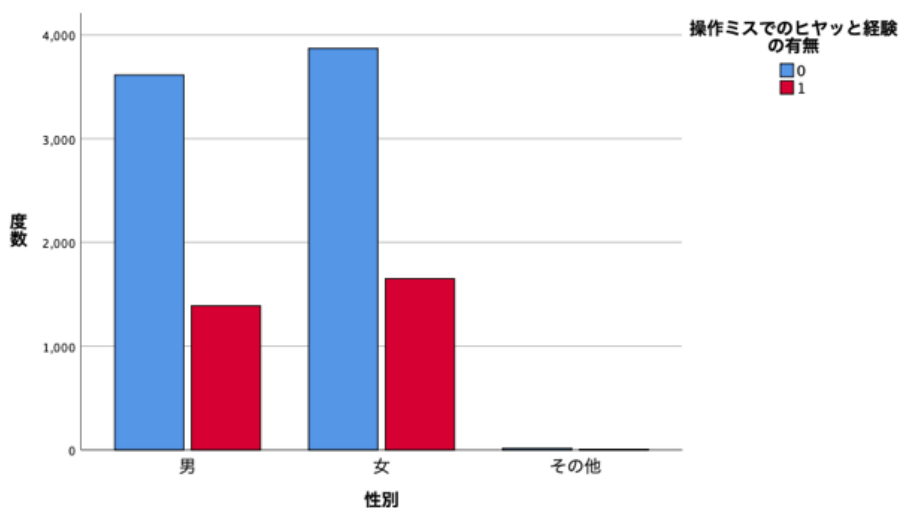
操作ミスでのヒヤットと経験の有無		度数	%
0	ない	7497	71.1
1	ある	3043	28.9
合計		10540	100



学年	0	1	合計
5年	1943	546	2489
	78.10%	21.90%	100.00%
6年	1760	596	2356
	74.70%	25.30%	100.00%
中1	1474	573	2047
	72.00%	28.00%	100.00%
中2	1245	647	1892
	65.80%	34.20%	100.00%
中3	1075	681	1756
	61.20%	38.80%	100.00%
合計	7497	3043	10540
	71.10%	28.90%	100.00%



性別	0	1	合計
男	3614	1388	5002
	72.30%	27.70%	100.00%
女	3869	1650	5519
	70.10%	29.90%	100.00%
その他	14	5	19
	73.70%	26.30%	100.00%
合計	7497	3043	10540
	71.10%	28.90%	100.00%

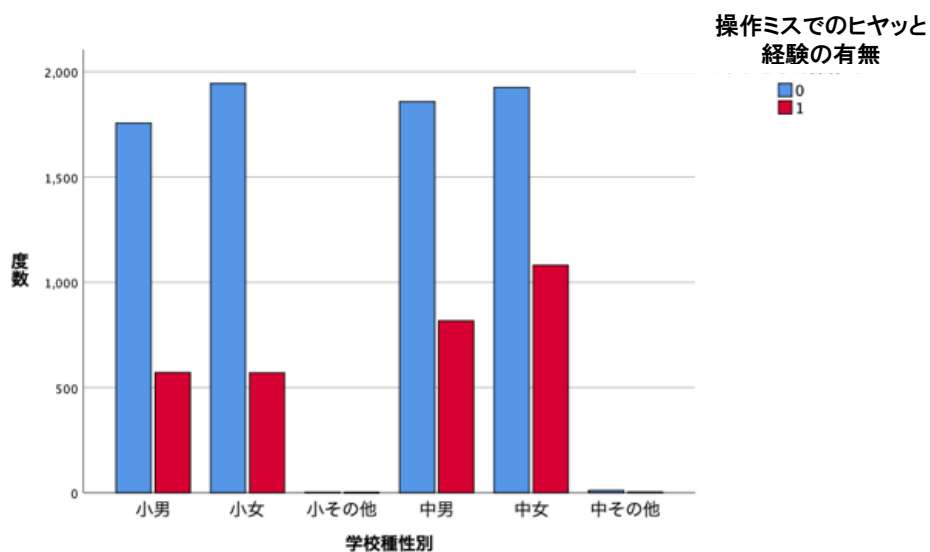


考察

15

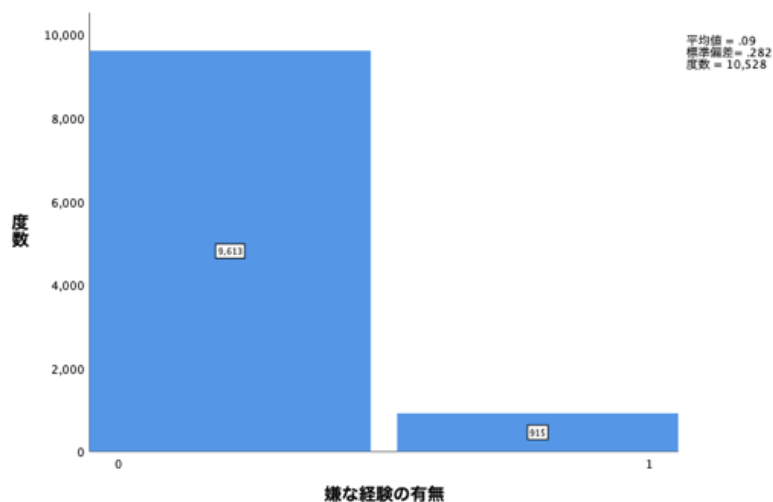
- 操作ミスでのヒヤットと経験は、全体の 28.9 ポイントと約三分の一が経験していることが判明した。
- 操作ミスを未然に防ぐためのリテラシー教育や情報セキュリティ教育等の在り方を検証する必要が認められる。
- 操作ミスによるヒヤットと経験は、学年が上がるにつれ経験の比率が有意に高まっていることが確認できた。
- 操作ミスによるヒヤットと経験の性別における有意差は確認できなかった。すなわち、性別におけるヒヤットと経験値には相違がないと判断される。
- 学校種別・性別分析によると、中学校女子のみが他と比較して操作ミスによるヒヤットと経験の値が高い傾向が窺えた。
- このことから、小学校段階から情報リテラシーや情報セキュリティに関する知識やスキル、意識等が発達段階や学習段階に応じて一定レベル育成されていることが窺える。

操作ミスでのヒヤットと経験の有無	0	1	合計
小男	1756	571	2327
	75.50%	24.50%	100.00%
小女	1944	570	2514
	77.30%	22.70%	100.00%
小その他	3	1	4
	75.00%	25.00%	100.00%
中男	1858	817	2675
	69.50%	30.50%	100.00%
中女	1925	1080	3005
	64.10%	35.90%	100.00%
中その他	11	4	15
	73.30%	26.70%	100.00%
合計	7497	3043	10540
	71.10%	28.90%	100.00%

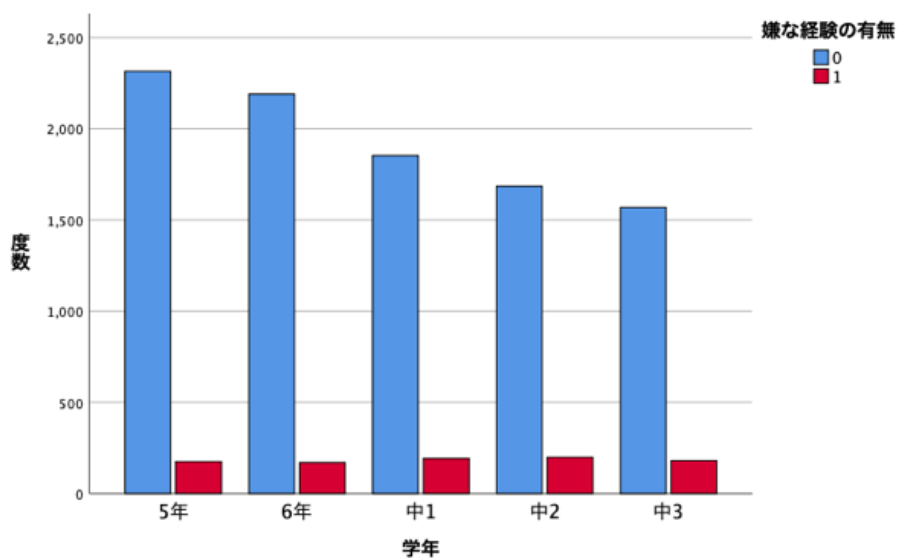


12. インターネット上での嫌な経験の有無について

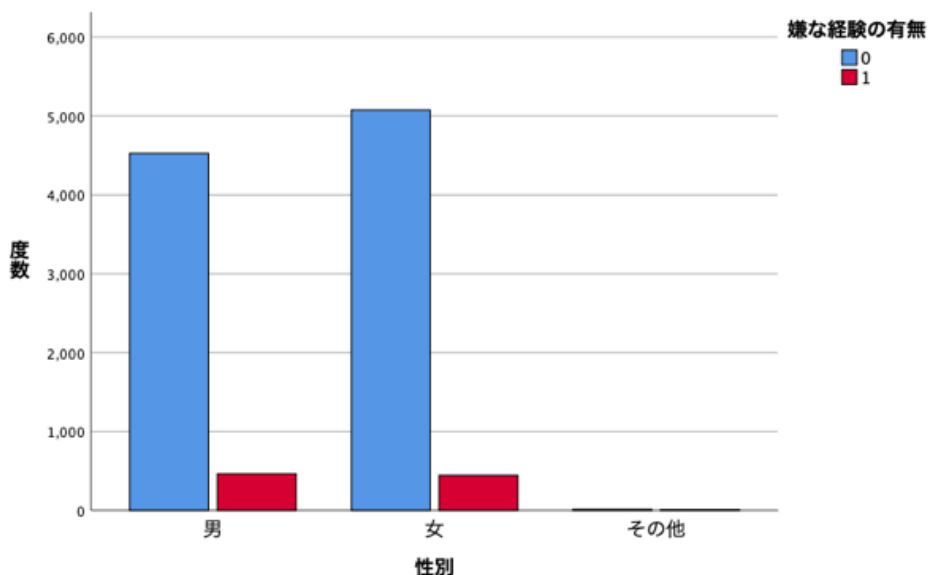
嫌な経験の有無	度数	%
0 ない	9613	91.3
1 ある	915	8.7
合計	10528	100



学年	0	1	合計
5年	2316	175	2491
	93.00%	7.00%	100.00%
6年	2190	170	2360
	92.80%	7.20%	100.00%
中1	1853	192	2045
	90.60%	9.40%	100.00%
中2	1685	198	1883
	89.50%	10.50%	100.00%
中3	1569	180	1749
	89.70%	10.30%	100.00%
合計	9613	915	10528
	91.30%	8.70%	100.00%



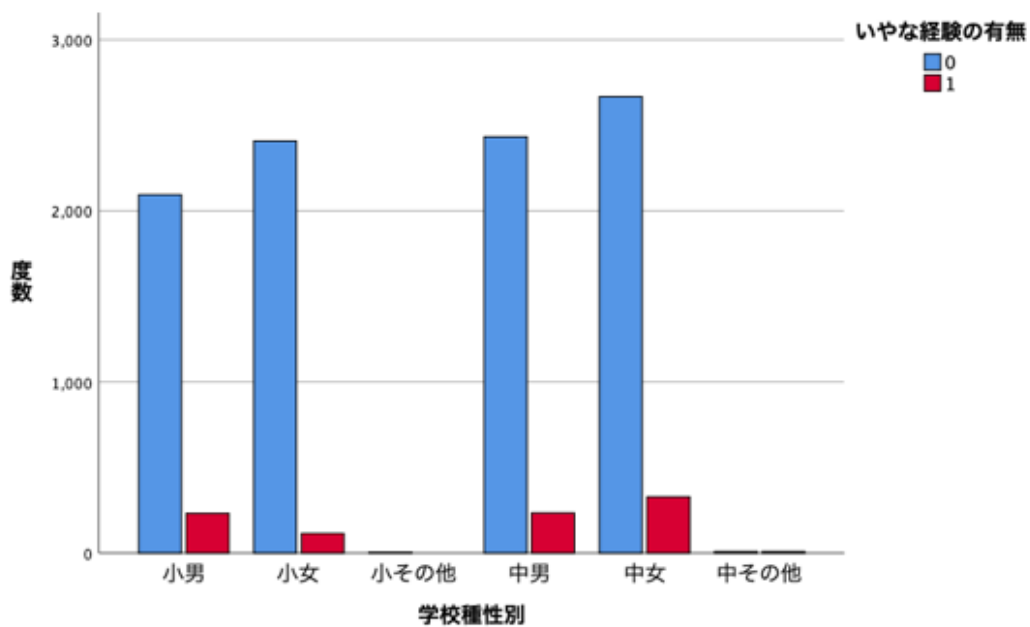
性別	0	1	合計
男	4526	465	4991
	90.70%	9.30%	100.00%
女	5075	442	5517
	92.00%	8.00%	100.00%
その他	12	8	20
	60.00%	40.00%	100.00%
合計	9613	915	10528
	91.30%	8.70%	100.00%



考察
16

- 嫌な経験が[ある]のは、全体で 8.7 ポイントとなっているが、学校種別・性別の分析によると、中学校女子が 11 ポイント、小学校男子が 9.9 ポイントと、有意に高くなっていることが判明した。
- 嫌な経験が[ある]のは、学年が進むにつれ有意に高くなっており、この点での性別による有意差は認められなかった。
- 結果からは、多様な SNS を活用し、より多様な人々とつながっている中学生女子の、嫌な経験が[ある]の比率が高くなることが確認できた。また、小学校男子がインターネット利用の主たる目的であるオンラインゲームでの対戦相手とのトラブルを経験している可能性があることが示唆されている。

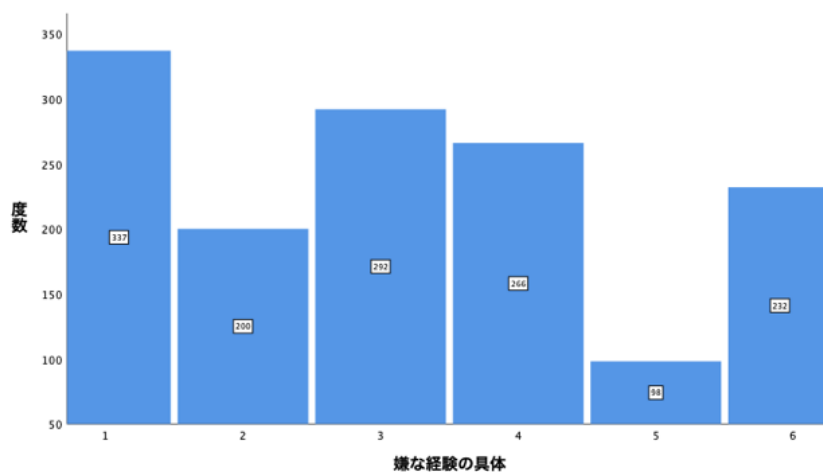
嫌な経験の有無	0	1	合計
小男	2094	231	2325
	90.10%	9.90%	100.00%
小女	2408	114	2522
	95.50%	4.50%	100.00%
小その他	4	0	4
	100.00%	0.00%	100.00%
中男	2432	234	2666
	91.20%	8.80%	100.00%
中女	2667	328	2995
	89.00%	11.00%	100.00%
中その他	8	8	16
	50.00%	50.00%	100.00%
合計	9613	915	10528
	91.30%	8.70%	100.00%



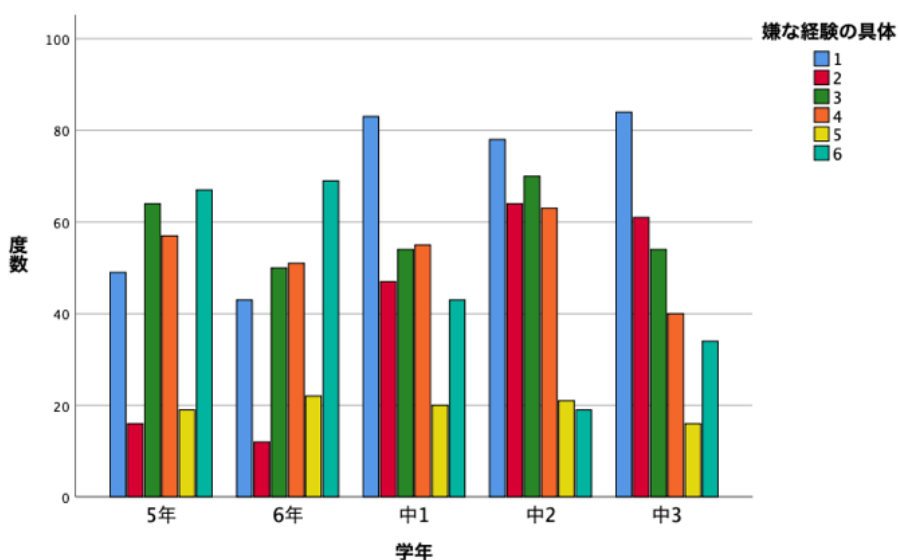
13-1. インターネット上での嫌な経験の具体について(複数回答の累計)

嫌な経験の具体	度数	%
1 悪口を書かれた	337	23.6
2 写真や動画を勝手にのせられた	200	14
3 ブロックされた	292	20.5
4 退出させられた	266	18.7
5 チャットに招待されなかった	98	6.9
6 その他	232	16.3
合計	1425	100

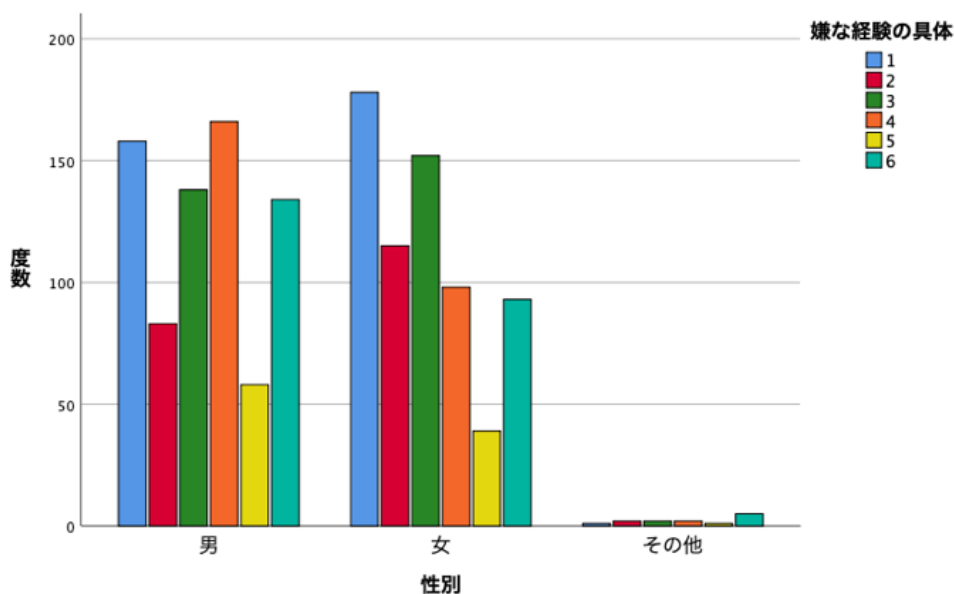
n = 932



学年	1	2	3	4	5	6	合計
5年	49	16	64	57	19	67	272
	18.00%	5.90%	23.50%	21.00%	7.00%	24.60%	100.00%
6年	43	12	50	51	22	69	247
	17.40%	4.90%	20.20%	20.60%	8.90%	27.90%	100.00%
中1	83	47	54	55	20	43	302
	27.50%	15.60%	17.90%	18.20%	6.60%	14.20%	100.00%
中2	78	64	70	63	21	19	315
	24.80%	20.30%	22.20%	20.00%	6.70%	6.00%	100.00%
中3	84	61	54	40	16	34	289
	29.10%	21.10%	18.70%	13.80%	5.50%	11.80%	100.00%
合計	337	200	292	266	98	232	1425
	23.60%	14.00%	20.50%	18.70%	6.90%	16.30%	100.00%



性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	158	83	138	166	58	134	737
	21.40%	11.30%	18.70%	22.50%	7.90%	18.20%	100.00%
女	178	115	152	98	39	93	675
	26.40%	17.00%	22.50%	14.50%	5.80%	13.80%	100.00%
その他	1	2	2	2	1	5	13
	7.70%	15.40%	15.40%	15.40%	7.70%	38.50%	100.00%
合計	337	200	292	266	98	232	1425
	23.60%	14.00%	20.50%	18.70%	6.90%	16.30%	100.00%

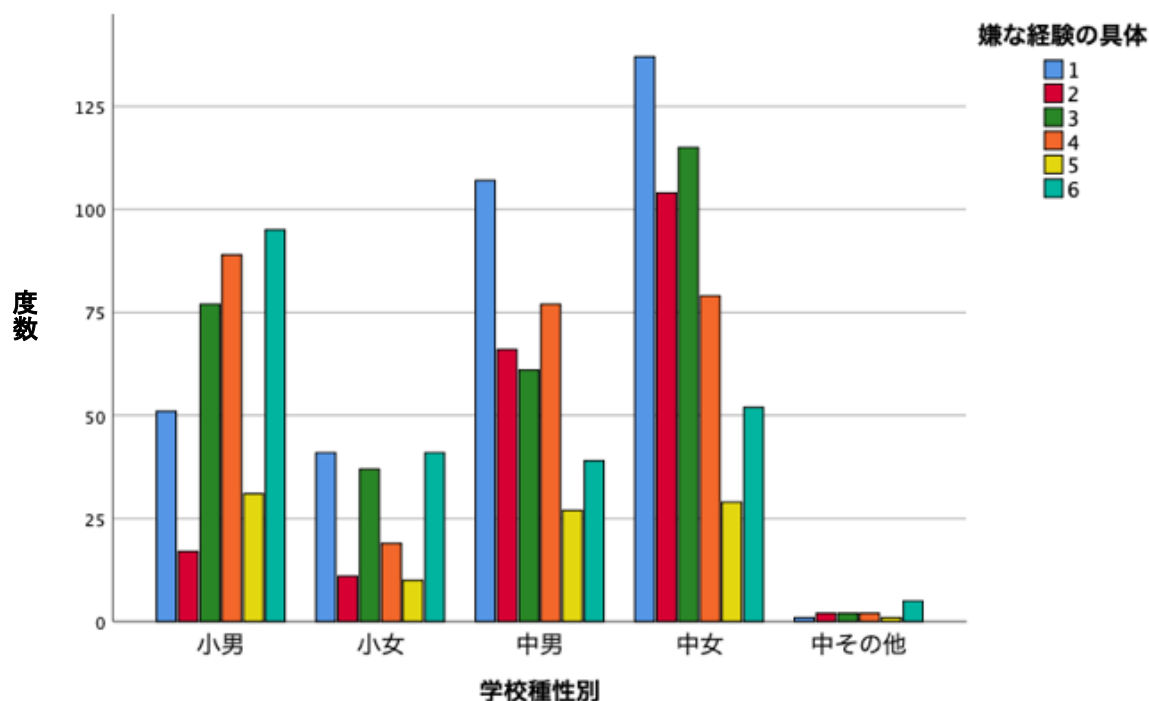


考察
17

- 嫌な経験の具体については、全体では[悪口](23.6ポイント)、[ブロック](20.5ポイント)、[退出](18.7ポイント)が高くなっていることが判明した。なお、[ブロック]と[退出]、[チャットへの招待なし]を同義と考えると、仲間はずれや拒否されることを経験した児童生徒の比率は嫌な経験をした児童生徒の内、46.1ポイントに上っていることが判明した。
- [写真動画の無断掲載]は全体では14ポイントとなっているが、学年進行による有意差が認められ、小学校段階では6ポイント程度であったものが中学校(中2、中3)では20ポイントを上回る数値が示されている。このことはSNSの利用方法が学年進行につれ高度化していることが反映されているものと考えられる。
- 小学校では、[その他]の割合が高くなっており、その内訳をみると、「ゲームでの嫌がらせ」に関するものが最も高い比率となっている。これは、自分専用端末で[ゲーム機]の所持率が高かったことや、インターネットの利用目的として[ゲーム]が高い比率を占めていたことなどが要因となっていることが窺える。
- 中学校の[その他]の内容は、[個人情報]に関するものが最も高い比率となっていることがわかった。これは、小学校よりも中学校において、個人情報に関する意識が高くなっていることが影響していることと推察される。

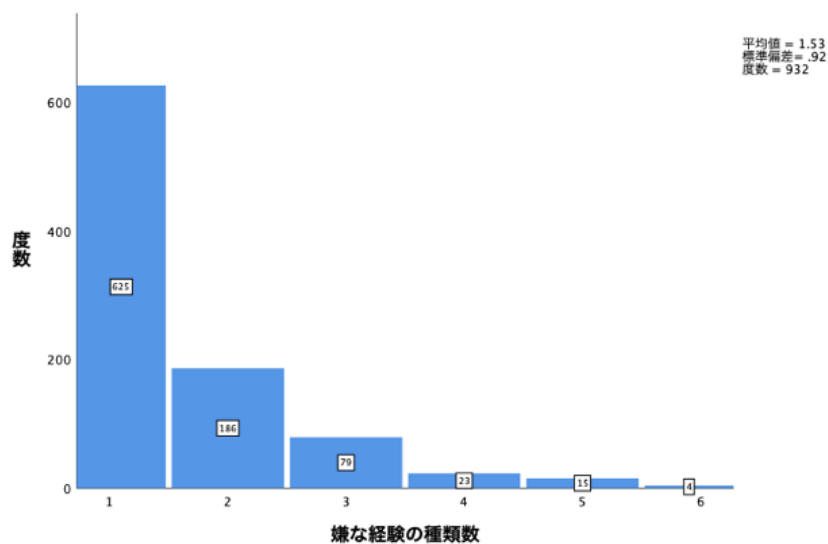
- また、[その他]において、中学校のみに現れた回答として、「出会い厨・性的・出会い系」といった性被害に繋がる可能性のあるものや、「隠し撮り・画像・動画」に関するものなどが出てきている。これは、中学校になるとスマホの所持率や SNS 利用率、またネット上で知り合った人との交流率が高まることなどが影響していると考えられる。
- 一方で、「あおられた」との回答は小中学校どちらにおいても 10 ポイント以上を占めている。このことから、インターネット上で「あおり」行為は小中学校問わず行われていることが窺える。
- また、「いじめられた」との回答も小中学校どちらにおいてもみられた。

嫌な経験の具体	1	2	3	4	5	6	合計
小男	51	17	77	89	31	95	360
	14.20%	4.70%	21.40%	24.70%	8.60%	26.40%	100.00%
小女	41	11	37	19	10	41	159
	25.80%	6.90%	23.30%	11.90%	6.30%	25.80%	100.00%
中男	107	66	61	77	27	39	377
	28.40%	17.50%	16.20%	20.40%	7.20%	10.30%	100.00%
中女	137	104	115	79	29	52	516
	26.60%	20.20%	22.30%	15.30%	5.60%	10.10%	100.00%
中その他	1	2	2	2	1	5	13
	7.70%	15.40%	15.40%	15.40%	7.70%	38.50%	100.00%
合計	337	200	292	266	98	232	1425
	23.60%	14.00%	20.50%	18.70%	6.90%	16.30%	100.00%

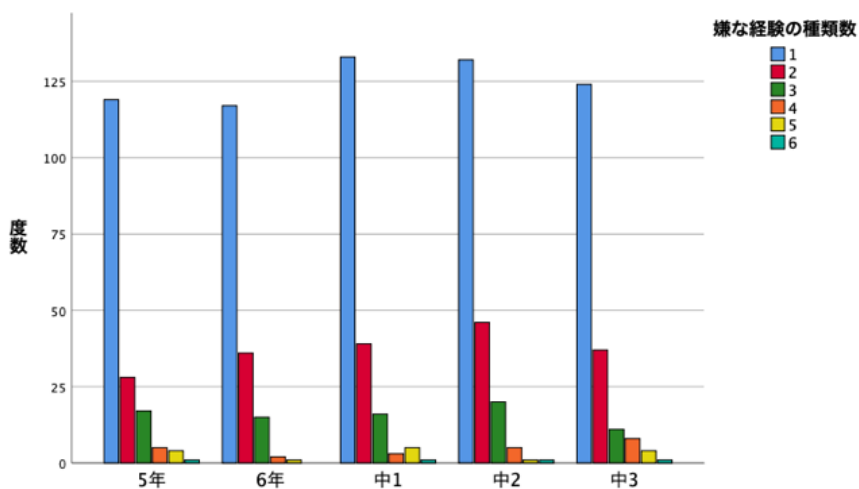


13-2. インターネット上での嫌な経験の種類数について

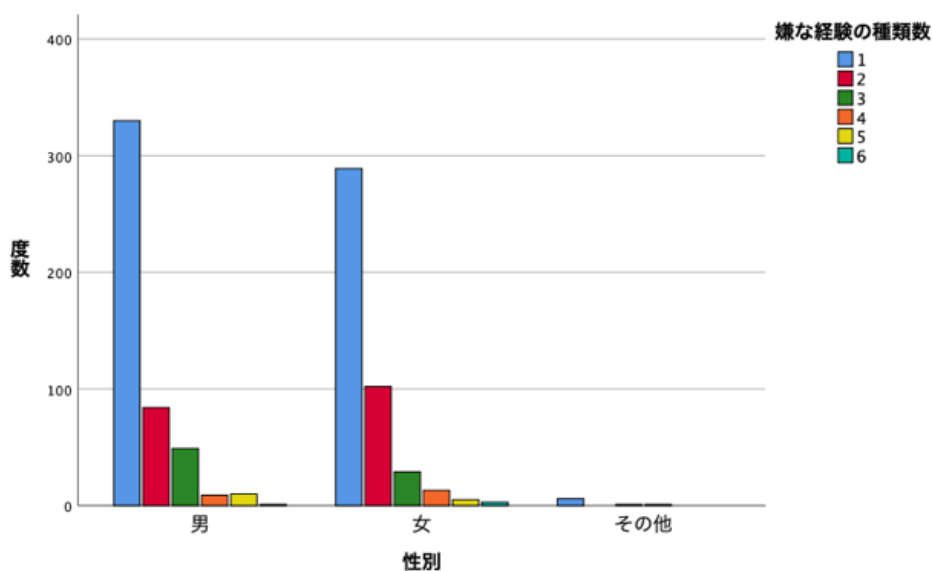
嫌な経験の種類数	度数	%
1種類	625	67.1
2種類	186	20
3種類	79	8.5
4種類	23	2.5
5種類	15	1.6
6種類	4	0.4
合計	932	100



学年	1	2	3	4	5	6	合計
5年	119	28	17	5	4	1	174
	68.40%	16.10%	9.80%	2.90%	2.30%	0.60%	100.00%
6年	117	36	15	2	1	0	171
	68.40%	21.10%	8.80%	1.20%	0.60%	0.00%	100.00%
中1	133	39	16	3	5	1	197
	67.50%	19.80%	8.10%	1.50%	2.50%	0.50%	100.00%
中2	132	46	20	5	1	1	205
	64.40%	22.40%	9.80%	2.40%	0.50%	0.50%	100.00%
中3	124	37	11	8	4	1	185
	67.00%	20.00%	5.90%	4.30%	2.20%	0.50%	100.00%
合計	625	186	79	23	15	4	932
	67.10%	20.00%	8.50%	2.50%	1.60%	0.40%	100.00%



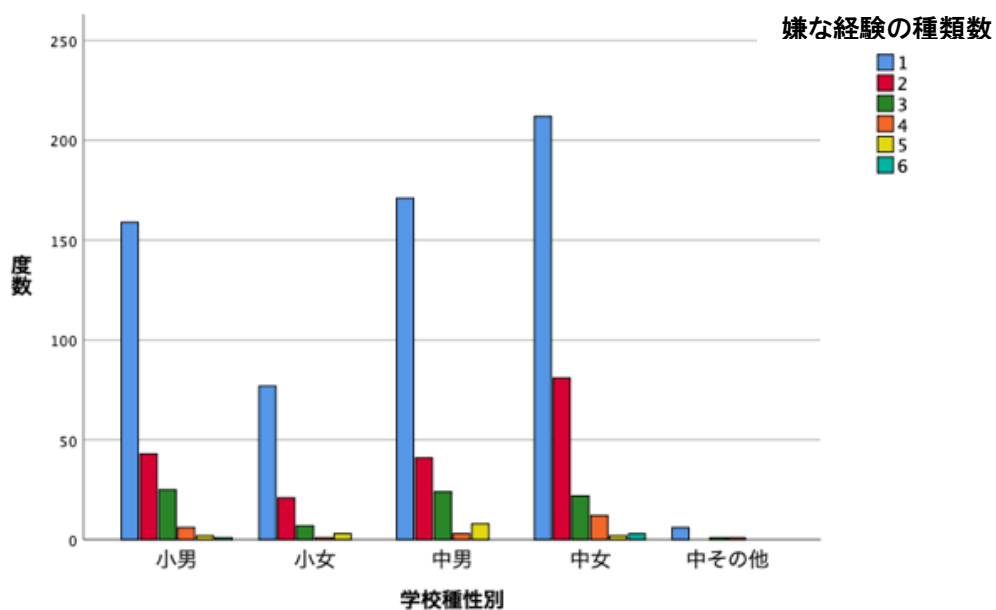
性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	330	84	49	9	10	1	483
	68.30%	17.40%	10.10%	1.90%	2.10%	0.20%	100.00%
女	289	102	29	13	5	3	441
	65.50%	23.10%	6.60%	2.90%	1.10%	0.70%	100.00%
その他	6	0	1	1	0	0	8
	75.00%	0.00%	12.50%	12.50%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	625	186	79	23	15	4	932
	67.10%	20.00%	8.50%	2.50%	1.60%	0.40%	100.00%



考察
18

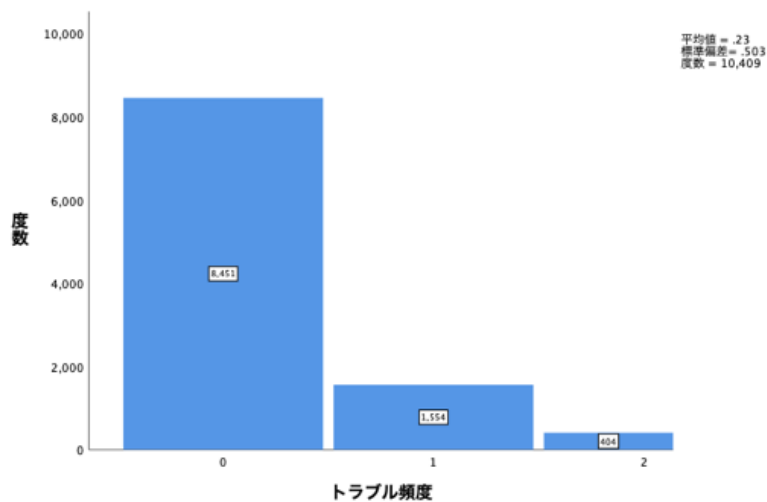
- 嫌な経験の種類数については、[1種類] [2種類]であった児童生徒が87ポイント以上であることが判明した。
- 嫌な経験の種類数については、学年および性別における有意差は確認できなかった。すなわち、どの年齢層においても性別においても同程度の種類数の嫌な経験をしていることが確認できた。
- そのため、嫌な経験の具体のうち、[その他]を選択し記述回答されている内容を分析した。その結果、男子はオンラインゲームに関する嫌な経験の記述(あおられた等)が散見された。
- 一方、女子は、知らない人からのダイレクトメールやチェーンメール等、メールに関する嫌な経験の記述が多く見られた。
- 今後、嫌な経験の具体的な事例を詳細に研究・分析し、児童生徒に対する情報セキュリティ教育を展開することが望まれる。

嫌な経験の種類数	1	2	3	4	5	6	合計
小男	159	43	25	6	2	1	236
	67.40%	18.20%	10.60%	2.50%	0.80%	0.40%	100.00%
小女	77	21	7	1	3	0	109
	70.60%	19.30%	6.40%	0.90%	2.80%	0.00%	100.00%
中男	171	41	24	3	8	0	247
	69.20%	16.60%	9.70%	1.20%	3.20%	0.00%	100.00%
中女	212	81	22	12	2	3	332
	63.90%	24.40%	6.60%	3.60%	0.60%	0.90%	100.00%
中その他	6	0	1	1	0	0	8
	75.00%	0.00%	12.50%	12.50%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	625	186	79	23	15	4	932
	67.10%	20.00%	8.50%	2.50%	1.60%	0.40%	100.00%

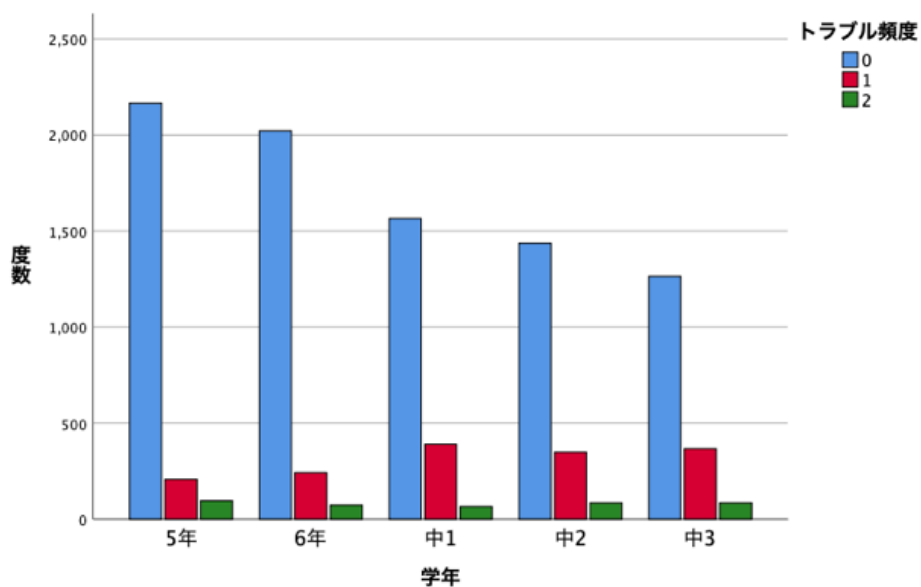


14. インターネット上でのケンカやトラブルの有無・頻度について

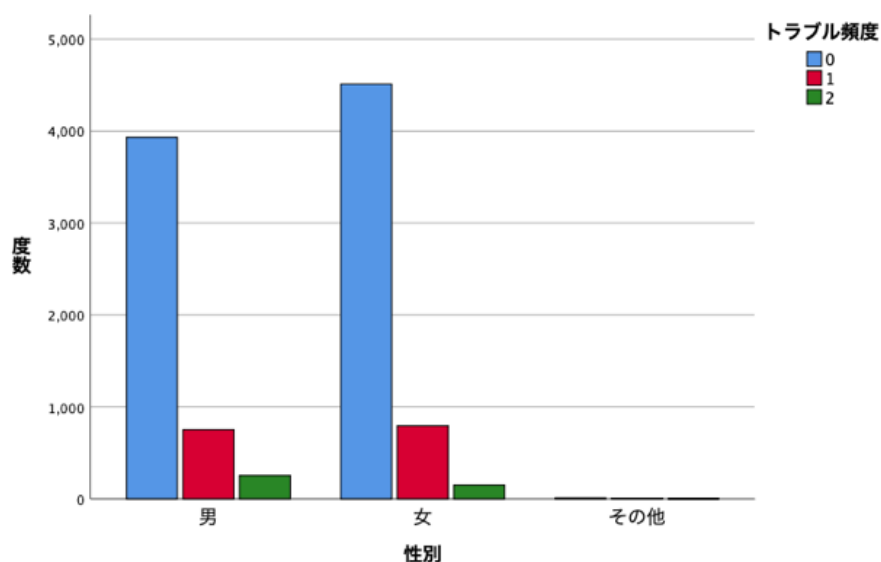
トラブル頻度		度数	%
0	全くない	8451	81.2
1	一度はある	1554	14.9
2	何度もある	404	3.9
合計		10409	100



学年	0	1	2	合計
5年	2165	207	95	2467
	87.80%	8.40%	3.90%	100.00%
6年	2021	242	73	2336
	86.50%	10.40%	3.10%	100.00%
中1	1565	390	66	2021
	77.40%	19.30%	3.30%	100.00%
中2	1436	348	85	1869
	76.80%	18.60%	4.50%	100.00%
中3	1264	367	85	1716
	73.70%	21.40%	5.00%	100.00%
合計	8451	1554	404	10409
	81.20%	14.90%	3.90%	100.00%



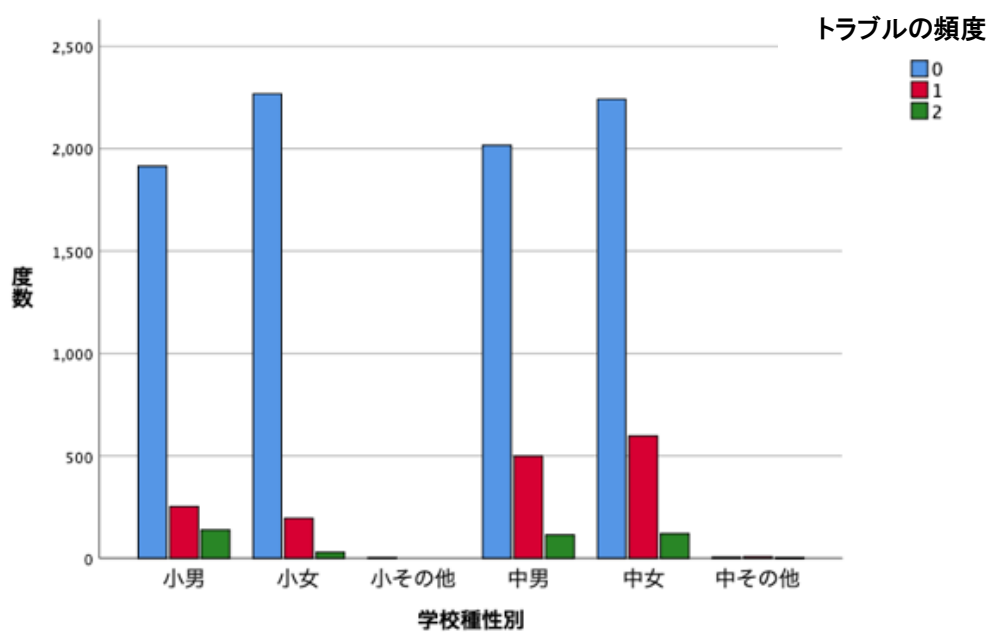
性別	0	1	2	合計
男	3931	752	253	4936
	79.60%	15.20%	5.10%	100.00%
女	4510	794	149	5453
	82.70%	14.60%	2.70%	100.00%
その他	10	8	2	20
	50.00%	40.00%	10.00%	100.00%
合計	8451	1554	404	10409
	81.20%	14.90%	3.90%	100.00%



考察
19

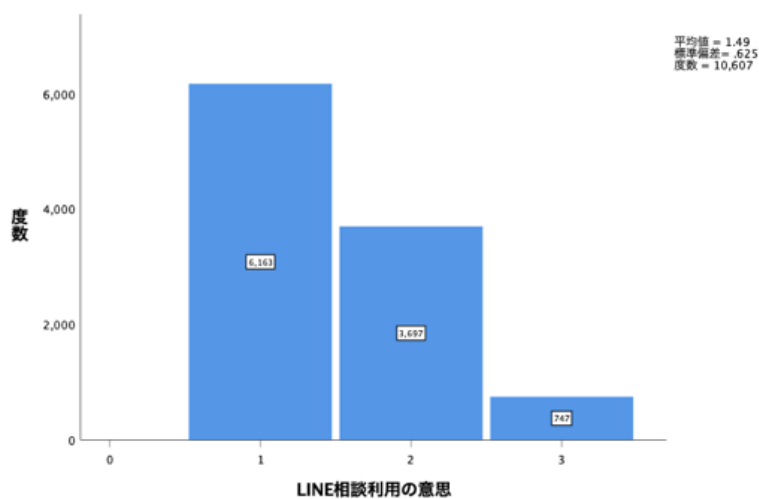
- インターネット上でのトラブルの有無・頻度については、全体で 18.8 ポイントの児童生徒がトラブルを経験していることが判明した。これは、嫌な経験をした児童生徒の 2 倍程度となっている。
- トラブルの有無・頻度は、学年進行に伴い有意に高くなっていることが判明した。
- トラブルの有無・頻度における性別の有意差が確認され、男子が有意に高くなっていることが確認できた。このことは、インターネットの利用目的で男子が有意に高くなっていたオンラインゲームに関わるトラブルを多く経験しているものと推察される。

トラブルの頻度	0	1	2	合計
小男	1914	253	139	2306
	83.00%	11.00%	6.00%	100.00%
小女	2268	196	29	2493
	91.00%	7.90%	1.20%	100.00%
小その他	4	0	0	4
	100.00%	0.00%	0.00%	100.00%
中男	2017	499	114	2630
	76.70%	19.00%	4.30%	100.00%
中女	2242	598	120	2960
	75.70%	20.20%	4.10%	100.00%
中その他	6	8	2	16
	37.50%	50.00%	12.50%	100.00%
合計	8451	1554	404	10409
	81.20%	14.90%	3.90%	100.00%

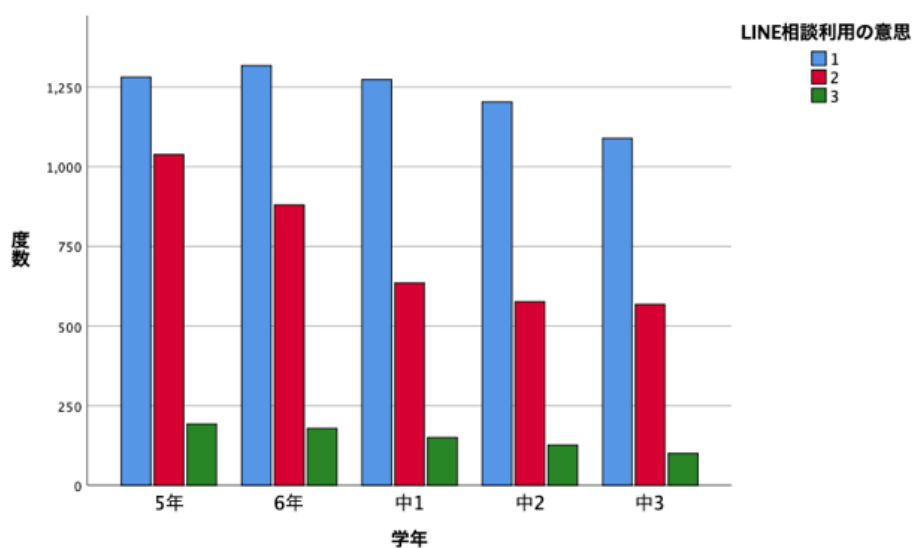


15. LINE 相談利用の意思の有無について

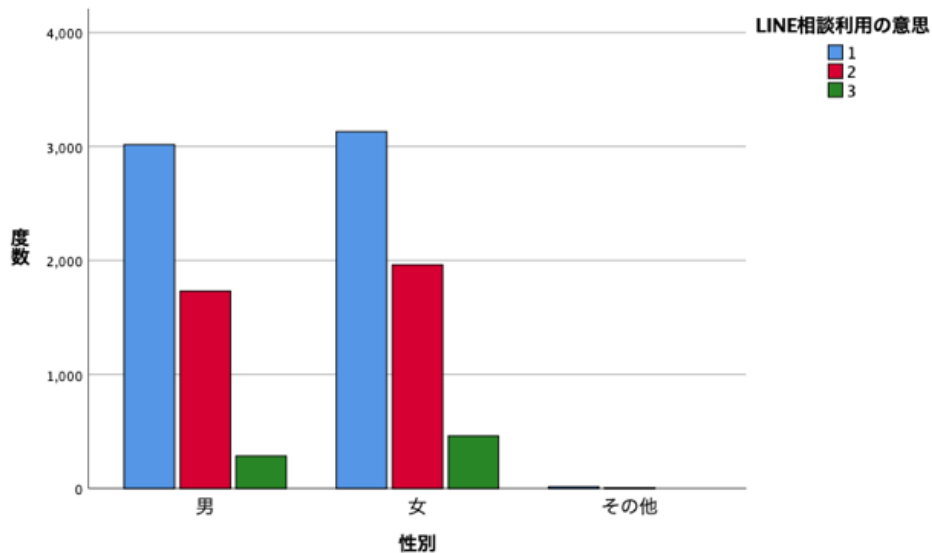
LINE相談利用の意思	度数	%
1 しなと思う	6163	58.1
2 わからない	3697	34.9
3 すると思う	747	7
合計	10607	100



学年	1	2	3	合計
5年	1281	1038	192	2511
	51.00%	41.30%	7.60%	100.00%
6年	1317	880	179	2376
	55.40%	37.00%	7.50%	100.00%
中1	1273	635	150	2058
	61.90%	30.90%	7.30%	100.00%
中2	1203	576	126	1905
	63.10%	30.20%	6.60%	100.00%
中3	1089	568	100	1757
	62.00%	32.30%	5.70%	100.00%
合計	6163	3697	747	10607
	58.10%	34.90%	7.00%	100.00%



性別	1	2	3	合計
男	3017	1731	285	5033
	59.90%	34.40%	5.70%	100.00%
女	3131	1961	462	5554
	56.40%	35.30%	8.30%	100.00%
その他	15	5	0	20
	75.00%	25.00%	0.00%	100.00%
合計	6163	3697	747	10607
	58.10%	34.90%	7.00%	100.00%

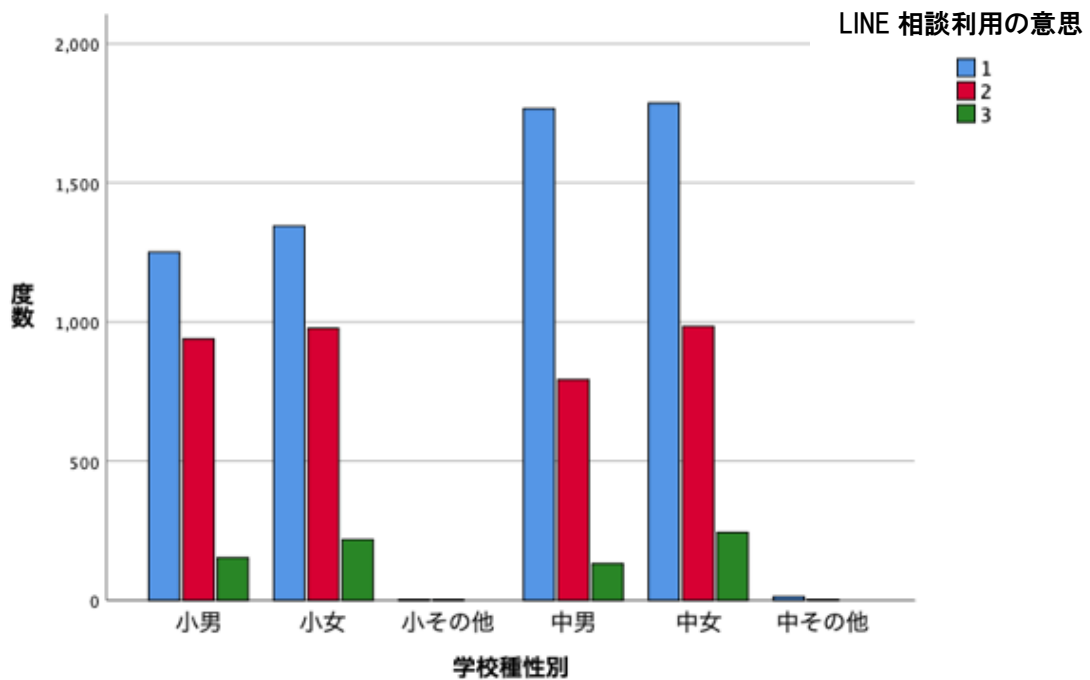


考察
20

- LINE 相談利用の意思については、[利用する]と積極的な意思を有している児童生徒は 7 ポイント程度に止まっていることが判明した。
- しかし、電話による「とよなかつ子ダイヤル」の使用率が 0.6 ポイントであったことから判断すると、SNS の一つである LINE を活用することには一定の効果が期待される。
- 一方、[利用しない]と回答した児童生徒は 58 ポイントに達し、[わからない]と回答した児童生徒 35 ポイントを合わせた 93 ポイントの児童生徒に対する啓発が必要である。
- LINE 相談利用の意思については、学年および性別での分析で、それぞれ有意差が確認できた。
- すなわち、学年進行につれ、[利用する]と回答した比率が有意に低くなっていることが、また、男子よりも女子のほうが[利用する]と回答した比率が有意に高くなっていることが確認できた。
- 記述回答の分析結果から、[利用する]理由として、「LINE だと気軽だから」という理由が中学校では 50 ポイント近くを占めているが、小学校では 13.0 ポイントとなっていることがわかる。このことから、小学校では LINE が中学校ほど身近な存在でないことが窺える。この結果は、利用している SNS の調査項目からも明らかである。

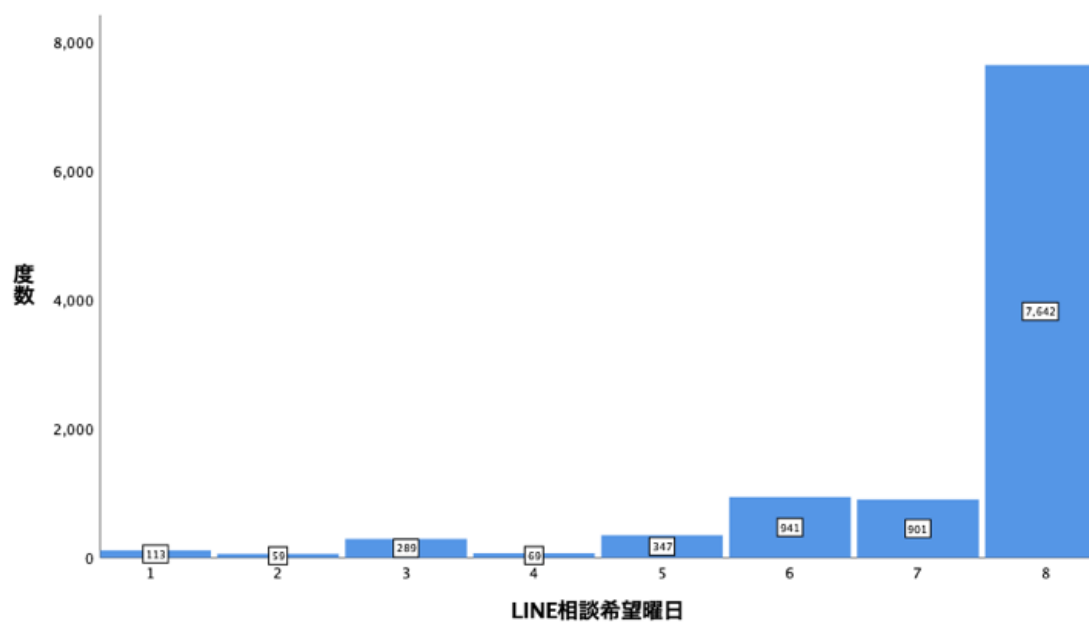
- 小中学校ともに 11 ポイントほどが「すぐに相談できるから」と答えており、児童生徒らが LINE 相談に対して即時性を期待していることが窺える。児童生徒にとっては、LINE はすぐに反応してもらえるものという認識があると考えられる。そのため、週 1 回の限られた相談窓口の設定では、十分にこれらのニーズに応えられない可能性も示唆されている。
- また、「相談できる人がいないから」との回答が小学校 4 ポイント、中学校 9.5 ポイントで、中学校では小学校の 2 倍以上となっていることがわかった。このことから、相談相手のいない比率の高い中学生に向けて重点的に LINE 相談の広報を行ったことは適切であったと考えられる。
- 小学校では、「相談したらスッキリしそう」という回答が 10 ポイントあった。
- [利用しない]理由を自由記述から分析してみると、小中学校ともに LINE 相談を利用しないと回答している児童生徒の約 50 ポイントが「相談する内容がない」と「相談相手がいる」で占められている。「怪しい・怖い・嫌・抵抗がある」と答えたものもあり、SNS での相談に対する不安や抵抗感も一定窺える。「知らない人へ相談しにくい」と答えた比率も小学校 4.4 ポイント中学校 6 ポイントいることが判明した。
- 一方で、LINE での相談ではなく、「電話で相談したい」「会って話したい」などを理由に挙げるものが見られる。それらの比率は小学校で 1 ポイント、中学校で 2.6 ポイントとなっており、自分の思いや考えを表現する力がある程度ついてきている中学生にとっては、電話相談や面談相談なども相談手段のニーズとして出ていることが窺える。
- 中学校になると、「個人情報の流出」への危惧や「記録が残ること」への不安なども、LINE 相談を利用しない理由として挙がってきており、小学校に比べるとインターネットや SNS の仕組みの理解が進んでいることが窺える。

LINE相談利用の意思	1	2	3	合計
小男	1251	939	153	2343
	53.40%	40.10%	6.50%	100.00%
小女	1345	977	218	2540
	53.00%	38.50%	8.60%	100.00%
小その他	2	2	0	4
	50.00%	50.00%	0.00%	100.00%
中男	1766	792	132	2690
	65.70%	29.40%	4.90%	100.00%
中女	1786	984	244	3014
	59.30%	32.60%	8.10%	100.00%
中その他	13	3	0	16
	81.30%	18.80%	0.00%	100.00%
合計	6163	3697	747	10607
	58.10%	34.90%	7.00%	100.00%

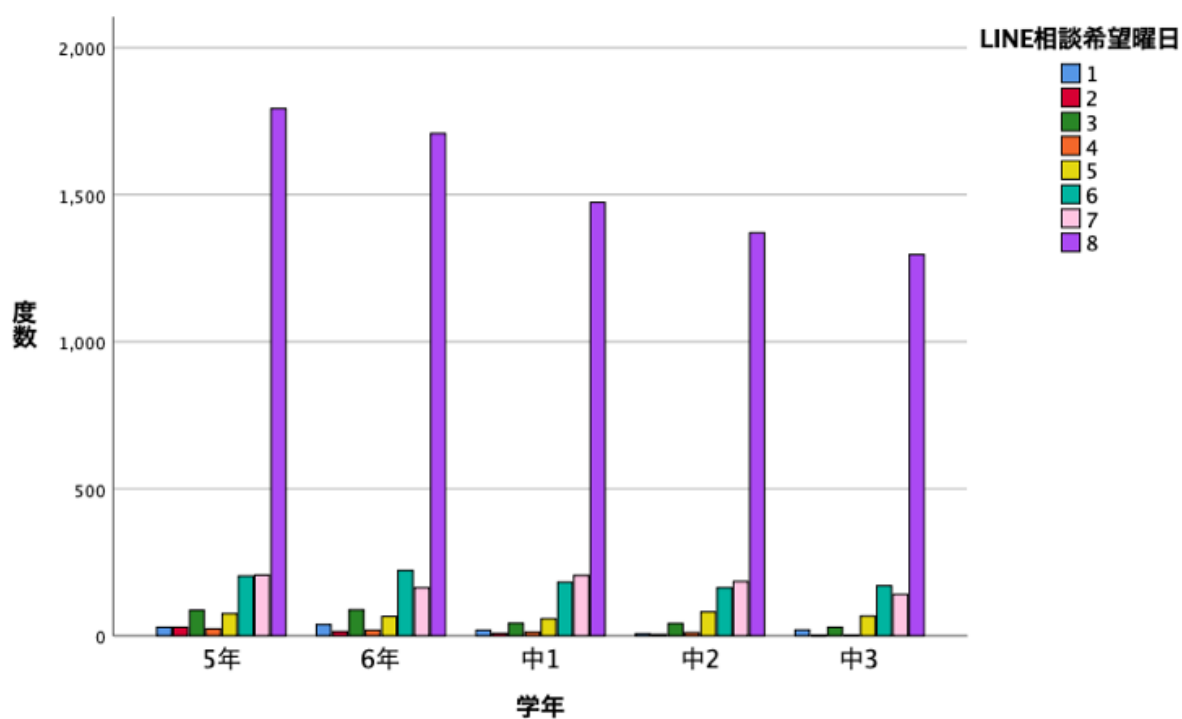


16. LINE 相談利用の希望曜日について

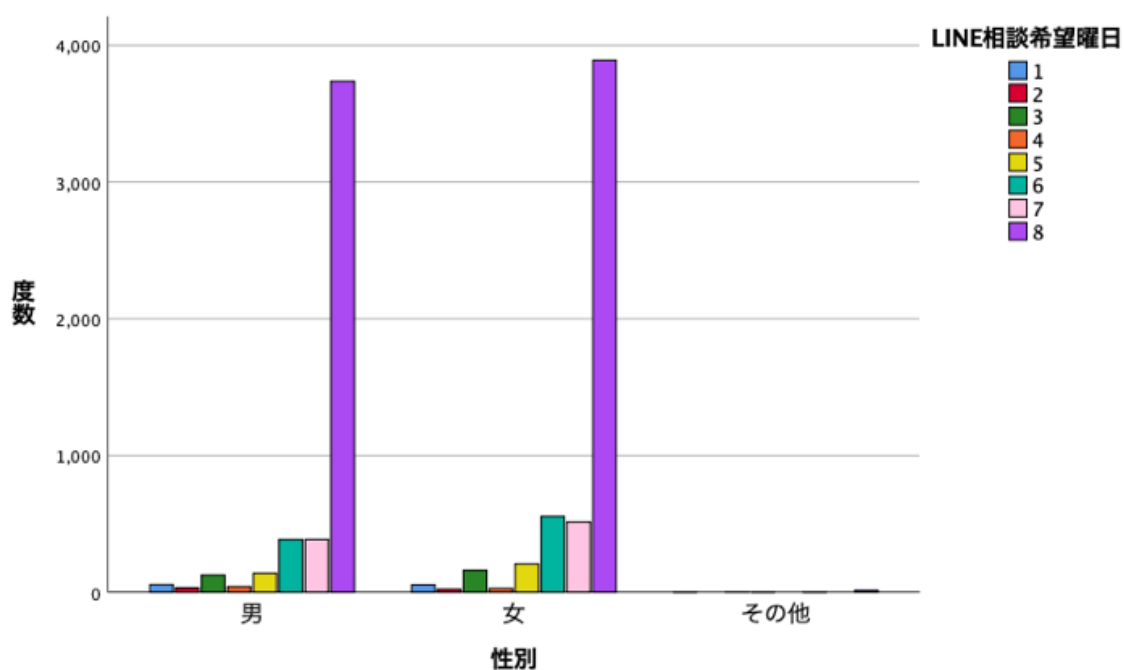
LINE相談希望曜日	度数	%
1 月曜日	113	1.1
2 火曜日	59	0.6
3 水曜日	289	2.8
4 木曜日	69	0.7
5 金曜日	347	3.3
6 土曜日	941	9.1
7 日曜日	901	8.7
8 いつでもいい・わからない	7642	73.8
合計	10361	100



学年	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
5年	29	29	87	24	75	204	207	1793	2448
	1.20%	1.20%	3.60%	1.00%	3.10%	8.30%	8.50%	73.20%	100.00%
6年	38	15	88	19	66	222	163	1708	2319
	1.60%	0.60%	3.80%	0.80%	2.80%	9.60%	7.00%	73.70%	100.00%
中1	19	9	43	12	58	182	206	1474	2003
	0.90%	0.40%	2.10%	0.60%	2.90%	9.10%	10.30%	73.60%	100.00%
中2	7	5	42	11	81	163	184	1371	1864
	0.40%	0.30%	2.30%	0.60%	4.30%	8.70%	9.90%	73.60%	100.00%
中3	20	1	29	3	67	170	141	1296	1727
	1.20%	0.10%	1.70%	0.20%	3.90%	9.80%	8.20%	75.00%	100.00%
合計	113	59	289	69	347	941	901	7642	10361
	1.10%	0.60%	2.80%	0.70%	3.30%	9.10%	8.70%	73.80%	100.00%



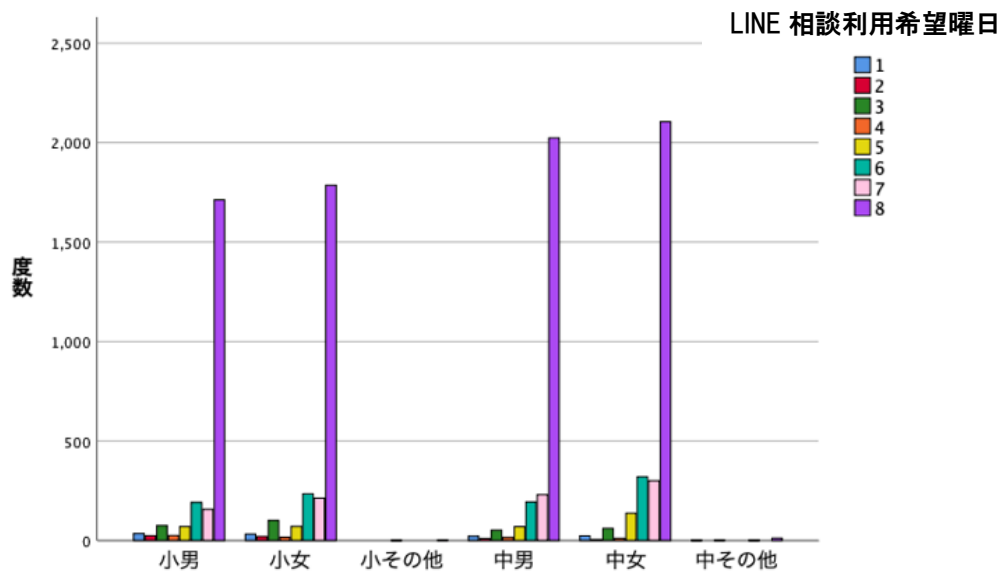
性別	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
男	57	34	126	40	139	386	387	3736	4905
	1.20%	0.70%	2.60%	0.80%	2.80%	7.90%	7.90%	76.20%	100.00%
女	55	25	161	28	208	554	514	3891	5436
	1.00%	0.50%	3.00%	0.50%	3.80%	10.20%	9.50%	71.60%	100.00%
その他	1	0	2	1	0	1	0	15	20
	5.00%	0.00%	10.00%	5.00%	0.00%	5.00%	0.00%	75.00%	100.00%
合計	113	59	289	69	347	941	901	7642	10361
	1.10%	0.60%	2.80%	0.70%	3.30%	9.10%	8.70%	73.80%	100.00%



考察
21

- LINE相談の利用希望日としては、[いつでもいい・わからない]がダントツで多い。
- 全体で見ると、[土日]を希望する割合が多く、平日でみると[金曜日][水曜日]が多くなっている。
- 学校種別で分析すると、若干の違いが見られ、小学生では[水曜日]を、中学生では[金曜日]を選ぶ割合が多くなっている。
- 今回、豊中市で水曜日にLINE相談を設定しているのは、平日での設定日としては、金曜日よりも0.5ポイント低く、学校種別による利用実態やトラブル経験や、児童生徒のネット利用時間帯等の分析結果等から総合的に判断して、小学生のニーズと中学生のニーズを一定レベル考慮する必要があると考える。
- また、ニーズの高い土日についても、児童生徒のネット利用時間帯等の分析結果と併せて総合的に判断し、相談日として検討する余地が残されている。

LINE相談利用希望曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
小男	35	24	74	25	70	192	157	1712	2289
	1.50%	1.00%	3.20%	1.10%	3.10%	8.40%	6.90%	74.80%	100.00%
小女	32	20	101	17	71	234	213	1786	2474
	1.30%	0.80%	4.10%	0.70%	2.90%	9.50%	8.60%	72.20%	100.00%
小その他	0	0	0	1	0	0	0	3	4
	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%	75.00%	100.00%
中男	22	10	52	15	69	194	230	2024	2616
	0.80%	0.40%	2.00%	0.60%	2.60%	7.40%	8.80%	77.40%	100.00%
中女	23	5	60	11	137	320	301	2105	2962
	0.80%	0.20%	2.00%	0.40%	4.60%	10.80%	10.20%	71.10%	100.00%
中その他	1	0	2	0	0	1	0	12	16
	6.30%	0.00%	12.50%	0.00%	0.00%	6.30%	0.00%	75.00%	100.00%
合計	113	59	289	69	347	941	901	7642	10361
	1.10%	0.60%	2.80%	0.70%	3.30%	9.10%	8.70%	73.80%	100.00%



17. まとめ

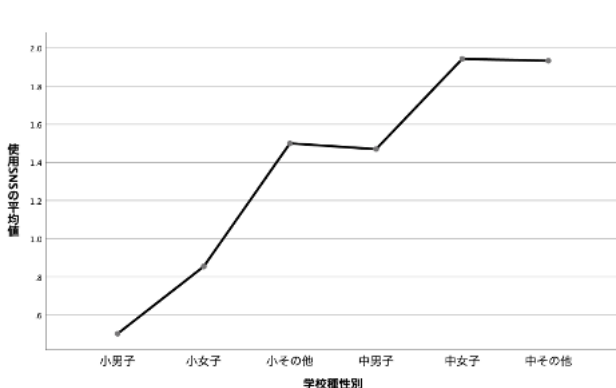
本調査の分析にあたっては、①豊中市内の公立小学校 5、6 年生と中学生のインターネット利用の現状と課題を把握するだけでなく、調査内容と調査対象の特性から、②年齢(学年)と性別による有意差や特異性がどのように出現するのかということ特定し、③豊中市の教育行政・施策等の策定や実施に際し、最適化を図ることができるものとするを意図した。

アンケート質問項目の基本統計量やクロス集計結果から、各質問項目について、年齢(学年)と性別による有意差や特異性を確認することができた。(詳細は、各質問項目の「考察」を参照)また、学年集団を通時的に分析することからこれから先のインターネット利用に関するリスクを予測することも可能となった。

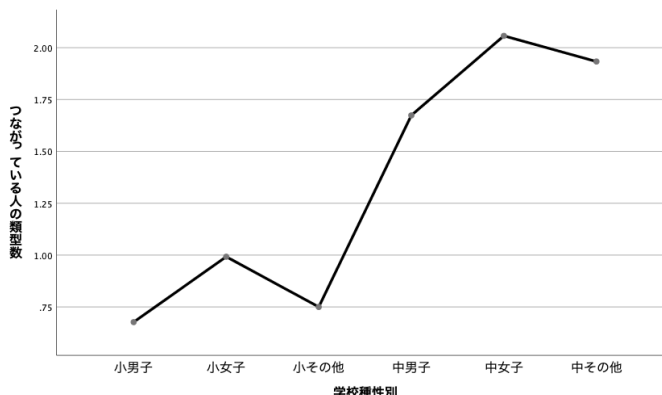
以下に、今回の分析結果から得られた知見を一部詳解する。

(1). インターネット利用における女子の活発さ

使用している SNS の種類数は、学年要因よりも性別要因が大きく影響しており、女子が LINE、Twitter、Instagram や TikTok などより外部の人とつながりやすい複数の SNS を利用していることが判明した。その結果、SNS でつながっている人の類型数が、女子において圧倒的に多くなっていることが確認できた。(図 1、2)



(図 1: 使用している SNS の種類数)

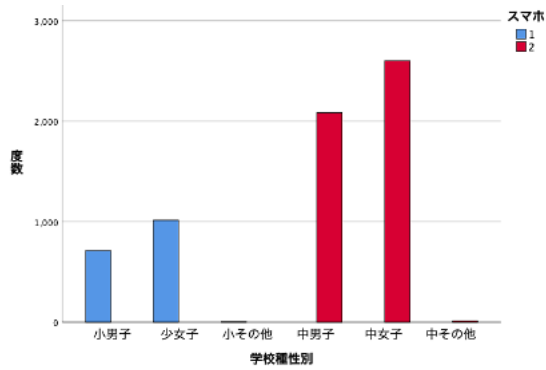


(図 2: SNS でつながっている人の類型数)

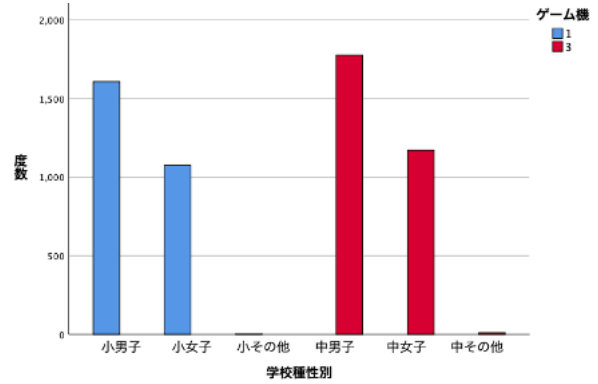
(2). 所有端末と利用目的の関係性

図 3、4 に示すとおり、所有端末における性別の有意差が明らかとなった。すなわち、SNS を利用しやすいスマホの所有は女子が有意に高く、娯楽性の高いゲーム機の所有は男子が有意に高くなっている。

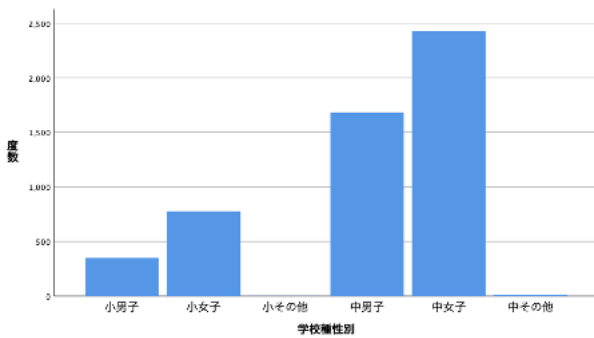
その結果は、図 5、6 に示すとおり、インターネット利用目的の回答にも反映されている。女子は SNS が、男子はオンラインゲーム利用が主たる利用目的となっている。



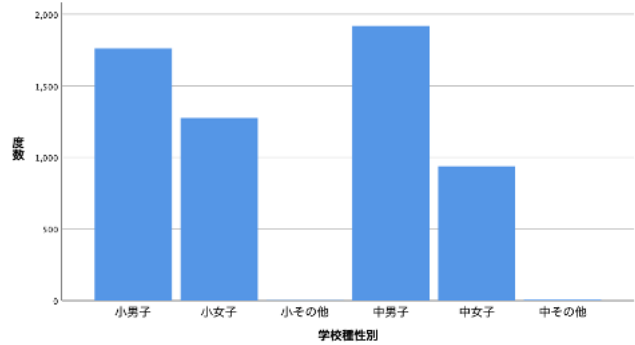
(図 3: スマホ所有件数)



(図 4: ゲーム機所有件数)



(図 5: SNS)

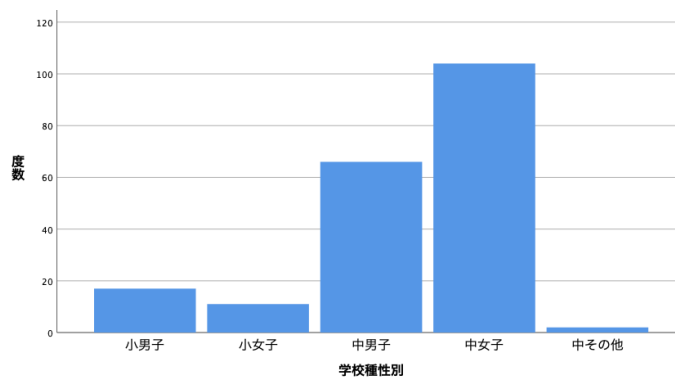


(図 6: ゲーム)

(3). リスク要因の解明

SNS の利用をメインとした女子が経験した「嫌なこと」で特異な傾向を示しているのが写真動画掲載である。SNS の利用が高度化、多様化するにつれ、経験するリスクの度合いが有意に高まることが示されている。(図 7)

外部と容易につながる SNS の利用については、児童生徒の発達段階に応じたインターネット利用や情報セキュリティに関する研修を実施し、予想されるリスクを軽減することが望まれる。

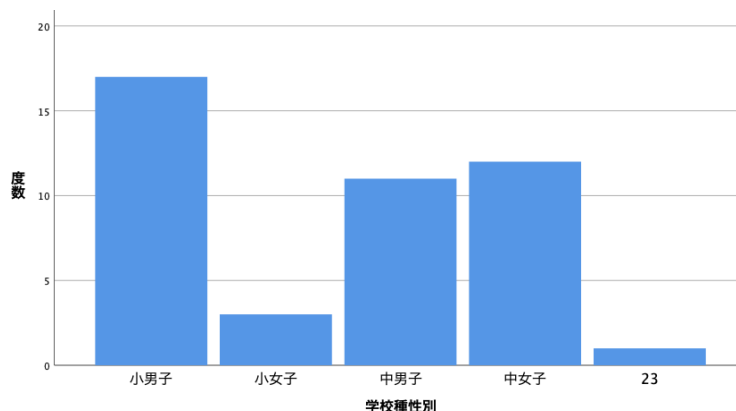


(図 7: 写真動画掲載)

オンラインゲームが中心となっている男子においては、ゲーム展開場面における悪口をはじめとした誹謗中傷や仲間外れ経験が有意に高くなっている。

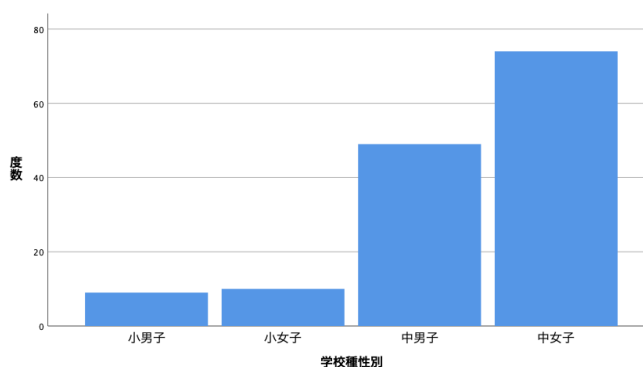
図8は、質問項目の中で「ブロックされた」、「退出させられた」、「チャットに招待されなかった」という関連項目から「疎外経験」という合成変数を算出し分析したものである。特に、オンラインゲーム利用が中心となっている小学校男子の疎外経験が突出して高くなっていることがわかる。

また、SNSの利用比率が高い中学校女子においても、LINEやTwitter等で疎外経験をしていることが確認できた。



(図8: 疎外経験)

また留意すべきこととして、学校の先生(129件)や習い事(塾等)の先生(943件)とSNSを通じてつながっていると回答した児童生徒が一定レベル以上存在しているということがある。図9に示すとおり、SNSを活発に利用している女子のほうが学校の先生等とつながっている件数が有意に高くなっている。特に、学校外の塾の先生等とつながっていると回答した児童生徒の件数は約7倍の943件に上っている。



(図9: 学校の先生とSNSでつながっている件数)

学校の先生が指導の一環としてSNSを利用することについては問題ないが、私的なやりとりにつながるようには注意が必要である。改めて文部科学省や大阪府教育委員会のガイドラインの内容の理解を深める等、学校の教職員や児童生徒に対する働きかけが求められる。

(4). インターネットの利用時間と利用時間帯について

インターネットの利用時間、利用時間帯と利用目的、利用 SNS の種類の関係性を分析した結果、ゲームと YouTube 動画等の視聴が、それぞれ有意な影響を及ぼしていることが確認できた。

すなわち、ゲームと YouTube 動画等の視聴が、インターネット利用時間を有意に長くし、利用時間帯が夜型から、深夜型へと有意に遅くなっていることが判明した。

また、インターネット利用に関する家庭内ルールの有無とインターネット利用時間及び利用時間帯にも同様に有意な関係性があることが判明した。すなわち、ルールがある家庭の児童生徒は利用時間や利用時間帯が一定レベルコントロールされているということが判明した。

本報告書では、豊中市内の公立小学校 5、6 年生と中学生を対象に、インターネットの利用時間帯や利用ルールの有無等のインターネット利用環境や、使用している情報端末の種類や SNS 等をはじめとするインターネット利用やトラブル経験等の現状を把握・分析し、悩みやトラブルを抱えている児童生徒の支援を行うための SNS を利用した相談窓口等のサポート体制を構築するために必要なエビデンスを得ることができた。

また、アンケート調査の分析結果から、インターネット利用において、年齢(学年)と性別要因が有意な影響を及ぼしている項目を特定する、将来的にリスクを抱える可能性がある児童生徒の実態を明らかにするなど、新たな知見を得ることができた。

※分析においては一部設問番号を入れ替えています

インターネットの利用などに関するアンケート

小学生のみなさんへ

豊中市では、みなさんが安心して暮らせるよう、相談しやすいまちづくりをすすめています。
そこで、もっと、みなさんが相談しやすいしくみを作るため、アンケートへのご協力をお願いします。
9月11日金曜日までに「回答用ふうとう」に入れて、学校の回収ボックスに提出してください。
豊中市役所こども未来部こども相談課

【アンケートを答えるにあたって】

- ・名前を書く必要はありません。・答えた内容は他の誰かに知られることはありません。
- ・質問に対してあてはまる数字に○をつけてください。
- ・鉛筆などではっきりと、書いてください。・「その他」を選んだ場合は()内に書いてください。



問1. 学年 小学校 (1つだけ○)

1. 5年生 2. 6年生

問2. 性別 (次のらんに書いてください)

()

問3. 「とよなかつ子ダイヤル」(24時間365日フリーダイヤル、悩み相談等ができる電話)を知っていますか、また利用したことはありますか (1つだけ○)

1. 知っており利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

問4. ふだん、インターネット※をどのくらい利用していますか (1つだけ○)

(※インターネット…パソコン、タブレット、ゲーム機、ガラケー、スマホ等(保護者の持ち物含む)での接続)

1. 1時間より少ない 2. 1時間以上3時間より少ない 3. 3時間以上 4. 全くしない

「全くしない」人は、次に問13(裏面)へ進んでください。

問5. 自分専用のインターネット機器はありますか (○はいくつでも)

1. 持っていない 2. ガラケー 3. スマホ 4. ゲーム機 5. パソコン 6. 音楽プレイヤー 7. タブレット
8. その他 ()

問6. インターネットを一番使用する時間帯を教えてください (1つだけ○)

1. 朝 2. 昼から夕方5時まで 3. 夕方5時~夜8時まで 4. 夜8時~夜10時まで 5. 夜10時以降

問7. 次のうち、帰宅後、一番長く、インターネット接続する機器は? (1つだけ○)

1. ガラケー 2. スマホ 3. ゲーム機 4. 音楽プレイヤー 5. パソコン 6. タブレット
7. その他 ()

問8. インターネットを使って何をしていますか (〇は多いもの3つまで)

- 1.勉強 2.SNS (LINEやInstagramなど) 3.メール 4.ゲーム 5.YouTube等動画視聴
6.その他の情報検索

問9. インターネットを利用するときのルールを家族で決めてありますか (1つだけ〇)

- 1.決めている 2.決めていない

問10. 使用しているSNSはありますか (〇は多いもの3つまで)

- 1.ない 2.Twitter 3.LINE 4.Facebook 5.Instagram 6.Tiktok 7.掲示板 8.その他 ()

問11. 今後やってみたいSNSはありますか (〇は多いもの3つまで)

- 1.ない 2.Twitter 3.LINE 4.Facebook 5.Instagram 6.Tiktok 7.掲示板 8.その他 ()

問12. SNS上でどのような人とコミュニケーションを取っていますか (〇はいくつでも)

- 1.SNSは使っていない 2.家族 3.友だち 4.学校の先生 5.習い事などの先生
6.インターネットで知り合った人 7.その他 ()

問13. インターネットを使用しているときに操作ミスをしてヒヤとしたことはありますか (1つだけ〇)

- 1.ある 2.ない

問14. インターネット上で嫌なことをされたことはありますか (1つだけ〇)

1. ない (問16に進んでください) 2.ある

問15. (問14で「ある」を選んだ場合) 具体的にどのようなことをされましたか (〇はいくつでも)

- 1.悪口を書かれた 2.写真や動画を勝手にのせられた 3.ブロックされた 4.退出させられた
5.チャットに招待されなかった その他 ()

問16. インターネット上でケンカやトラブルになったことはありますか (1つだけ〇)

- 1.全くない 2.一度はある 3.何度もある

問17. LINEでできる相談窓口 (悩み相談等) ができるSNSがあったら、利用しますか (1つだけ〇)

- 1.すると思う 2.しないと思う 3.わからない → 理由 ()

問18. LINEでできる相談窓口について、何曜日なら利用しやすいと思いますか (1つだけ〇)

- 1.月曜日 2.火曜日 3.水曜日 4.木曜日 5.金曜日 6.土曜日 7.日曜日
8.いつでもいい・わからない

以上で終わりです。ありがとうございました。

回答用ふうとうに入れて回収ボックスに提出してください。

※分析においては一部設問番号を入れ替えています

インターネットの利用などに関するアンケート

中学生のみなさんへ

豊中市では、みなさんが安心して暮らせるよう、相談しやすいまちづくりをすすめています。
そこで、もっと、みなさんが相談しやすいしくみを作るため、アンケートのご協力をお願いします。
豊中市役所こども未来部こども相談課

【アンケートに答えるにあたって】

- ・名前を書く必要はありません。・答えた内容は他の誰かに知られることはありません。
- ・質問に対してあてはまる数字に○をつけてください。
- ・鉛筆などではっきりと、書いてください。・「その他」を選んだ場合は()内に書いてください。



問1. 学年 中学校 (1つだけ○)

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生

問2. 性別 (1つだけ○)

1. 男 2. 女 3. ()

問3. 「とよなかっ子ダイヤル」(24時間365日フリーダイヤル、悩み相談等ができる電話)を知っていますか、
また利用したことはありますか (1つだけ○)

1. 知っており利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

問4. ふだん、インターネット※をどのくらい利用していますか (1つだけ○)

(※インターネット… パソコン、タブレット、ゲーム機、ガラケー、スマホ等(保護者の持ち物含む)での接続)

1. 1時間より少ない 2. 1時間以上3時間より少ない 3. 3時間以上 4. 全くしない

「全くしない」人は、次に問13(裏面)へ進んでください。

問5. 自分専用のインターネット機器はありますか (○はいくつでも)

1. 持っていない 2. ガラケー 3. スマホ 4. ゲーム機 5. パソコン 6. 音楽プレイヤー 7. タブレット
8. その他 ()

問6. インターネットを一番使用する時間帯を教えてください (1つだけ○)

1. 朝 2. 昼から夕方5時まで 3. 夕方5時~夜8時まで 4. 夜8時~夜10時まで 5. 夜10時以降

問7. 次のうち、帰宅後、一番長く、インターネット接続する機器は? (1つだけ○)

1. ガラケー 2. スマホ 3. ゲーム機 4. 音楽プレイヤー 5. パソコン 6. タブレット
7. その他 ()

問8. インターネットを使って何をしていますか (Oは多いもの3つまで)

1.勉強 2.SNS (LINE や Instagram など) 3.メール 4.ゲーム 5.YouTube 等動画視聴
6.その他の情報検索

問9. インターネットを利用するときのルールを家族で決めてありますか (1つだけO)

1.決めている 2.決めていない

問10. 使用している SNS はありますか (Oは多いもの3つまで)

1.ない 2.Twitter 3.LINE 4.Facebook 5.Instagram 6.Tiktok 7.掲示板 8.その他
()

問11. 今後やってみたい SNS はありますか (Oは多いもの3つまで)

1.ない 2.Twitter 3.LINE 4.Facebook 5.Instagram 6.Tiktok 7.掲示板 8.その他
()

問12. SNS 上でどのような人とコミュニケーションを取っていますか (Oはいくつでも)

1.SNS は使っていない 2.家族 3.友だち 4.学校の先生 5.習い事などの先生
6.インターネットで知り合った人 7.その他 ()

問13. インターネットを使用しているときに操作ミスをしてヒヤとしたことはありますか (1つだけO)

1.ある 2.ない

問14. インターネット上で嫌なことをされたことはありますか (1つだけO)

1. ない (問 16 に進んでください) 2.ある

問15. (問 14 で「ある」を選んだ場合) 具体的にどのようなことをされましたか (Oはいくつでも)

1.悪口を書かれた 2.写真や動画を勝手にのせられた 3.ブロックされた 4.退出させられた
5.チャットに招待されなかった 6.その他 ()

問16. インターネット上でケンカやトラブルになったことはありますか (1つだけO)

1.全くない 2.一度はある 3.何度もある

問17. LINE でできる相談窓口 (悩み相談等ができる SNS) があったら、利用しますか (1つだけO)

1.すると思う 2.しないと思う 3.わからない →理由 ()

問18. LINE でできる相談窓口について、何曜日なら利用しやすいと思いますか (1つだけO)

1.月曜日 2.火曜日 3.水曜日 4.木曜日 5.金曜日 6.土曜日 7.日曜日
8.いつでもいい・わからない

以上で終わりです。ありがとうございました。

回答用ひょうに入れて回収ボックスに提出してください。

インターネットの利用などに関するアンケート調査報告書

令和3年(2021年)3月

豊中市

分析助言協力:松宮新吾追手門学院大学教授

